

第七十三回帝國議會  
衆議院

# 國家總動員法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案  
國家總動員法案(政府提出)

## 會議

昭和十三年三月七日(月曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小川郷太郎君

理事中村不二男君 理事豐田 豐吉君

理事中山 福藏君 理事西岡竹次郎君

理事宮脇 長吉君 理事篠原 義政君

理事井阪 豐光君 理事西尾 末廣君

作田高太郎君 齋藤 隆夫君

櫻井兵五郎君 古屋 慶隆君

増田 義一君 山本 厚三君

林 平馬君 眞鍋 儀十君

眞鍋 勝君 池田 秀雄君

小山 谷藏君 高橋壽太郎君

川崎末五郎君 長井 源君

河野 一郎君 小高長三郎君

泉 國三郎君 羽田武嗣郎君

濱田 國松君 河上 哲太君

熊谷 直太君 植原悦二郎君

猪野毛利榮君 牧野 良三君

若宮 貞夫君 岩元榮次郎君

坂田 道男君 藤本 捨助君

山崎 常吉君 清瀨 一郎君

守屋 榮夫君 三輪 壽壯君  
淺沼稻次郎君 今井 新造君  
三田村武夫君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

外務大臣 廣田 弘毅君

司法大臣 鹽野 季彥君

陸軍大臣 杉山 元君

農林大臣 伯爵有馬 頼寧君

拓務大臣 大谷 尊由君

文部大臣兼 侯爵木戸 幸一君

厚生大臣 內務大臣 末次 信正君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

企畫院部長 橫山 勇君

企畫院書記官 內田源兵衛君

內務政務次官 勝田 永吉君

內務省警保局長 富田 健治君

陸軍中將 山脇 正隆君

海軍政務次官 一宮房治郎君

海軍參與官 岸田 正記君

海軍少將 井上 成美君

司法省刑事局長 松阪 廣政君  
司法省行刑局長 瀧川 秀雄君  
司法省調查部長 井上 登君

文部參與官 池崎 忠孝君

文部省實業學務局長 小笠原豐光君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

厚生省體力局長 兒玉 政介君

厚生省勞務局長 成田 一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國家總動員法案(政府提出)

○小川委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス——河野君

○河野委員、私ハ前日ニ引續イテ御尋ラシ

タイノデアリマス、過日商工大臣ニ御願シ

マシク調査資料ガ頂戴出來マスト非常ニ工

合ガ好イノデアリマスガ、商工大臣ガ才見

エニナリマセヌカラ、便宜瀧政府委員ニ御

尋シマス、徵用ノ順位ト動員令トノ關係ニ

付テ、一ツ事務的ニ御説明ヲ先ニ願ッテ置キ

タイト思ヒマス、一言付加ヘテ置キマスガ、

人的動員ヲ致シマス其徵用ノ順位ハ、一體

ドウ云フ風ニオ決メニナルノデアリマスガ、

ソレガ軍ノ動員令トノ關係ハドウ云フ風ニ

ナッテ居ルカ、御示シニナッタ法案竝ニ勅令

ノ要綱ヲ見マス、動員令ガ先位デアッテ、  
順位ガ優先スルモノデアルト云フダケデア  
リマスガ、其關係ガ一體ドウ云フ風ニナル

ノカ、例ヘバ動員令ノ出ナイ場合ニ先ニ徵

用ニ依ッテソレヲ移動セシメ、後カラ動員令

ガ出ル場合ガアルト云フコトヲ想像サレ

ノデアリマスガ、其關係ハ一體動員令トモ

ウ少シ緊密ナ關係ヲ持ッテ動クノカドウカ、

其關係ヲ一ツ事務的ニ御説明ヲ願ヒタイト

思ヒマス

○植村政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シ

マス、動員令ノ關係ト徵用ノ關係ハ、兵役

法ノ動員ノ方ガ常ニ優先スル譯デアリマス、

隨テ假ニ或人ガ徵用サレテ、或ル事業ニ從

事セシメラレテ居ル場合ニ、動員ガ下ルト

スル、サウスレバ是ハ兵役ノ方トシテソチ

ラヘ動員サレテ行クコトニナル次第デゴザ

イマス、常ニ優先スル、斯ウ御承知願ヒタ

イト思ヒマス

○河野委員 サウ致シマス、非常ニ煩雜

ニナル處ガアルト思ヒマス、國家機關ガ統

制ヲシマスコトデアリマスカラ、大權事項

ト行政事項トノ違ヒコソアレ、ソレヲモウ

一步踏込ンデヤルコトハ出來ナイカ、現ニ

今回ノ事變等ニ付キマシテモ、先日モ申上  
ゲタノデアリマスガ、非常ニ熟練工デアル  
トカ、其他特殊産業トカ、其方面デ業ニ從

フコトガ行ハレナイダラウト思フノデスガ、  
其點ニ付テノ用意ハドウデスカ

委員カラ御答願ヘレバ結構デアリマス、此  
總動員法ノ發動ト、地方自治體ノ機構ト云

ニ此處デ申上ゲルノハ、一寸如何カト思ヒ  
マシテ差控ヘマスガ、研究ハ進メテ居ル、

事シタ方ガ非常ニ國家ノ爲ニ有益デハナイ  
カト思ハレル人デモ、動員ノ方デハ或ル程  
度ノ考慮ハ拂ハレルヤウデアリマスケレド

○植村政府委員 御答ヲ申上ゲマス、只今  
御話ノ徵用ト動員トノ關係ヲ適正ニヤッテ

此總動員法ヲ發動シマス際ニ、先日ノ閣僚  
ノ御説明ニ依リマス、中央ニ於テ内閣ガ

斯ウ御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス

モ、非常ニソレハ少イ、ガ併シ今回ノ總動  
員法ニ依リマス、モウ一步突進シダ準備  
ガ必要デハナイカ、同時ニ今申上ゲマシタ

又此總動員關係ノ仕事モ進展スル譯デアリ  
マシテ、其間ニ政府部内ト致シマシテ、十

ノヲト云フヤウナ御話モアリマシタ、中央  
關係ハ申上ゲル點モマダアリマスケレドモ、

ハ祕密ハナカラウト思ヒマス、若シ此處デ  
祕密ハ一寸申上ゲラレヌト云フナラバ、其

ヤウニ、動員令ガ後カラ出ル場合、ガ多イ、  
最初カラ動員令ハ全面的ニ出ル譯デナイノ  
デアリマスカラ、サウシマス、徵用ノ方ハ

分ナ連絡ヲ取ッテ統制ノアル行キ方デ參ラ  
ナクテハナラヌト云フコトハ、モウ御説ノ

地方ハドウナルノカ、府縣ハドウ云フ體制  
ヲ執ルカ、自治體ハドウ云フ體制ヲ執ルカ、

常ニ今日自治體ハ各種ノ負擔ノ過重ニ苦シ  
ンデ居ルノデアリマス、國家ノ自治體ニ對

其準備ガアリマスカラ、開戰、事變ト同時  
ニ相當大規模ノ計畫ヲ立テテ進マナケレバ  
ナラス、其間ニ於テ非常ニ煩雜ニナル虞、ガ

如何ナル場合ニ於テモ兵役法ニ依ル動員ノ  
關係ト云フモノガ、常ニ優先スルト云フ

一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

ヤウナコトヲ、切ニ念願シテ居ル際ニ、此動  
員ニ對スル事務ガ殖エル、是ハ相當ノ準備

アルト思フノデスガ、其關係ハドウ云フコ  
トニナリマスカ、其處マデ考慮シテアルカ  
ドウカト云フ點ヲ、モウ少シ進シテ御説明

研究ニ付キマシテハ、只今マデモ或ル程度  
ノ研究ヲ勿論進メテ居リマス、併ナガラ之

シテハ、今マデニ相當研究ハ致サレテ居リ  
マス、ソレデ地方ノ體制ニ付キマシテモ、

ヤウニ鑛山監督局デアリマス、其他中  
央所管關係ノ國費ヲ以テ支辨スルモノハ、

願ヘタラ結構デアリマス、殊ニ徵用ノ方ニ於  
テハ常時ドノ程度ノ、——例ヘバ現在ノ動  
員令ノヤウナ計畫ガ出來テ居ルノカドウカ、

ヲ以テ十分トハ勿論考ヘマセシ、本法ノ  
施行ニ付テハ、將來只今御話ノヤウナ諸點

又地方廳ト申シマシテモ、内務省關係ト申  
シマス、府縣以外ノ鑛山監督局トカ云フ

風ナ機構ヲ整ヘテ、ドウ云フ風ナ命令系統  
デアルノカ、而モ是ハ相當緊急ヲ要スルモ

此法案ニ依リマスレバ、最初ハ募集ヲスル、  
募集デ不足シタ場合ニ徵用スルト云フコト  
ニナッテ居リマスガ、サウシマス、本當ニ總

テ行クト云フ必要ガアルト考ヘテ居ル次第  
デゴザイマス

シテモ、自治體ニ與ヘルベキ本務ト申シマ  
スカ、動員ノ業務ノ關係ニ付テ、或ル程度

シテ置カナケレバナラス、組織モ整ヘテ置  
カナケレバナラヌト考ヘルノデスガ、ソレ

動員態勢ハ整ヘラレナイダラウト思フ、本  
當ニ人的ニ統制ヲ保ツ上ニ、適材適所ト云

○河野委員 續イテ私ハ事務的ナコトヲ、  
全部御尋シテ置カウト思フノデスガ、政府

ノ研究ハ進メテ居リマス、唯ソレヲ具體的

等ニ付テ今マダ研究中ト云フナラバ、決ッテ

居ラスノカ、ソレ共決ッテ居ルケレドモ話セナイ、話セナイトスレバ、其話セナイ理由ト云フコトデ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○植村政府委員

只今此席デ申上ゲルノガ如何カト申シマシタノハ、研究ヲ致サレマシタ戰時ノ諸般ノサウ云フ體制デゴザイマシタ、是ハ一ツノ計畫トシマシテ秘密ヲ保ツベキ種類ノモノニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ後段ニ於テ平時カラモ相當ノ準備ヲサセナクテハナラヌ、然ルニ地方ノ自治體ハ中央ノ仕事ニ依ッテ費用其他ノ關係デ困ッテ居ル、此點ハドウ云フ風ニ考ヘルカト云フ御話ガアッタト承知致シマシマス、其點ニ付キマシテハ、戰時働キマス場合ノ體制ハ別問題デアリマスガ、平時ノ問題ト致シマシテハ、御話ノヤウナ無理ガ行カヌヤウニ、出來ルダケ考ヘマシテ、サウシテ所期ノ目的ヲ達スルダケノコトヲ勉強シテ行クト云フヨリ仕方ガナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員

私ハドウモ今ノ御答辯デハ諒承出來ナイノデス、例ヘバ最モ機密ヲ要スル動員ノ事務デモ、ドウ云フ經路ヲ經テドウ云フ風ニ行クカト云フ内容ハ別デスガ、事務系統ハチャント決マッテ居リマス、例ヘバ市ナラバドウ云フ風ニ行ク、町村ナラバ

ドウ云フ風ナ系統デ行ク、サウシテ一度動員下令ト云フ時ニハ、斯ウ云フ順序デヤルト、普段カラ動員ノ豫行マデヤッテ居ル、是ハ國內ズット分ッテ居ルシ諒承シテ居ル、所ガ總動員法ノ方ハ、其事務系統ガドウ云フ風ナ機構デ動イテ行クカト云フコトガ秘密デ申サレスト云フ、是ハ一寸受取レヌデスガ、何カ特殊ノ内容ガアリマスレバ、敢テ國防ノ機密ニ關スルヤウナコトヲ伺ハウトハ思ヒマセヌ、又秘密會デモ承ルト云フ機會モアリマセウカラ今申シマセヌガ、斯ウ云フコトハ國民ニ納得サセル方ガ宜イト思フ、町村ノ負擔ニ屬スルモノハ國費ヲ以テ之ヲ支辨スル、是ハ動員令ト違ヒマシテ、廣範圍ナ仕事ヲシナケレバナラヌ場合ガアル、隨テ事務的ニモ相當ノ機構ヲ整ヘテ置カナケレバナラヌガ、併シ警察行政ノ方デ行クナラバ行ク手モアリマセウ、例ヘバ今度ノ「ガソリン」節約ノ如キ、警察行政ヲ中心ニシテヤルト云フノナラバ、又吾々ハソレニ對シテモ考ヘテ居ルノデスガ、唯今ノヤウニ秘密ダト云フコトダト了承致シ兼ネマス、諄イヤウデスガモウ一遍伺ヒタイト思ヒマス

○植村政府委員

只今ノ機密ト云フ問題デアリマスガ、御話ノヤウニ軍ノ動員ノ方法

ニ付キマシテモ、手續ノ關係ハ分ッテ居ルデハナイカ、之ニ付テ總動員關係ニ於ケル手續ヲ發表サレナイ筈ハナイデハナイカ、是ハ御尤ダト思フノデアリマス、相當ノ研究モ計畫トシテ致シテ居リマスト申上ゲマシタノハ、寧ロ其前段ノ内容的ノ研究ヲ申上ゲタノデアリマス、ソコデ若シ此法案ガ制定サレマシテ、手續等ヲ段々決メ得ルヤウニナリマスレバ、ソレ等ノ點ハ明ニシ得ルコトニナルノデハナイカト考ヘマス

○河野委員

サウシマストマダ決ッテ居ラヌト諒承スル方ガ宜イノデアアリマセヌカ、ソレナラバサウ云フ風ニ諒承シタ方ガ宜イ、決マッテ居ラナケレバ吾々ノ方ニ希望ガアル、所ガ今研究中ダ、秘密ダカラ申上ゲラレナイデハ益、誤解ヲ深メル、此法案ガ秘密本位デ出サレル所ニ誤解ガアルノダカラ、成ベク決マッテ居ッテ發表シテ宜シイモノハ、政府ノ方デモ其方針デ行カレタ方ガ、一般ノ誤解ヲ少クスルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○植村政府委員

只今ノ手續等ノ關係ニ付キマシテハ、マダ決マッテ居リマセヌ、其意味デ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野委員

是ハ何レ國務大臣ガ御見エニナリマシテカラ申上ゲマスガ、此頃ハ下デ

大體物ヲ御決メニナル場合ガ多イヤウデアリマスカラ、特ニ事務當局ニ一言申上ゲテ置キマス、只今私が申上ゲタヤウニ、町村ノ事務費ガ非常ニ過重ダ、町村ハ其負擔ニ非常ニ苦シンデ居ル、其内容ヲ檢討スレバ、殆ド今ノ町村ノ費用ハ事務費デス、ソレニ加ヘテ總動員態勢ヲ整ヘル爲ニ、又之ヲ地方費デヤラセルト云フコトニナルト、非常ニ地方費ガ過重ニナッテ來ル、是ハ今ノ現狀カラ見テ六大都市トカ、其他工業都市ハ此時局柄、又將來總動員態勢ヲ整ヘル際ニ於キマシテモ、一向苦シミハナイデセウ、所ガ農村ニ參リマス、總動員ヲ發動サレルヤウナ場合ニハ、出征ハスル、又地方ノ産業ハ衰ヘルト云フ譯デ、ソレニ加ヘテ地方費ノ負擔ガ過重ニナルト云フコトデハ、其負擔ニ堪ヘナイノデアリマス、隨テ是ハ相當根本的ナ問題デス、吾々トシテハ相當考ヘナケレバナラヌ問題デス、ソレマダ御決メニナラスト云フコトハ、私ハ非常ニ片手落ダラウト思フ、是ハ餘リ地方ヲ無視サレルモノデアアル、地方ノ體制ハ、此間モ陸軍大臣ノ御話ニ依レバ、軍需省デモ作ル、其位ノ覺悟ハ持ッテ居ルト言フノデアリマスガ、地方ノコトハマダ決ッテ居ラヌ、併シ是ハ地方ニドウ云フ體制ヲ以テ徹底

サセルカト云フコトハ、相當重要ナコトデス、準備トシテハ相當重要ナ準備デス、是ガ一度旨ク行カナケレバ、如何ニ中央、デヤツテモ徒ニ混亂スルダケデス、現ニ私が此間モ商工大臣ニ中上ゲタヤウニ、今肥料ノ相當強力ナ統制ヲヤツテ居ルガ、是ハ駐在巡查ヲ使ツテヤツテ居ル、駐在巡查ヲ使ツテ地方商人ヲ非常ニ壓迫シテ居ル、サウ云フ體制ヲ執ラレルト地方ノ、國民ノ階級デ申シマスレバ、庶民階級ニ屬スル者ハ、非常ニ壓迫ヲ受ケルヤウナ關係ニナルノデアリマス、ソレヤ是ヤヲ考ヘマス、此總動員態勢下ニ於テ、此行政事務ノ機構ノ如何ト云フコトハ相當重要ナコトデアリマス、是ハ何レ國務大臣ニ御尋スルノデアリマスガ、事務當局トセラレテモ、速ニ方針ヲ御定メニナッテ然ルベキモノト思フ、而モ其費用ニ至ッテハ、總動員ノ準備行為トシテ、當時機構ヲ整ヘテ置ク必要ガアル、是ハ本法ガ今年カラ實施セラレルノナラ、當然本年カラ地方交付金ノ増加ヲスルトカ、地方費ヲ國費支辨ニスルトカト云フヤウナコトヲ、當然ヤツテ貫ハナケレバ、地方ハ其負擔ニ堪ヘナイト云フ關係モアリマスノデ、豫算關係ノ方カラモ相當考ヘナケレバナラスト思ヒマスノデ、速ニ一ツ方針ヲ決定シテ戴キタイ

次ニモウ一ツ御尋シタイノハ、徴用者ヲ從事セシムル業務ト云フコトニ付デアリマス、恐ラク私ノ認識デハ、總動員ノ目的トナルベキ物資ハ——除外サレマス物ハドウ云フ物ガアリマスカタ云フコトヲ承ツタガ宜イト思フ、大部分ハ總動員ノ目的ノ物資ニナルト思フガ、其中我が國內ニ於テ總動員物資ニ入ラナイ物ハ何ト何ガアルカ、入ル物ハ何カト承ルト、非常ニ數ガ多イカラ、入ラナイ物ハ何カト云フコトヲ承ツタ方ガ早イト思フ、ダカラ入ラナイ物ガアレバ御説明ヲ願ヒタイ

○植村政府委員 只今ノ總動員物資ニ入ラナイ物ハ何カト云フ問題デアリマスガ、是ハ例ヘバ贅澤品ト云フヤウナ抽象的ナ言葉ヲ用ヒマスレバ、ソレハ入ラナイト云フコトハ申上ゲラレルト思ヒマスガ、今度ハ其原料ハドウダト云フコトニナッテ参リマス、相當廣ク關係ヲシテ來ルコトニナッテ参ルノデアリマス、ソレト何ガ入ラスカト云フコトヲ考ヘテ見マス、是亦戰爭ノ態様ニ依ッテ違ッテ來ルト思フ、總動員物資トシテ、特別ナ統制ヲヤラナケレバナラスト云フ事態ニ立至リマス物ハ、其時ノ戰爭ノ狀態カラ生ズルノデアリマスカラ、觀念的ニ申シマス、總動員物資ト云フモノハ非常ニ廣

イ、併シ具體的ニドウ云フ物資ニ付テ、總動員ノ統制ナリ何ナリ適當ナ措置ガ取ラレルカト云フコトニナリマス、其戰爭ノ事態ニ依ッテ違フ、斯ウ考ヘルノデアリマス

○河野委員 ソレハ其戰爭ノ種類、大キサ等ニ依ッテ違フデアリマセウガ、一應當局トシテ準備ヲセラレマス場合ニハ、ドウ云フ大キナ戰爭ガアツテモ、例ヘバ一號、二號、三號ト名ヲ付ケラレルカ知ラスガ、準備ダケハシテ居ラナケレバナラスト思フ、動員令デアリマスナラバ軍ノ方デハ全部ノ人ノ動員計畫ガシテアル、其場合何ト何ヲ動員スル、ドレヲ動員スルト云フコトニ依ッテ當時出來テ居ル、ソレト同様ニ此總動員態勢ニ於キマシテモ、サウ云フ風ニナッテ然ルベキデアルト思フ、サウスルト大體戰爭ノ如何ニ依ッテ、ソレヲ適用スル時ニ違フカモ知ラスガ、豫メ目標トシテ定メル場合ニハ、ドウ云フ物ヲ我が國內デ統制シナケレバナラストカ、先日モ承レバ米ノ如キモノハ、大體國內生産ヲ以テ國內消費ニ足リル、隨テ是ハ總動員物資トシテ入レナケレバナラストモアルカモ知レヌガ、マア入レヌデモ宜カラウ、放ッテ置イテモ需給ノ關係ニ於テ困難ガナイモノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ關係カラ然ルベク御調

査ガアツテ、サウシテドシテ戰爭デモヤルニハ是デアル、ソレカラ其次ニハ是デアルト云フ計畫ガアルト私ハ思フ、其場合ニハ我が國內ニ總動員ノ對象ノ物資ノ中デ、除外シテ考ヘテ宜シイ物ハ、ドウ云フ物ダラウカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、戰爭ニ依ッテ違フカラ、ソレハ言ヘヌト云フ考ヘ方ハ違フト思フ、併シ私ハ理窟ヲ言ツテモ仕様ガナイノデスガ、當局ノ御方針ハ如何デスカ

○植村政府委員 只今御尋ノ其用意ハ相當シテ居ル筈デアル、サウ云フ時ニ考ヘテ居ル物ト、考ヘラレナイ物トアルデアラウ、其範圍如何、斯ウ云フ風ナ御話ダト思ヒマス、固ヨリ相當ノ準備ヲ重要ナ物ニ付テヤツテ居リマス、只今米ハ大體宜シイト云フ話デアッタガト云フ御話モアリマシタガ、米ニ付テモ相當ノ研究ヲシテ居ル譯デアリマス、唯ソレデハ何デモ有ユル物資ニ付テ研究ガ行届イテ居ルカト云フコトニナリマスレバ、是ハ限リアル人員デ、或ル時間ノ下ニ行フノデアリマスルカラ、森羅萬象皆色々ナ研究ヲシテアルト云フコトハ申上ゲラレナイト思ヒマス、其意味カラ其區別ヲハッキリ申上ゲルコトガ出來ナイノデゴザイマス、併シ重要ナ物ニ付キマシテハソレ研究

ヲシテアル、斯ウ申上ゲルノガ一番適當デハナイカト思ヒマス

○河野委員 無理ニ私ハ出來ヌコトヲ承ラウト云フノデアリマセヌカラ、大體其程度デ結構デス

ソコデ陸軍大臣ガ御見エニナリマシタケレドモ、モウ一ツ進シテ事務的ニ承テ置キタイコトハ、只今ノヤウナ御話デアリマス

ルト、又同時ニ先日ノ商工大臣ノ御話ヲ基礎ニシテ考ヘマスルト、此總動員計畫ト云フモノハ生産、配給、消費、是等ニ互ッテ考

ヘルコトハ申ス迄モアリマセヌ、サウシマスト、其生産、配給、消費ノ基礎トナルベキ統計ガナケレバ、的確ヲ期セラレナイト私ハ信ズル、所ガ我國ニハ生産統計ト云フ

モノハ稍、アルモノガアリマス、又一部消費ノ統計モアルモノガアリマス、配給ノ統計モ極ク一部アルモノガアリマス、所ガ大部

分ニ至ッテハ私ハナイト信ジマス、所ガ此統計ナクシテ一體此總動員態勢ト云フモノガ作レルカ、此統計ナクシテ御ヤリニナルカラ、現在商工省デ事毎ニ失敗シテ居ルノハ其爲メダト私ハ思フ、目安ガナシニ、物差ガナシニ仕事ヲ獨斷盲斷デヤッテ居ル、サウシテヤリ掛ケテハ見當ガ違フカラ、暫ク形勢ヲ見テ、此邊ノ所デ宜カラウト云フ所

デ一寸出掛ケル、又失敗スル、是ハ恐ラク戦時ニナッテ總動員態勢ヲ當局ガ發動サレル時ニ、此基礎ナシニヤラレ、バ總テ斯ウナッテ行ク、此爲ニ餘計混亂シテ人心ヲ刺戟シ、投機心ヲ助長シテ、却テ惡結果ヲ來スト私ハ思フ、ソレニ對スル事務當局ノ御意見如何デアリマスカ

○植村政府委員 只今御話ノ統計ノ整備ヲ必要トスルデハナイカ、是洵ニ御尤ナコトデアリマシテ多少此問題ニ關聯シテ仕事ヲ致シテ居リマス私共ト致シマシテハ、日

夜努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、殊ニ消費ノ統計ト云フヤウナモノニナリマスルト、中々難カシイノデアリマス、大體ノ見當ト申シマスルカ、仕事ヲ致シマスル基準

ノ數字ヲ何處ヘ置クカト云フヤウナ時ニハ、少クトモ三四ノ角度カラ數字ノ檢討ヲ致シテ、サウシテ或ル基本ノ數字ヲ考ヘテ居ル

ノデアリマス、此點ニ付キマシテハ努力ハ致シテ居リマスルケレドモ、中々難カシイ、今後モ努力ヲ續ケル積リデアリマスシ、又ソレ等ノ統計數字ガ整備致シマスコトガ、諸般ノ戰時ノ計畫ニ致シマシテモ、又平時ノ政策ニ致シマシテモ、其基本ニナルト云フコトハ、豫ネ／＼考ヘマシテ、折角努力ヲ致シテ居リマス

○河野委員 御努力アルコトハ大イニ多ト致シマスケレドモ、今ノ程度ノ計畫デハ幾ラ努力サレテモ是ハ目的ハ達セラレ

ナイト思フ、要スルニ是ハ認識ノ問題デス、是ガ是非必要ダカラ、此爲ニハ相當以上ノ經費ヲ以テヤラウト云フ認識ヲ政府ガ持タナケレバ、是ハ少數ノ人ガ幾ラ努力サレマシテモ、如何ニ御研究ニナッ

テモ出來ルモノデハナイ、所ガ其點ニ於テ非常ニ缺クル點ガアル、先ヅ總動員法ヲ發動スル場合ニハ、私今申シマシタヤウニ、

此準備ナシニヤレバ唯混亂ヲ招クダケデアアル、物差ナシニ物ヲ切ラウト云フノデアリマスカラ、切り方ガ違フ、是ハ當リ前デア

アル、所ガソレヲ準備シテ居ナイ、是ハ今ノ政府ノ總テノ政策、政綱ガ事毎ニピツトリ板ニ付イテ來ナイノハ其爲メデアルト思

フ、歷代ノ内閣ガ此爲ニハ相當金ヲ使ッテ然ルベキデアルガ、其處マデ具體的ニ基本的ニ考ヘテ居ラス、現ニ政府モ御持チガアルマイト思フ、其御持合セガナシニ、斯ウ云フコトヲヤラレルコトハ非常ナ危險ガアル、今ノ御答辯デ折角努力スル積リデアルト仰シヤルケレドモ、唯努力スル積リダ位ノ御考デハ駄目ダト思フ、國民トシテハ非常ニ迷惑スル場面ガ多カラウト思フ、現ニ

「ガソリン」ニシマシテモ、其他今回ノ事變ノ結果統制致シタモノデモ、事變後約八箇月モ十箇月モ經過シテ、今頃ニナッテ漸ク消費ノ統制ヲシヨウトシテ居ル、今マデハ

恐ラクヤリタクモ出來ナカッタト思フ、「ガソリン」ニ割ノ節約ト申シマシテモ、其二割ノ基調ニナルベキモノガ持合セガナイ、綿

絲、綿布ニシテモ其通りデアアル、「ステール・ファイバー」ラドノ位混用シタラ宜イ、ドウ云フヤウナコトヲシテ統制シタラ宜シ

イト云フ基礎ノ數字ガ立ッテ居マイト思フ、生産ノ數字モナケレバ、消費ノ數字モナイト云フコトデ、盲滅法ニ唯法律ヲ振廻サレ

ル、是程世ノ中ニ危イモノハナイ、其犠牲者ハ累々トシテ出テ來ルノデハナイカ、是ダケノモノヲ以テ國民ニ望ム以上ハ、ソレダケノ政府ニ用意ガナケレバナラス、所ガ先

程カラ申シマス通り、法律ハ御作リニナッタケレドモ、其用意ニ至ッテハ非常ニ私ハ缺ケテ居ル點ガ多イト思フ、ソレハマルキリナクハアリマセヌケレドモ、今ノ政府ノ御持ニナッテ居ルヤウナ其程度ノ數字ヲ基礎ニシテ國民ニ臨マレ、バ、事毎ニ間違ッテ、見當ノ違ッタモノガ出テ來ルダラウト思フ、一例ヲ舉ゲレバ、先程申上ゲマシタ肥料ノ如キハ、農林省、商工省兩方デ相當長年ニ互ッテ生

産消費ノ需給ノ調節マデヤッテ居ル、所ガ

危險ナモノニナッテ來ルト私ハ思フ

一度本格的ノ統制ニ入ッタラドウデスカ、肥

陸軍大臣ガ才見エニナリマシタカラ、又閣

リナイト思ッテ硫安ガ餘ッテ來タ、役人ノ見

僚ノ御出デニナリマセス時ニ、事務當局ニ御

當ト云フモノハ大抵逆ニ來ルノデス、相場

尋スルコトハ時々致スコトニ致シマシテ、陸

デモ上ルト思ッタラ下ル、役人ノスルコト

軍大臣ニ御尋致シマス、先ヅ最初ニ對滿事

ニ對シテ事毎ニ經濟界ハ逆ニ來ル、如何ナ

務局總裁トシテ陸軍大臣ニ御尋シタイ、我

ル場合デモサウデス、硫安ノ場合デモサウ

ヲ以テ今後ノ戰時事變ニ臨マウトシテ居ル

デアリマス、最高價格ヲ決メテ、是デ消費

ノデアリマスガ、滿洲國ニ於テハ是ト適應

ノ統制ヲビシヤット決メテ、今度コソ間違ヒ

シテ、ドウ云フ風ナ體制ヲ御作りニナリ、

ナイト思ッタラ出テ來タ、輸入モ是ダケ手

ドウ云フ風ニ之ヲ指導シテ行カレヨウト云

持ヲ持ッテ、サウシタラマルデ經濟界ハ逆ナ

フ御考デアリマスガ、滿洲國ニ於テハドノ

現象ヲ呈シタ、足リナイダラウト思ッテ硫安

程度ノ覺悟ガアルノデアリマスガ、準備ガ

ガ餘ッテ來テ、今日デハ二進モ三進モ行カ

アルノデアリマスガ、承ッテ置キタイト思

ヒマス

○杉山國務大臣 御承知ノ如ク滿洲國トハ

共同防衛ノ關係モアリマスルシ、又其他國

際的關係ニ於テモ、極メテ緊密ナル不可分

ノ關係ニアルノデアリマシテ、此總動員法

ヲ實行致シマス上ニ於キマシテモ、緊密ニ

連絡ヲ致シマシテ、既ニ昨年ヨリ資源調査

シテ進ンデ居ルノデアリマス

○河野委員 其點ハ明瞭ナル御答辯デ結構

デアリマス、ソコデ更ニ進ンデ御尋ネ致シ

タイノハ、是ハ主トシテ拓務大臣ニ御尋ネ

シタイノデアリマスケレドモ、滿洲國ノ關

係ニ於テ對滿事務局總裁ニ御尋ネ致シマス、

申上ゲル迄モナク、總動員態勢ヲ作りマス

ニハ、其準備トシテ總動員物資ノ擴充ト云フ

コトガ是非必要デアル、是ハ申上ゲル迄モ

ナイト思フ、其際ニ日滿ノ産業ヲ一體ノ見

地ニ於テ確立シナケレバナラス、斯ウ思フ

ノデス、ソコデ從來ノ我國ノ産業ノ指導精

神ハ適地適產主義、最モ適スル場所ニ適ス

熱帶地デアリマスカラ、熱帶地獨特ノ產物

ヲ臺灣ニ作ラセル、滿洲トシテハ滿洲獨特

ノ物ヲ作ルヤウニ指導スルト云フコトガ、

絶對ニ私ハ必要ダト思フ、適地適產ニアラ

ズシテ、國家統制ノ見地カラ、統制アル生

産ノ獎勵ヲスルト云フ方針ガ必要デアルト

私ハ思フ、ソコデ滿洲ノ産業指導精神トシ

マシテハ、自ラ滿洲ヲ基調ト致シマシテ、

産業ノ指導精神ヲ考ヘナケレバナラナイト

私ハ思フノデス、是等ニ對スル對滿事務局

總裁ノ御所見ハ如何デゴザイマスガ

○杉山國務大臣 今日ノ産業ヲ進展致シマ

スルコトニ付キマシテハ、有事ノ際ニ於キ

マシテ、自給自足ノ策ヲ立テルコトガ、極

メテ必要デアルト考ヘルノデアリマス、此

見地ヨリ致シマシテ、日滿兩國ノ有シテ居

リマスル資源ヲ以テ、如何ニ國內及ビ滿洲

ノ要求ヲ滿シ、殊ニ戰時ニ於ケル需要ヲ充

足シ得ルカト云フ事柄ガ、極メテ緊要ナ事

柄デアリマシテ、此點ニ付キマシテ、日滿

兩國相共同致シマシテ、日滿經濟共同委員

會ヲ設ケマシテ、之ニ依ッテ有無相通ジ、共

存共榮ノ實ヲ擧ゲ得ル如ク進ンデ居ルノデ

アリマス、隨テ只今河野君ノ御述ベニナリ

マシタヤウナ方法ニ依ルモノモアリマセウ

シ、或ハ又適地適產主義ニ依ル場合モアリ

マシタヤウナ方法ニ依ルモノモアリマセウ

シ、或ハ又適地適產主義ニ依ル場合モアリ

マシタヤウナ方法ニ依ルモノモアリマセウ

シ、或ハ又適地適產主義ニ依ル場合モアリ

マシタヤウナ方法ニ依ルモノモアリマセウ

シ、或ハ又適地適產主義ニ依ル場合モアリ

マセウト思ヒマスガ、之ヲ明確ニ區分シテ致シマスルヨリハ彼此按配ヲシテ考ヘテ参リマスルコトガ適當デハナイカト考ヘテ居リマス

○河野委員 ソコデ進ンデ御尋致シタイノハ、其今ノ指導精神ニ付テハ、私ハ異存ハアリマセヌガ、一番滿洲産業行政トシテ、今日考ヘナケレバナリマセヌコトハ滿鐵ノ運賃デアリマス、滿鐵ノ營業方針ガ、滿洲ノ産業ニ及ボス影響ト云フモノハ、非常ニ大キイモノガアルト私ハ思フ、是ハ一朝有事ノ際ニ備ヘル爲ニ産業ヲ擴充致シテ置キ、其他移民計畫ヲ遂行スル上等ニ於キマシテ、現在ノ滿鐵ノ營業方針ハ、主トシテ國防的見地ニノミニ重點ヲ置キ過ギルト思フ、是ハ私ノ極ク少イ知識デ申上ゲルノデアリマスガ、滿鐵ノ運賃ト云フモノハ篋棒ニ高過ギル、其高イノハ一體何ノ爲メカト云フコトヲ段々調査シテ見マス、國策的見地ニ立ッデ、其方面ノ國策遂行ノ上ニ、相當經費ガ掛ル、其經費ヲ負擔スル爲ニ、滿鐵ノ運賃ト云フモノハ高クシテ置カナケレバナラスコト云フ關係ダト云フコトヲ、私ハ聞イテ居ル、是ガ滿洲ノ農業發展ヲ阻害スルコト實ニ甚大ナルモノガアルト私ハ思フ、凡ソ國防的見地ニ立ッテ滿鐵ノ運賃、其他滿鐵ノ營業方針ヲ御決

メニナルコトガ、全部私ハイカスト申ス者デハアリマセヌ、是ハ自ラ別ノ見地カラヤルベキモノダト思フ、何處マデモ生産擴充、産業振興ト云フ見地カラ考ヘマスルト、今ノ滿洲ノ利用價值ト云フモノハ、滿鐵ノ運賃ガ高イ爲ニ非常ニ利用價值ガ下ゲラレテ居ルト云フコトハ、否ムベカラザル事實デアリマス、是等ニ付テ對滿事務局總裁トシテ御所見ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○杉山國務大臣 産業ノ開發ト輸送ノ運賃トノ關係ガ、極メテ緊要デアルト云フ事柄ハ、河野君ノ仰セラレル通りデアリマス、元來滿洲ニアリマスル鐵道ハ、殊ニ北滿鐵道ノ如キハ、非常ニ運賃ガ高カッタノデアリマスガ、只今河野君ノ言ハレタヤウナ趣意ノ下ニ、段々ト賃銀ヲ下ゲテ參ッテ居ルノデアリマスルガ、併ナガラ之ヲ以テモウ最低ニナッテ居ルト云フ風ニハ、私共モ考ヘテ居リマセヌ、尙ホ一層之ヲ下ゲテ産業ノ開發ニ便ナラシムルコトニ致サナケレバナラスコト云フコトヲ考ヘマシテ、サウ云フ方針ノ下ニ指導致シテ居ルノデアリマス、茲ニ御諒承ヲ願ハナケレバナリマセヌノハ、此數年前ヨリ國境附近ニ於ケル狀態ガ相當ニ切迫シテ居リマス、是等ニ對シテ國內ニ於ケル國防充實ノ計畫ヲ立テ、之ヲ運用ス

ル上ニ於キマシテ、十分ニ效果ヲ發揮致シマスル爲ニ、必要ナル鐵道ハ之ヲ設備シナケレバナラスコト云フコトニ立至ッテ鐵道ヲ建設致シタノデアリマス、是ガ爲ニ滿鐵自體ニ於テハ、相當ナ費用ヲ要シタノデアリマシテ、斯ノ如キ點カラ思フヤウニ、運賃ヲ下ゲルコトガ出來ナカッタト云フコトハ、是ハ事實デアリマス、併ナガラ國防ニ對スル必要上、所謂國防鐵道ヲ完成シナケレバナラスコト云フコトガ極メテ急デアリマシタ爲ニ、其方ニ鐵道ヲ敷設致シタノデアリマシテ、其後狀況ノ許スニ從ヒマシテ、運賃ヲ低下サスルト云フコトニ付キマシテハ、當局トシテモ此點ニ注意ヲシ、滿鐵直接ニ於テモ、十分注意ヲシテ居ルノデアリマス、幸ニ鐵道ノ發達ニ連レマシテ、奥地ニモ産業ガ段々ト發達ヲシ、又以前ヨリ鐵道ノ開通致シテ居リマシタ地方ハ、一層産業ガ開發致シタ爲ニ、運賃ノ收入モ相當上ッテ參リマシテ、十分デアリマセヌガ、若干宛ノ低下ヲ見ツ、アル次第デアリマシテ、今後ニ於キマシテモ、其方針ハ十分ニ堅持ヲシテ參リタイト存ジテ居リマス

○河野委員 大體御意見ハ分リマシタガ、一點申上ゲテ置キタイト思ヒマス事ハ、申上ゲル迄モナク滿鐵ノ運賃ハ、概念トシテ、

世界ノ普通ノ平均鐵道運賃ノ約倍デアル、何トシテモ二倍ノ運賃デアル、ソレダケ高イ運賃デアルト云フコトハ、是ハモウ事實デス、所ガ私ノ此際特ニ申上ゲタイ事ハ、其高イ運賃ヲ負擔シテ居ル者ハ一體誰カ、負擔ヲ餘儀ナクセラレテ居ル者ハ誰カト申シマスルト、主トシテ内地ノ農民デアリマス、大豆粕其他滿洲特産ノ運送ノ關係カラ致シマシテ、内地ノ農民ノ負擔ニ是ガ轉嫁セラレテ居ル、サウシマスルト、内地ノ農民ノ側カラ致シマス、國防ノ第一線ヲ負擔スル者モ農民デアリ、更ニ又國防計畫ノ遂行ノ爲ニ、非常ナ高イ運賃ヲ負擔スル者モ農民デアルト云フコトニナリマス、此方面ニ於テノ農民ノ負擔ト云フモノハ、非常ニ過重デアル、農民ハ斯ノ如クニ目ニ見エザル負擔ヲセシメラレテ居ルモノデアルト云フコトヲ、一ツ御認識願ヒタイト思フ、是等ノ點カラ申シマスレバ、只今滿鐵ハ斯ウ云フ風ナコトデ金ガ掛ルト云フコトデスガ、其金ノ掛ルコトハ吾々モ認メル、ガ併シ其金ハ別ナ方面デ出シテヤッデ貰ヒタイ、斯ノ如ク非常ナ不當ナル高價ナル鐵道運賃デ之ヲ賄ハセルコトハ、此運賃ヲ負擔スル者ガ、内地ノ農民大衆デアルト云フ御認識ノ下ニ、對滿事務局總裁トシテ、速ニ方針



ヲ決定セラレ御指示ガ願ヒタイトスウ思フ

其外マダ申上ゲタイ事ガアリマス、例ヘ

テ申シマスレバ、移民ノ問題ニシマシテモ、

内地ノ農民ガ盛シニ滿洲へ行ッテモット働キ

タイト思ヒマシテモ、今ノ滿鐵ノ運賃ノアノ

高サデハ、行ッテ働イテモ駄目ナンデス、私

ハ行ッテ調べテ見マシタケレドモ、アノ筈棒

ナ高イ運賃デ、百姓ガアノ奥へ行ッテ働キマ

シタ所ガ、物が出來ルカラ唯一生食ッテ通

ルダケハ通レルガ、拵ヘタモノガ全部運賃

ニ掛ッテシマッテ、働キ甲斐ガナイト云フ點

等ヲ考ヘマスルト、速ニ是ハ何トカシナケ

レバイカヌ、サウシテ滿洲ノ奥地開發、滿

洲ノ全面的産業ノ振興ト云フコトニ努力セ

ラレマスコトガ、物資擴充ノ上ニ於テ、總

動員態勢ヲ作ル上ニ於テ、非常ニ私ハ重要

ナル事ト思フ、是等ノ點ニ於テ政府ハ相當

努力セラレル點ガ多カラウト思フ、是等ハ

滿鐵ノ運賃ヲ下ゲテ、他ノ方面カラ滿鐵ニ

補助金ナラ補助金ヲ出シ、今ノ國防鐵道ヲ

造ルナラ、其設備費ハ他ノ方面カラ金ヲ出シ

テヤルト云フコトニナサレバ、非常ニ簡單

ニ行クダラウト思フ、サウスレバ滿洲ノ全

面開發ニモナルシ、内地ノ農民ノ負擔モ輕

減シテ來ル、ソレニ依ッテ非常ニ負擔ノ均

衡ガ取レルヤウニナッテ來ルト云フヤウナ

點ガアリマスノデ、特ニ陸軍大臣ノ御考慮  
ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

次ニ陸軍大臣ニ御尋シマスガ、戰時事變、

本法ヲ適用スルヤウナ國家情勢ニ於キマシ

テハ、先日來政府當局ノ御答辯ヲ承ッテ居

リマスルト、其事態ノ如何ニ依ッテ本法發

動ノ計畫ガ違フ、スケールガ違フノダ、豫

メ戰爭ニ當ッテ十萬動員スル、五十萬動員ス

ル、百萬動員スルト云フ風ニ、計畫ガ違フ

ノダト云フヤウナ御話デアリマスケレド

モ、私考ヘマスノニ、戰爭ト云フモノハ、出

來得ベクンバ速戰即決、如何ナル場合ニモ、對

手ガ如何ニ弱クテモ、コチヲノ全力ヲ以テ

早ク目的ヲ達スルコトガ絕對ニ必要ダト思

フ、對手ガ五デアレバコチヲモ五デ立ッ、

對手ガ十デ立ッテ居レバコチヲモ十デ立ッ

ト云フヤウナ、對手ノ力ニ對應シテ區別ヲ

スル、而モ是ハ、動員令ノ兵隊ヲ動カス方

ハ別トシマシテ、國內ヲ緊張シテ、全國民

ヲ總動員態勢ニ置クト云フ意味カラ行キ、マ

スト、如何ナル場合ニモ國民ヲ總動員スル

コトガ必要デアル、サウシテ目的ヲ達成ヲ早

カラシムルコトガ必要ダ、斯ウ云フ風ニ考

ヘマスケレドモ、其點ハ如何デアリマスカ

○杉山國務大臣 河野君ノ速戰即決ト云フ

意味ニ於テハ、全然私モ同意デアリマス、

併ナガラ其事態ノ發生ノ狀況ニ依リマシテ

ハ、最初ヨリ全力ヲ用フベキカ、或ハ一部

ノモノデ宜シイカト云フ事柄ハ、全ク狀況

ニ依ルモノデアリマシテ、慈ニ國家總動員

法ニ於テ考ヘテ居リマスノハ、國家ノ全力

ヲ盡シテ戰勝ヲ期シタイト云フ、斯ウ云フ

情勢ノ下ニ於キマシテ、之ヲ發動致シタイ

ト考ヘテ居リマス、隨テ前回ニモ申上ゲマ

シタ如ク、狀況ノ發生スル場合ニ依リマシ

テハ、海軍ハ餘リ活動致シマセヌデモ、陸

軍ハ殆ど全部ヲ使ハナケレバナラスト云フ

場合モアリマスルシ、或ハ又反對ノ場合モ

アリマスルシ、陸海軍共ニ全力ヲ使ハナケレ

バナラスト云フ狀況モアリマシテ、是等ノ

狀況ニ依ッテ各、執ルベキ總動員ノ内容ニ

於テ形態ガ變ッテ來ルノデアリマス、今河野

君ノ述ベラレタ所ノ速戰速決ト云フ點ニ於

キマシテモ、既ニ此度ノ事變ニ於キマシテ

モ事實速戰速決ト云フ考デ進ンデ居リマシ

テモ、又速戰速決ノ處置ヲ執ル前ニ於キマ

シテ現地解決、事件不擴大ト云フ方針ヲ執

リ、續イテ速戰即決、速ニ此目的ヲ達成ス

ルト云フコトニ努メテ參ラナケレバナラス

ト云フヤウナ、各種ノ狀況ノアツタコト等

ヲ考ヘテ見マスルト、國家總動員ヲ直チニ

ラレヌノデアリマス、色々其時ノ狀況ニ依ッ

テ動キ方ガ異ッテ參リマススト云フ事柄ヲ考

ヘナケレバナラスト存ズルノデアリマス

○河野委員 具體的ニ一ツ御尋シマスガ、

一昨日外務大臣ニ伺ヒマス、今回ノ事變

モ今後ニ非常ニ重要性ガアルト云フ御答辯

ヲ承ッタノデスガ、私ノ認識デハ、南京陷落

以來之ヲ契機ト致シマシテ、其前後ニ於テ

國民的緊張ニモ差異ガアル、ソレカラ國家

ト致シマシテモ、ソレ以前ノ方針ト以後ニ

於テハ變ッテ來タ、之ヲ強イテ申シマスレ

バ、其以前ニ於テハ總動員態勢ニ非常ニ必

要ナルモノ、緊急ナルモノガアツタヤウナ感

ジガ致シマシテ、其後ニ於テハ長期抗戰ト

云フヤウナ意味合ニ於キマシテ、寧ろ總動

員體制ノ必要性ガ薄ライデ來タト云フヤウ

ナ感ジガスルノデアリマスガ、ソレハ陸軍

大臣ノ御所見トシテハ如何デゴザイマスカ

○杉山國務大臣 南京攻略後ニ於キマシテ、

此度ノ事變ガ長期ニ移ルト云フ事柄ハ、皆

考ヘラレル事柄デアリマスルガ、此長期ニ

移リマシタ以後ニ於キマシテ、國際的狀況

ガ如何ニ變化スルカト云フ事柄ハ、極メ

テ重大ナ問題デアリマス、殊ニ隣接ノ諸國

ノ狀態等ヲ考ヘマスルト、或ハ重大ナル事

態ニ遭遇スルコトガナイトモ限ラナイノデ



アリマシテ、是等ヲ考ヘテ見マスルト、長期作戰ニ入ルニ從ヒマシテ益、之ニ對スル所ノ準備、即チ國家總動員法ヲ速ニ制定ヲ致シマシテ、準備ヲ致シテ居リマスルコトガ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○河野委員 サウシマス、列國ノ關係ガ益、憂慮スベキモノガアルト、斯ウ豫想シナケレバナラスト云フコトデアリマスガ、吾々ノ認識ハ、南京攻略前ニ於テハ相當緊張シ、若シ列國ヨリ兎角ノコトガアルナラバ、アノ以前ニアルベキデアット思フノデス、又國民トシテハサウ云フ認識ヲ持ッテ居ッテ者ガ多イノデハナイカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、南京攻略前ニハ相當國民ニモ憂色深キモノガアッタ、所ガアレヲ契機ト致シマシテ、マアアレノ宜カッタト云フ感ジガ非常ニ強イ、國際關係ノ問題等ニ致シマシテモ、外務大臣ノ御説明ヲ承リマシテモ、具體的ニ承レバ何處ニドウト云フコトハナイ、併シ抽象的ニハ最後ニ「トハ申シナガラ」ト一ツクッ付イテ來ル、ソレガ非常ニ國民トシテハ理解ノ行カナイ點ナノデス、ガ併シサウ云フ事態ガ國民トシテモ亦覺悟シナケレバナラスト云フコトモ結構デス、内務大臣御列席デアリマスガ、内務大臣ガ申サレマスヤウニ、非常ニ國民トシテ

緊張シナケレバナラスト云フノナラ、ソレ

デモ宜イノデス、ガ併シドウモ吾々ノ考デハ、サウ云フ風ナ感じガ出テ來ナイノデアリマス、ト申シマスノハ、何時モ私申スノデアリマスガ、今日ハ具體的ニ申シマス、萬國博覽會ノ問題等ハ一體ドウデス、南京攻略前ニ於テハ政府ノ態度ハ「オリンピック」ニシテモ、萬國博覽會ニ致シマシテモ、政府ハ是ハ相當考ヘル、此儘デハ行クマイト云フコトヲ、議會デハッキリ御答辯ニナツタ、所ガ南京攻略以後ニ於キマシテ、是等ノ準備ガ俄ニ活潑ニナツテ來タ、是ハハッキリシテ居ル、具體的ノ事實デス、政府ノ指導方針ガ明ニ、具體的ニ、如實ニ現レタモノハドウカト、斯ウ客觀的ニ見マスルト、是等ノ問題デ政府ノ方針ガハッキリ出テ居ル、南京攻略前ト南京攻略後トデ、平和施設ニ對シテ政府ノ指導精神ガ、具體的ニ現レタモノヲ客觀的ニ見テ居リマスルト、サウ出テ居ル、政府ノ指導精神ガ、斯ウ云フ風ニ具體的ニ現レテ居ルヤウニ見エル、デアルカラ國民トシテノ認識モ亦其處ニ行ク、其處ニ今度ハ突如トシテ總動員法案ガ出テ來タ、迷ハザルヲ得ヌノデアリマス、吾々トシマシテモ南京攻略前ノ議會ニ於テハ「オリンピック」モ止メテ貰ヒタイ、萬國博覽會モ止

メルガ宜シイ、斯ウ云フコトヲ強硬ニ主張

シタ、所ガ南京ハ陷落スル、長期抗戰ニナツタ、モウ蔣介石ノ前途モ豫想ガ付ク、國民トシテモ非常ニ朗ニナツテ來タ、政府ノ指導方針モ、マア平和施設モヤルガ宜カラウト云フヤウニ見受ケラレタ、是等ノコトハ單獨デ民間ガヤルノデハアリマセヌ、例ヘバ博覽會ニシマスレバ資金調整法ニ是ハ繫グテ來ル、資金調整法デ見レバ博覽會ハ丙ダ、但シ萬國博覽會ハ除クト書イテアル、萬國博覽會ダケハ準備シテ宜シイト書イテアル、資金調整法デ産業擴充ニ付テ是ダケノ細カナ資金ノ統制ヲスル際ニ、萬國博覽會ハ之ヲ除クト書イテアル、一般ノ博覽會ハ丙ノ部デアツテ是ハイカヌ、併シ萬國博覽會ダケハ、是ハ宜シイト書イテアル、是等ノ指導方針ガ、吾々ニハドウ云フ譯ダカ分ラナイノデス、「オリンピック」ニシテモ其通り、陸軍大臣ハ「オリンピック」ニハ馬術ノ選手ハ參加サセナイト仰シヤル、所ガ政府ノ方ハ大藏省カラ百万圓ノ補助金ヲ御出シナル、閣僚ノ中ノ認識ガ私ハ違フノデハナイカト思フ、陸軍大臣ガ一生懸命デ、此總動員法案ニ對シテ信念ヲ以テ御説明ニナル所ハ、吾々モ大イニ諒トスル、所ガ他ノ閣僚ノヤツテ居ルコトハビタット軌

道ニ乗ッテ居ラス、デアリマスルカラ吾々ト

シテモ、ドウモ是ハオカシイト云フ氣ガスルノデス、強ヒテ申上ゲレバ、軍ハ總動員法、總動員法ト仰シヤルガ、他ノ閣僚ハ割合ニ悠長デアル、同じ内閣ノ下ニアッテドウ云フ譯ダラウト云フ氣ガスルノデス、所ガ民間ニ在リマシテハ、世界ノ情勢ニシロ、外交ノ機微ニシロ、戰局ノ進展ニシロ分ラナイ、サウ云フコトニ對スル認識ガナイ、認識ガアリマセヌカラ、一體ドレガ一番宜イカ、ドノ方針ガ一番妥當カト云フコトハ判斷ガ付カナイノデス、是ハ其中心ニ居ラレル閣僚ノ態度、閣僚ノ動向ト云フモノヲ以テ、吾々ノ尺度トスルヨリ外仕方ガナイ、所ガ其社會ニ現レテ來マスル尺度ト云フモノハ、皆閣僚ニ依ッテ違ッテ居ル、是デハ國民ガ迷ハザルヲ得ヌノデス、是等ニ對シテ陸軍大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○杉山國務大臣 「オリンピック」ノ乘馬競技ニ對シマシテ、現役ノ將校ヲ參加セシメナイヤウニシタコトハ、御述ニナツタ通りデアリマス、軍ニ於キマシテハ在郷ノ將兵マデ召集ヲシテ、事變ニ從事ヲシナケレバナラヌ際ニ於キマシテ、直接軍事ニ關係ノナイ事柄ノ「オリンピック」ノ競技ニ現役ノ將校ヲ參加サセマスコトハ、寧ロ之ヲ戰地ニ

利用致シマシテ、其力ヲ發揮サスルコトガ適當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ「オリンピック」ハ此事變ガ繼續スル限リニ於テハ開クコトガ出來ナイト考ヘテ居リマス、併ナガラ事變ガ速ニ解決ラシマシテ、「オリンピック」ヲ開催スルモ差支ガナイト云フ狀態デアリマスナラバ、「オリンピック」ヲ開催スルト云フコトニ付テ、必シモ不同意ヲ言フモノデハナイノデアリマス

○河野委員 陸軍大臣ノ御答辯ハ非常ニ明瞭デス、非常ニハッキリシテ居ルガ、結果カラ考ヘルト論理ガ合テ來スト思フ、此事變ガ繼續シテ居ル間ハ「オリンピック」ト云フモノハヤルベキモノデハナイ、サウ申サレルナラバ、一方ニ於テ總動員態勢ヲ整ヘル、總動員法ヲ今此處デ作ル、此事變トハ限リマセスケレドモ、一方ニ於テハ長期應戰ト云フコトヲ政府ハ聲明シテ御居デニナル、長期ト云フノハマサカ半年ヤ一年ノコトヲ言フノデハナイデセウ、幸ニシテ片ガ付ケバ結構デ、吾々ハ一日モ速ニ片ガ付カシコトヲ熱望ラ致シマス、併シ一方ニ於テハ長期抗戰ト云フコトニ對シテ、應戰スルト云フコトヲ聲明シテ御居デニナリマスシ、今回ノ支那事變ノ現狀カラ考ヘマシテ、此善後處置ヲ致シマスニ付キマシテ、滿洲事變ノ

ヤウニ、ア、云フ簡單ナモノデアッテモ相當長期ヲ要シテ居ル、況ヤ現在出征シテ居リマスル百万ノ將兵諸君ガ、是ガ目出タク凱旋セラレマシテ、事變解決ト云フコトガ、一年ヤ二年デ出來ルヤウナ考ハ、當然吾々ハ持ツコトガ出來ヌ、所ガ一方ニ於テ政府ガ「オリンピック」ハ事變ガ片付ケバヤッテモ宜イノダト云フコトニナッテ、其「オリンピック」ニ對シテ補助金ヲ出シテ居リマスノハ、此事變ガ二年經タナイ中ニ片ガ付ク見込ガアルト言フ認識ヲ、政府ガ持ッテ居ラレルト

言ッテモ宜カラウト思ヒマス、二年經タナイ中ニ片ガ付ク見込ガアルカラ「オリンピック」ニ對シテ補助金ヲ出シテ居ルノダ、苟モ爲替ガ非常ニ大事ダ、苟モ無駄遣ヒラシテハイカヌト云フニ拘ラズ、「オリンピック」ノ相談ニ、何人モ何人モ外國ニ派遣スルト云フコトヲヤラシテ居ル所ヲ見マス、二年以内ニ此事變ガ片付ク見込ガアルト云フ認識ヲ、政府ガ持ッテ居ラレルヤウニ考ヘル、サウ云フ推論ヲシテ宜カラウト思ヒマス、所ガ一方ニ於テ支那事變ノ現狀ヲ其儘吾々ハ國民的ニ認識シマスレバ、是ガ一年ヤ二年デ片ガ付ケバ、何モ長期抗戰、國民的覺悟ヲ要求スル必要ガナイ、ドウシテモサウ云フ推論ニナッテ來ルト思フ、支那事變ノ善後處理ガ一年

ヤ二年デ片付クトハ思ハヌ、我國開國以來ノ大業ガ、サウ簡單ニ片付クトハ思ハヌ、此國家的開國以來ノ大業ヲ完成シナケレバナラヌト云フ國民的決意ヲ望マナケレバナラナイト思フ、其際ニ於テ只今ノ陸軍大臣ノ御答辯ハ、非常ニ國民ヲ迷ハシメルモノガアルト思フ、如何デアリマスカ

○杉山國務大臣 事變ガ「オリンピック」ノ開催セラレマスル迄ニ濟ムコトガアルカモ分リマセヌシ、或ハ又濟マヌコトガアルカモ分リマセヌ、是ハドナラトモ判斷シ兼ネルノデアリマス、併ナガラ今日ニ於ケル覺悟ト致シマシテハ、「オリンピック」開催ト云フコトニ決定致シマシタ當時ニ考ヘテ居リマシタヤウナ大キナ規模ノコトデナクシテ、分相應ノコトヲスルノデアレバ、今日ヨリ準備シテ居ッテモ差支ナカラウト、私ハ考ヘテ居リマス

○河野委員 私ガ最初ニ申上ゲタ速戰即決、國民總動員ノ覺悟ト云フコトヲ申上ゲタノハ、其意味デ申上ゲタノデス、一方ニ於テ百万ノ大軍ガ支那ニ行ッテ戰ッテ居ル、其際ニ假令國民ノ一部デアッテモ「オリンピック」ニ現ヲ拔カシテ居ルト云フコトデ、一體精神總動員ガ出來マセウカ、私ハ陸軍大臣ノ率直ナル御答辯ヲ要求スル、率直ナル所信

ノ披瀝ヲ要求スル、先日末次內務大臣ハ、自分ハ時局ノ重大性ニ鑑ミテ、博覽會ヲ知ラナカッタト云フ其率直性ヲ私ハ尊重スル、斯クアッテ然ルベキモノダト思ヒマス、私ハ元來申シマスルト「スポーツ」ニ對スル認識ニ付テハ、衆議院議員中斷ジテ人後ニ落チヌト思フ、運動ノ精神ト雖モ、私ハ恐ラクサウ他ニ出ル者ハアルマイト思フ、「オリンピック」競技ニ付テモ、私ハ當事者トシテ相當ノ認識ヲ持ッテ居ル、併シ此時局カラ考ヘテ、全ク逆ナ事ヲ私ハ要求シテ居ル、私ハ神奈川縣ノ體育協會會長トシテ、神奈川縣下ノ青年ニ向ッテ「オリンピック」競技ノ中止ト云フコトノ指令ヲ出シテ居ル、斯ノ如クシテ眞ニ國民ニ決意ヲ要求スル秋デハナイカト思フ、一方ニ於テハ停車場デ萬歲々々ト云ッテ青年ヲ送ッテヤリ、一方ノ青年ハ「オリンピック」ノ練習ヲシテ居ル、指導階級ノ一部デハ「オリンピック」ノ準備デ一生懸命ニナッテ居ル、總動員態勢ト凡ソ距離ガ遠イ、其程度ノ認識デ宜イナラ總動員態勢ハ、私ハ考ヘル必要ハナイト思ヒマス、一方ニ於テ此事變ニ付テ國際關係等ヲ考慮スルナラバ、年内ニモ總動員態勢發動ノ必要ガアルト云フコトガ、本法ヲ政府ガ提案スル思想ダラウト思フ、要求ダラウト思フ、然ルニ

一方ニ於テ何デスカ、「オリムピック」ハ初メ程大キナモノハヤラセヌガ、「スケール」ヲ小サクシテヤラセルト云フ、小サイトカ大キイトカト云フ問題デハナイ、精神ノ問題デアリマス、サウ云フコトデ百万ノ出征兵士ニ相濟ムト思フカ、百万ノ出征兵ノ家族ニ對シテ相濟ムト御考ヘニナルカ、國家ノ爲ニ非常ナル家庭的ナ苦痛ヲ嘗メテ、ドンナ苦痛ヲ忍ンデモ國家ノ爲ニ働クト云フ氣持、氣分ヲ持ッテ居ル國民ト、ソレカラ計畫ヲ小サクスルナラバ「オリムピック」ヲヤル、二年先ニハ「オリムピック」ダ、サウ云フコトヲ國家機構ノ一部ニデモ、シテ居ルコトガ一體宜シイデアリマセウカ、假令現内閣ノ補助金ガ七十万デモ、百万圓デモ、之ヲ國內的ニ考ヘレバヤハリ一千万圓ナリ、二千万圓ナリノ金ガ掛ル、ソシナコトヲヤルヨリハ、早ク傷病兵ノ救護院デモ作ッタ方ガ宜イト思フ、サウ云フコトニドシ／＼金ヲ使フガ宜シイ、同ジ青年ノ中デ一方ニ於テハ凍傷ニ罹ッテ、手モ足モ動カヌヤウニナッテ居ル青年モアレバ、一方ニ於テ派手ナ「ユニホーム」ヲ著テ飛ンデ廻ッテ居ル青年ガアルト云フコトデ、一體國家ニ對スル認識ガドウ云フコトニナリマスカ、斯ウ云フコトヲ先ヅハッキリ決メテ掛ッテ戴キタイ、陸軍大臣ノ重ネテノ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

同時ニ、末次内務大臣モ御出席デアリマスカラ、内務大臣ニ重ネテ萬國博覽會ノコトヲ御尋致シマス、先日御尋シマシタ時ニ、萬國博覽會ノアルコトヲ知ラナカッタト云フコトデ、私モ大變結構ト思ッテ、其程度ノ考デ居ラレテ然ルベキダト思フ、所ガ今日其博覽會ノ入場券ヲ賣出シテ居ル、市中何處ヘ行ッテモ二年先ノ博覽會ノ入場券、而モソレハ割増金ヲ付ケテ居ル、之ヲ買ッテ置ケバ二千圓ニナルトカ、ナラナイトカト云フコトデ、「オリムピック」ト竝ンデ今デハ博覽會氣分デアアル、サウ云フコトト總動員態勢——總動員法案ニ對シテハ非常ニ憲法上ノ疑義ガアル、私ハ憲法ハ能ク分ラヌカラ、ソレハ聽キマセヌガ、衆議院トシテ相當考ヘナケレバナラヌモノニ對シテ、國家ノ時局ノ重大性カラ考ヘテ見レバドシナコトデモシナケレバナラヌト思フ、所ガ一方ニ於テ「オリムピック」ダ、萬國博覽會ダ、ソレヲ政府ガ賛成シテ居ル、其儘進メサシテ居ルト云フ程度ノコトナラバ、私ハ總動員法ハ要ルマイト思ヒマス、ドウシテモ此一二ツノ認識ハ合致シテ來ナイ、兩大臣ノ御所見ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

トハアリマセヌ

○末次國務大臣 時局ノ認識ニ付キマシテハ、河野君ト全然同感デアリマス、總動員法ノ必要ノコトハ更メテ私カラ申上ゲル迄モアリマセヌ、萬國博覽會ニ付キマシテハ、前回御答シマシタ時ニハ甚ダ迂闊デアリマシタガ、實ハ私知ラナカッタデアリマス、併シ是ガ既ニ政府ニ於テ承認サレテ居ルト云フコトデアリマスレバ、知ラナカッタト云フノデハ相濟ミマセヌ、趣意ニ於テハ河野君ト私ハ全ク同感デアリマス、併シ此實行ニ付テ、是アルガ爲ニ國家總動員法ガ成立シナイ、總動員法ノ精神ガ、萬國博覽會ノ計畫ガ進ンデ居ルガ爲ニ、スッカリ破壊サレル、サウ云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、無論戰爭ガドシ／＼進行シマスレバ、サウ云フ悠長ナコトガ出來得ベキコトデハナイト思ヒマス、唯有難イコトニハ時局ハ極メテ重大デアリマスガ、國家ハ相當ニ餘力ヲ持ッテ居ル、若シ其時期ニナッテ出來サウナラヤッテモ差支ナイ、斯ウ云フ認識デ政府ハヤッテ居ルモノト信ジテ居リマス、其點御諒承願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 諄イヤウデスガモウ少シ御尋シタイ、例ヘバ萬國博覽會ニシマシテモ、是ハ此事變動發前ニ、割増金付ノ債券ノ法律案ガ出マシテ、吾々衆議院トシマシテモ之ニ賛成ヲシテ法律ニナッタ、恐ラク此時局ニナッテ斯ウ云フヤウナ法案ガ出レバ、何人モ賛成スル者ハ無カッタラウト思フ、又恐ラク當局ニ於テモ、サウ云フ法律案ヲ御出シニナラナカッタラウト思フ、時局前ニ出來タ法律デアレバ、此時局ガ起ッたら自ラ認識ヲ變ヘテ、政府ハヤッテ然ルベキモノト思フ、時局前ニ割増金付入場券ヲ賣出ス法律案ヲ出シテ、是ガ衆議院ヲ通過シタデハナイカ、法律ニナッテ居ルデハナイカト云フコトデ、其儘此時局ニ對シテ進メテ居ルコトハ私ハ宜シクナイコトト思フ、而モ末次内務大臣トモアラウ者ガ、ヤッテ居ルコトダカラ、幸ヒ我が國家ニ餘力ガアルカラ、ヤラシテ置イテモ大シタコトハナカラウト云フ程度ノコトデナクシテ、モウ少シ細カナ點マデ御考ニナッテ戴キタイト思フ、自分ノ息子ヤ自分ノ亭主ガ戰爭ニ行ッテ非常ニ苦ンデ居ルダラウト思ッテ居ル細君、子供ガ、萬國博覽會ノ準備ヲシテ居ル、萬國博覽會ノ入場券ハ如何デスカト持ッテ來ラレタ時ニ、一體ドウ云フ氣持ガシマスカ、サウ云フ人ノ身ニモ少シハナッテヤッテ戴キタイト思フ、是ハ速ニ政府ガ勇斷、決斷ヲ以テピシヤットヤッテシマウベキモノト思フ、ソレハ出來ルヤウニナッタラヤッタ宜イデアアリマセヌカ、幸ニシテ時局ガ片付イタナラバ、國全體ヲ擧ゲテ

ドンナニオ祭ラシテモ宜シイ、幾ラ金ガ掛ッテモ宜イカラウントヤッタ宜イ、喜ブ時ハ皆一緒ニ喜バウ、飲ム時ニハ皆一緒ニ飲ンダラ宜イデハナイカ、一部ノ者ハ戦争ニ行ッテ居ル、一部ノ者ハ博覽會ノ準備ダ、是デ一體國民精神ノ總動員ガ出來ルト御考ニナリマスカ、又陸軍大臣ノ先程ノ答辯ハ、議會ハソレデ通ルカモ知レヌ、此場ハ其答辯デ通ルカモ知レマセヌガ、其答辯ガ如何ニ國民ニ影響スルカト云フコトヲ御考願ヒタイ、我が國軍ノ士氣ニドノ程度ノ影響ガアルカト云フコトヲ御考願ヒタイ、次ノ機會ニ於テ私ハ出征兵士カラノ手紙ヲ持ッテ來テ朗讀致シマスカラ御聽キ願ヒタイ、今戦争ニ行ッテ居リマス「オリンピック」ノ選手、嘗テ之ニ關係シタ選手達ガ出征シテ居ッテ、私ガ「オリンピック」ニ反對論ヲ唱ヘテ居ルト云フコトヲ向フデ聽イテ、私ノ意見ニ共鳴シテ寄越シタ日本ノ代表選手ノ手紙ヲ持ッテ來テ朗讀シマス、若イ青年デモ此位ノ認識ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ、陸軍大臣ノ反省ヲ促シタイと思フ、此程度ノ反省デハイケマセヌ、戦争ニ行ッテ居ル者ノ氣持ニナラナケレバナラヌと思フ、國內ニ居テ一番心配セラレテ居ルト思フ關係ガ、其程度ノコトヲ言ッテ居ラレルト云フノデハ、

國民精神ニ及ボス影響ノ甚大ナルモノガアルと思フ、殊ニ農村ノ青年ニ非常ニ惡イ、私ガ斯ウ云フコトヲ言ッテモ、都會デハ誰モ贊成スル者ハナイ、殊ニ東京市民ハ全部私ニ反對デセウ、神奈川縣ニ行ッテモ横濱市デハ反對デセウ、併シ神奈川縣下ノ農村青年ハ全面的ニ私ノ意見ニ贊成ダ、茲ニ都市ト農村ノ區別ガアルコトヲ御考願ハナケレバナラヌ、都會ニ住ンデ居ル人ノ此事變ニ對スル認識ト、農村ニ居リマス者ノ認識ト認識ガ違フ、其處ニ我國農民ノ國家觀念ニ對スル有難イ所ガアル、基礎ノ堅實ナ所ガアル、此農村精神ノ堅實性ヲ破壊スルヤウナ事ガアッタラ、國家ノ前途ニ重大ナ問題ガ起ルコトヲ御考願ハナケレバナラヌ、唯議會ノ委員會ノ答辯デアルカラ、河野ガ言フカラ、「オリンピック」ニ付テ強イコトヲ言ッタラ、ソレガ又問題ガウルサイ、此程度ノコトハヤラシテ置イタ所ガ、政治上何デモナイト云フコトデ、苟モ御考ニナルベキ問題デハナイ、百ノ近衛總理ノ精神總動員ノ演説ヨリモ、是ダケ時局ハ重大ダト、現實ニ於テ示サレタル一ツノ事ガ、ドレダケ效果ガアルカ分ラナイ、ドウデス、此頃驛ヘ行キマシテモ、事變ノ最初ニ於キマス驛ノ見送り狀態ト、此頃ノ出

征兵士ノ見送り狀態ト、ドウ云フ變化ガアルカ、陸軍大臣御承知カ、此頃連日東京驛ヲ始メトシマシテ鐵道沿線ニ、一方ニ遺骨ヲ迎ヘ、一方ニ出征兵士ヲ送ル、此事實ヲ見タ後ニ、而モ其歡送致シマスル民衆ノ氣魄ガ、事變ノ當初今日トドウ云フ變化ガアルカ、陸軍大臣御承知ニナッテ居リマスカ、立派ナ旗コソ立ッテ居ル、秩序ハ此頃良クナツタ、秩序コソ良ク整ッタガ、事變當初ノ氣魄ハ全然アリマセヌゾ、是ハ一ニ政府ノ指導宜シキヲ得ナイカラダト私ハ思フ、重ネテ御所見ヲ質シタイと思フ

○杉山國務大臣 軍ニ與ヘマスル影響ニ付テハ、河野君ノ御考ノ通りデアリマス、其點ハ十分ニ私モ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ此「オリンピック」ヲ開始致シマスルコトニ付キマシテハ、既ニ述ベマシタ如ク事變ガ解決致シマシタナレバ實施スルノデアリマシテ、是ガ長ク續キ、若クハソレマデ續カナクテモ、今後重大ナル事變ニ直面致シタ場合ニハ、是ハ直チニ止メナケレバナラヌモノデアルト考ヘテ居リマス

○河野委員 內務大臣、ゴザイマセヌカ

○末次國務大臣 陸軍大臣ノ御答辯ト全ク同ジデアリマス

○河野委員 是以上ハ申上ゲマセヌガ、切

ニ私ノ申上ゲマスカヤウナコトニ、殊ニ兩閣僚ハ內閣ニ於キマシテモ有力ナ發言權ガアル閣僚ト考ヘマスカラ、思ヒ切ッテサウサレタ方ガ宜イト思フ、コンナ細カナ事「オリンピック」ヤ博覽會ハ國家ノ前途カラ考レバ問題デハナイ、國家ノ現狀ニ鑑ミ、此重要性ニ鑑ミレバ問題デナイト思フ、コンナモノハビシヤット止メレバ宜イ、止メタラ日本ニ何ガ起ル、止メタラ國際的ニ何ガ起ルト云フヤウナ、ソナ問題デハ斷ジテナカラウト思フ、ソコデ更ニ進ンデ申上ゲマス、序ニ內務大臣ニ御尋致シテ置キマスガ、先程政府委員カラ本法發動ト地方自治體ノ行政機構並ニ之ニ要スル經費ト云フコトニ付テ、御尋致シマシタ所ガ、本法ヲ發動スル場合ニハ、申上ゲル迄モナク地方モ經費ガ掛ル、地方モソレノ準備ヲシナケレバナラヌ、具體的ニ申セバ、其係リノ人間モ置イテ置カネバナラヌ、サウシテドウ云フ風ニシテ之ヲヤルカト云フコトヲ決メナケレバナラヌ、所ガソレニ付テ決ッテ居ラスト云フ御話デス、是ハ非常ニ私ハ宜クナイと思フ、ト同時ニ此善シ惡シハ別トシマシテ、私ハ先程事務當局ニ申上ゲテ置キマシタガ、特ニ內務大臣ノ御所見ヲ質シテ置カナケレバナリマセヌコトハ、內務大臣御

承知ノ通り、現在地方ノ自治體、市町村ハ非常ニ財政的ニ困窮致シテ居リマス、町村交付金ヲモット増シテ吳レト云フ運動ノ切ナルモノガアル、其時ニ更ニ斯ウ云フ仕事ガ加ハリマス、其爲ニ經費ガ増スノデアリマス、増スコトハ事實ナンデス、所ガ増ス其經費ハ一體下ウナサルカ、ソレニ付テハ政府ハ御考ガナイ、ソレデハ困ルノデアリマス、ソコデ内務大臣ハ、此經費ハ速ニ國庫負擔ニ於テヤラセルト云フコトヲ、此際御言明願ヒマセスト、假令總動員態勢ト申シマシテモ、地方ノ町村、殊ニ農村ノ負擔ノ過重ニナリマスコトハ、甚ダ今日ノ實情カラ見テ困ルノデアリマス、而モ是ハ常時的ニ要ルノデアアル、發動シタカラ其時ニ直グ係員ヲ置クト云フノデハ間ニ合ハヌ、今ノ軍事動員令ノ計畫ノヤウニ、豫メ其體制ヲ整ヘテ置カナケレバナラス、サウシテ何時發動シテモソレガビシヤット直グ行クヤウニシテ置カナケレバナラスノデアリマスカラ、其準備ダケハ整ヘナケレバナラス、其經費ダケハ取ッテ置カナケレバナラス、サウシテ地方ニ對シテ、ソレヲ國家的ニ見テヤラナケレバイカヌモノダト思フガ、内務大臣ノ御所見ハ如何デスカ

○末次國務大臣 其點ニ付キマシテハ御意

見ノ通りデアリマス、是ハ必要ナ經費ハ無論國庫デ支辨シナケレバナラスト思ヒマス、其點ニ付キマシテハ財政當局ト協議致シマシテ、善處スル積リデアリマス

○河野委員 御明快ナル御答辯デ満足致シマス、是ハ苟モ町村ノ負擔ニハナライヤウニ、全部國家ノ負擔ニ於テヤッテ戴キタイ、是モ常時要ルノデアリマスカラ、本法發動——發動ト云フノハドウ云フ意味カ知リマセヌガ、本法ガ制定サレマスレバ、運用サレマセヌデモ施行サレマスレバ、直グニ何時サウ云フ事態ガ起ルカモ知レスト云フ準備ノ爲ニ要ルノデアリマス、是ハ本法ガ今年此議會ヲ通ッテ制定ニナレバ、同時ニ必要ニナルノデアリマスカラ、追加豫算トシテ當然政府デ御出シニナラナケレバナナルマイと思フノデアリマス、所ガソレガアリマセスト、幾ラ本法ガ出來マシテモ、是ハ片手落、片跛ニナル、法律ダケ出來テモ地方ハ之ニ併行シテ來ナイト云フコトニナリマス、先程伺ヒマス、マダ其準備ハナイ、ドウ云フ風ニシテヤルカ決ッテ居ラスト云フ程度ノ、事務當局ノ準備ダサウデアリマス、是ハ甚ダ遺憾デアル、此點ハ一ツ至急——出來マスレバ本案審議中ニ此委員會ニ於テ決メラレタイ、只

今私ガ申上ゲマシタヤウニ、中央ノコトニ付テハ、先日陸軍大臣カラ軍需省デアルドカナイトカ、内閣デヤルトカヤラナイトカ云フ御答ガアッタノデアリマスカ、地方ノコトニ付テハ府縣ヲドウスルカ、町村ヲドウスルカト云フコトハ御答ニナッテ居リマセヌ、是ハ聽イタラマダ出來テ居ラスト云フコトデアリマス、ソコデ其金ヲドウスルカ、人員、系統ハドウスルカト云フコトヲ、此委員會ノ審議中ニ一ツ御決定ニナッテ、斯ウ云フ風ナ體制ヲ執ッテヤルノダト云フコトヲ御説明願ヒタイ——委員長、マダ續クノデスカ……

○小川委員長 モウ少シヤリマセウ、大臣ガ來テ居ラレマスカラ……

○河野委員 ソレカラ次ニ陸軍大臣ニ御尋致シマスガ、先程事務當局ニ一寸事務的ノ取扱ヲ承リマシタガ、今回ノ事變ニ鑑ミマシテ、動員令ヲ受ケテ應召サレル人ト、是ガ戰時資材擴充ノ上ニ於テ勞力ヲ提供スル者、ソレニ對スル徵用ノ行キ方デスカ、是ハ國內ニ置イテ、サウ云フ風ニ資材擴充ノ方ニ働カシタ方ガ宜シイト云フコトニ見ラレル、強ヒテ言ヘバ熟練工ト云フヤウナ者デモ、特別ノ飛行機會社ニ居ルトカ、何處ニ居ルトカ、極ク一部ノ者デモサウ云フコ

トハアッタヤウデアリマス、今回國家總動員法ガ施行セラレマシテ、全面的ニ動員令ト徵用ノ關係トガ錯綜シテ參リマス、非常ニ煩雜ニナッテ來ル、此點ニ付テハ國家産業ノ擴充カラ申シマス、動員令ト徵用トハ密接ナ關係ヲ持ッテ進ム方ガ、將來ノ産業擴充ノ上ニ於テ宜シイト思フ、ソコデ徵用ノ順序ヲ御決定ニナリ、或ハ動員令ノ方面ト相當連絡ヲ以テ進ム方ガ宜イト思フノデアリマスガ、ソレハ統帥事項ト行政事項ト中々ソレマデニ面倒ナ問題ガ起ルカモ知レスト、併シソレ等ニ付テ陸軍大臣ニ、ドノ程度ノ御考ガアルカ、承ッテ置キタイト思ヒマス

○杉山國務大臣 戰時ニ當リマシテ餘人ヲ以テ代ヘルコトノ出來マセヌヤウナ熟練ナ職工、其他之ニ類スルヤウナ者ニ付キマシテハ、其徵集ヲ暫ク猶豫致シマシテ、サウシテ其技術ヲ工場ニ於テ他ノ職工ニ移シ得ル迄ハ、其工場ニ止メテ事業ニ從事サセルコトニ致シテ居リマス、又第一線ニ立チマスル所ノ召集兵ヲシテ、成ベク第一線ニ立タクシムルヤウニ致シマスル爲ニ、而シテ産業ノ力ヲ減耗スルコトノナイヤウニシマスル爲ニ、既ニ今日ニ於テ男子職工ノ外ニ、別ニ女子職工ヲ十分ニ教育ヲ致シマシテ、

サウシテ男子ガ出マシタ後ニ立ッテ職業ニ從事スルヤウナ指導モ致シテ居リマス、サウ云フヤウナ方法ニ依リマシテ、産業力ノ充實ヲ期シテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスルガ、尙ホ具體的ノ方法ニ付キマシテハ、政府委員ノ方カラ申上ゲマス

○河野委員 政府委員ニ先程簡單ニ御尋シタノデアリマスガ、其點ニ付テハッキリ御答辯ガナイ、恐ラク細カイ點ニナリマスト、マダ御決定ニナラヌ點ガ多イノデハナイカト私ハ思フ、併シソレハ何モ御決定ニナッテ居ラヌコトヲドウ斯ウ申スノデハアリマセヌガ、兎ニ角ヤル場合ニハサウ云フ風ニヤッテ戴カヌト、徒ニ煩雜ニナッテ、其爲ニ却テ混亂スルダケダ、斯ウ思ヒマスカラ申上ゲテ置クノデアリマス

〔休憩シタラ如何デスカ〕ト呼フ者アリ

○小川委員長 ソレデハ休憩致シマス、午後一時半ニ開會致シマス

午後零時十分散會

午後一時四十七分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス、此際豊田君ノ厚生大臣ニ對スル質問ノ留保ガアリマシタニ付キマシテ、其質問ヲ許シマス——豊田君

○豊田委員 私ハ總動員法第六條、七條、

二十一條、二十二條及ビ是ガ勅令トシテ豫定サレテ居リマスル要綱ノ各關係事項ニ付キマシテ、厚生大臣ニ御伺フ致シタイト思ヒマス、第一ニ第六條關係デアリマスガ、六條關係ハ「政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ、從業者ノ使用、雇人若ハ解雇又ハ賃銀其ノ他ノ勞働條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ス様ニ規定サレテ居リマス、ソコデ此規定ヲ發動致シマスル所以ノモノハ、政府ハ勿論一定ノ狙ヒ所ヲ御持チニナッテ、之ヲ決行セラレントスル御意思デアルコトハ勿論デアリマス、即チ勞働力ニソツノナイヤウ、消耗ノナイヤウ、而シテ生産力ノ減退ヲ來サザルヤウ、此二大目標ノ下ニ人的統制ヲナサルコトガ六條、七條ノ其準備行爲ト見ラレルノデアリマス、而シテ二十一條、二十二條ハ即チ六條、七條ニ準備セラレタル事態ヲ實行ニ移サウト云フ心構ヘガ法文ノ上ニ見ユルノデアリマス、即チ戰時、戰後ヲ通ジマシテ、此人的統制ノ妥當ナリヤ否ヤト云フコトハ、戰爭ノ效果ヲシテ萬全ノ結果ヲ見ル爲ニハ重大ナル中心點デアルト思ヒマス、ソコデ第一ニ、人的統制ヲスルニ當ッテハ、必ズヤ其出發點トシテ、厚生大

臣ニ於カレマシテハ指導精神ガ先ヅ打込シテアル筈デアリマス、即チ勞働階級ヲ打ッテ一丸トスル舉國一致體制ノ下ニ、之ヲ統制シテ行カナケレバナラスト云フ強力ナル信念ガ、此四ツノ條項ノ中ニ働カナケレバナラナイノデアリマス、戰爭ハ何レノ國ノ戰爭モ同様デアリマセウガ、開戰ノ當初ニ於キマシテハ、何レモ緊張ヲ以テ臨ミマサルケレドモ、是ガ二年トナリ、三年トナリ、五年トナルト云フ風ニ漸次長期ニ互ルニ從ッテ、其副作用トモ申スベキ國內ノ生活ノ不安、物價ノ騰貴等各種ノ現象ヨリ致シマシテ、開戰當時ニ於ケル所ノ思想ハ漸次變ッテ來ルト云フコトハ人情上已ムヲ得ナイ、ソコデ之ヲ人的、物的兩方面カラ對策其宜シキヲ得ナケレバ、長期抵抗ニ當ル舉國一體ノ精神の指導ハ不可能デアリマス、其物的ノ緊張ヲ續ケテ行カシムルト云フコトハ、主トシテ前回御伺致シマシタ商工省ノ所管ニ於テ、大體之ヲ努メラレルコトト思ヒマスガ、人的ノ方面ノ舉國一體體制ヲ主管セラルルノハ、何トシテモ厚生大臣デアリマス、其責任ヤ頗ル重大ト言ハナケレバナリマセヌ、即チ端的ニ申セバ戰爭ノ遂行ニ當ッテハ、資本家の考ヲ持ツタ暴利ヲ無クスルト同時ニ、天下一人ノ怠惰者ヲモ出サスト云フ、

此物的、人的ノ間然スル所ナキ統制ヲ、終始一貫續ケルニアラザレバ、戰爭目的ノ完成ハ得ラレマセヌ、ソコデ資本家ノ暴利ヲ禁壓スルト同時ニ、國民生活ノ保障ヲ爲シ、其精神的、肉體的ノ能力ノ維持向上ヲ圖ルト云フ所ニ、重大ナ狙ヒ所ガナケレバナリマセヌ、即チ言ヒ換ヘレバ、國民ヲシテ自分ハ戰爭ノ主體デアルト云フ信念ヲ、終始意識セシメテ行カナケレバナラナイ、特ニ軍需工業ニ從事シテ居ル所ノ勞働者ニシテ、十分是等ノ正當ナル意識ヲ持チ、其正當ナル意識ヲ、政治家ハ政治ノ上ニ反映セシムル所ノ工作ヲ致サナケレバナラナイノデアリマス、之ヲドウ云フ風ニ指導シテ行クカト云フコトハ、必ズヤ厚生大臣ハ御考ノアルコトト思フ、之ヲ大戰當時ニ鑑ミマスルト、獨逸、露西亞ノ如キハ此勞働統制ノ爲ニ、可ナリニ高壓手段ニ出テ居リマス、壓力ニ依ッテ統制ヲ行ッテ居ル、強制手段ニ依ッテ統制ヲ行ッテ居ル、ソレト反對ニ英國ニ於テハ、主トシテ協調的ノ態度ヲ以テ統制ヲ執ッテ居ル、此二ツノ顯著ナル統制手段ガアルノデアリマスガ、此中ニ於キマシテ理想的デアルノハ、協調的ノ統制態度ヲ執レバ一番宜イノデアリマスケレドモ、時ニハソレガ不可能ナル場合ニ於テハ、已ムヲ

得ズ強力ナル權力ニ基カザレバ出來ナイ場合モアル、此二大顯著ナル事實ニ對シテ、當局ハ必ズヤソコニ一定不動ノ考ト、聽テハ是ハ事態ノ推移ニ依ッテハ勅令ノ上ニ現ハシテ、之ヲ實行ナサル意思ガ必ズヤ決ッテ居ルコトと思フ、先ヅ其方針ヲ一ツ伺ヒタイ

### ○木戸國務大臣

只今豐田サンノ御尋ノ御趣旨ハ、私モ全然同感デアリマス、戰時體制ニナリマスレバ、最初ハ非常ニ緊張味ガ強クアリマスルガ、漸次色々ノ事象ガ起ッテ來ルト云フコトモ、全ク御説ノ通りデアラウト考ヘマス、而シテ、厚生省ニ於キマシテ、此法文ヲ運用致シマス考ヲ申上げマスレバ、一旦戰時トナリマスレバ、國民ハ舉ッテ天皇陛下下ノ下ニ馳セ參ジテ、滅私奉公ノ誠ヲ致サントスル其氣持ハ、必ズヤ高揚シテ來ルコトデアアルノデアリマス、而シテ其半面ニ於テ、動員ノ下令等ニ依リマシテ、産業界ニ於キマシテハ、一面ニ於テ動員セラレテソコニ使用労働者ノ間ニ缺陷ガ出來ルト共ニ、又軍需工業ニ依リマシテ、非常ナル労働者ノ増加が必要トナッテ來ル譯デアリマス、其間ニ立チマシテ、國家ガ此戰爭ニ對シマシテ動員ヲ計畫致シマスル場合ニ、國家ノ組織、機能其他ヲ最大ニ働カシテ、最大ノ效果ヲ擧ゲナケレバナラスノデ

アリマシテ、其意味ニ於キマシテ、國民ガ國家ノ御用ニ立チタイトシテ立チ上ルモノヲ、無駄ナク配置致シマシテ、又缺陷テ居ルモノハ補充スル、ソレカラ不怠ノ事業ニ依ッテ、多クノ解雇者ガ出ルト云フヤウナ場合ニハ、之ヲ適當ニ他ノ入用ナ方面ニ廻スト云フヤウナコトニ依リマシテ、此非常ノ際ニ於キマシテ、勞務者ノ配置ヲ適正ニシテ行クト云フコトガ此主眼デアリマス、隨ヒマシテ吾々ハ是等ノ從業者ヲ、例ヘバ第四條ニ依リマシテ徵用致シマスルヤウナ場合ニ於キマシテモ、原則トシテ自發的ノ要望ニ依ッテ、之ヲ先ヅ第一ニ配置スルト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、又是ガ長クナリマスレバ色々ノ事象モ起ッテ參リマスルガ、ソレ等ノ場合ニ對シマシテ、一面ニ於テハ思想的ナ各種ノ、所謂國民運動ヲヤル必要モアルト思ヒマスシ、ソレ等ニ依リマシテ戰爭ノ眞ノ目的ト云フモノヲ、國民ノ間ニ徹底サセテ、眞ニ此戰爭ヲ理解サセテ立上ラセルト云フコトガ、最モ望マシイコトデアアルト考ヘテ居リマスノデ、サウ云フ方法ニ依リマシテ、一旦戰時トナッタ場合ハ、之ニ對處シテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

### ○豐田委員

概論トシテハ御尤デアルト思ヒマス、其概論ノ中ニ包藏サレル勞働對策ハ、頗ル廣汎ナルモノト思ヒマスガ、私ハ本日ハ其點マデ觸レルコトヲ避ケマシテ、勞働對策ニ付キマシテハ大衆黨ノ方カラ、何レ詳細適切ナル御尋ガ出ルト思ヒマスカラ、先ヅ大體一渡リ私共ノ考ヲ纏メル上ニ於テ、參考マデニ漸次進メタイト思ヒマス

第二ニ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、前回政府委員ノ方カラ、少シク解シテ御答ヲ願ッタノデアリマスガ、マダ十分ニ私ノ頭ニ入ラナイ、ソレハ勞働力ノ非常ナ不足デアリマス、都會モ農村モ勿論デアアル、ソレカラ熟練工ガ益々不足スルト思ヒマス、是ガ戰爭ノ目的ヲ達成スル上ニ於ケル重要ナル問題デアリマシテ、折角大キナ豫算ヲ取ツテモ消化ガ困難、又總動員法ノ如キ強力ナル法律ヲ作ッテ見テモ、唯法律ガアルダケデ、其實行ガ困難デアアル、横カラ見テモ縱カラ見テモ、此戰時ノ目的ヲ達スル上ニ於ケル勞働力ノ缺陷ト云フコトハ、非常ナ大問題デアリマシテ、現ニ缺陷ト目セラレルモノヲ、數字的ニ見マスルナラバ、内務省ノ統計ニハ、昭和六年ニ於ケル労働者ノ數ガ四百七十一萬、七年ガ四百八十七萬、八年ガ五百十二萬、九年ガ五百七十六萬、十年ガ五百九十九萬、十一年ガ六百九萬、即チ年

年約二十萬位ヅ、ノ需要ヲ増シテ參ッテ居ルノデアリマス、先般モ申上げマシタガ、毎年人口ノ増加ガ百万ト假定シテモ、其ハ八%ガ勞力ニ吸收サレルト云フコトデアアルカラ、ソコニ十八萬ノ補充ガ可能デアハ、明白ニ數字ノ上ニ算ヘラレルノデアリマス、是ハ五人以上ノ工場法ヲ適用サレル工場ニ現ハレタ現象デアリマスガ、工場法ノ適用ノナイ小工場ヲ合セマスルト、少クトモ五萬人位ノ勞働力ノ不足ガ出來テ居ル筈デアリマス、但シ其時ニ當ッテ、從來ノ失業者ノ中カラ補充サレテ行ク分モアリマセウカラ、五萬人全部ガ全部勞働不足ノ現象トナッテ現レルトハ保證シ兼ねマスガ、大體ニ失業者ガ全部産業部門ニ吸收サレル可能性モ、亦技術的ノ見地カラシテアリ得ナイコトデアリマスルカラシテ、ソコニ勞働力ノ不足ト云フコトガ當然考ヘラレマス、殊ニ熟練工ノ不足ノ狀態ト云フモノハ、是ハ確ニ顯著ナモノデアリマス、管テ林内閣ノ當時デアリマシタカ、ドノ内閣デアッタカ失念致シマシタガ、相當ノ金ヲ出シテ熟練工養成ニ對スル對策ヲ御執リニナツケレドモ、其當時カラ今日マデノ政府ノ執ラレマシタ熟練工ノ養成、技術者ノ養



成ト云フコトニ付テノ足取りヲ見マスルト、大體ニ於テロダ言フ程ノ實行ハサレテ居ラヌノデ、依然トシテ熟練工ノ不足ヲ告ゲテ居ルト云フ状態デアル、私ノ概算ヲ以テ見マシテモ、機械工業、化學工業、金屬工業ヲ考慮シタケデモ、少クトモ十万人内外ノ者ガ不足シテ居ルノデハナイカト思ヘレル、其外工業會社ノ各種ノ方面ノ産業ヲ考ヘマスルト、餘程ノ數ニ上ツテ居ルト思フ、隨テ現ニ熟練工ノ爭奪戰ハ、頗ル旺盛ヲ極メテ居ル、是ハ歐洲大戰當時各國ニ於テモ既ニ經驗シタ所デアリマスガ、現ニ我國ニ於テ猛烈ナ狀況ヲ呈シテ居ル、サウ云フ譯デアリマスルヲ、賃銀ヲ以テ互ニ爭奪戰ヲヤル、勘キハ百五十圓、多キハ四百圓位ノ收入ヲ得テ居ル熟練職工ガアリマス、斯様ナ状態デアリマスガ、特ニ本法ニ依ルニアラザレバ其勞働力ノ不足ガ補ヘナイ、本法ニ依ルニアラザレバ、熟練工ノ養成ノ結果ガ巧ク行カナイ、斯ウ云フ本法ト勞働力ノ關係ニ付テ、厚生省ハ考ヘテ居ルニ相違ナイ、何トナレバ法律ニ規定シナイ勅令ニ依ッテ爲サネバナラスト云フ本案ノ立前ノ中ニ、其人的要素ノ重大ナル責任ヲ御持チニナッテ居ルカラニハ、必ズ本案ノ上ニソレガ用意サレテ居ルベキ筈デアル、本法ニ依ルニア

ラザレバ、其勞働力ノ不足ヲ補ヘナイト吾吾ハ考ヘルガ、當局ノ内意ヲ伺ヒタイノデアリマス

○木戸國務大臣 熟練工ノ非常ニ不足シテ居リマス狀況ハ、今回ノ事變ガ起リマシタ直後ニ於テ、既ニ非常ナ體驗ヲ得マシテ、昨年來工業學校デアルトカ、其他ニ於キマシテ此養成ヲヤツテ居ルヤウナ狀況デアリマス、今後モ工業學校等ニ於テハ、技術者ノ養成ニ付テハ更ニ規模ヲ擴張シテ、第二部等ヲ設置シテヤツテ行クヤウナ狀況デアリマス、只今本法ニ依ルニアラザレバ、サウ云フコトガ出來ルカ、出來ヌカト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、本法ハ御承知ノヤウニ、戰時ニ於キマシテ國家總動員ノ行ハレマス場合ニ、發動致ス譯デゴザイマシテ、今日以上ノ戰時ニナリマスレバ、勿論非常ナ不足ヲ來シマスシ、時間的ニモ非常ニ調節ガ困難ニナリマスカラ、其準備ト致シマシ、二十二條等ニ於テ學校トカ、工場トカ、事業場ニ於テモ技術者、技能者ノ養成ト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、今日ハ本法ガゴザイマセヌデモ、銳意其方面ニ向ッテハ盡力シテ居ルヤウナ状態デアリマス

○豐田委員 正直ニ申シテ戴キマシタコト

ヲ感謝致シマス、即チ現在ニ於テハ少シモ差支ガナイ、將來ノ變化ニ基キマシテ對應シナケレバナラス、是ガ本法ヲ提出シタ所デアアル、斯ウ云フ風ニ受取りマシタ、サウスルト今後ノ準備ノ爲ニ必要ダト云フ程度ノモノナラバ、斯ウ云フ勅令ニ俟タナケレバヤレナイト云フヤウナ、此間カラノ委員會ニ於ケル各大臣ノ御答辯デアリマスガ、ドウモ其點トアナタノ御精神トハ、少シク距離ガアルノデハナカラウカ、言葉ハ悪いカモ知レマセヌケレドモ、少シク便乗サレタ形デハナイカ、私共ハサウ云フ氣ガスルノデアリマス、サウデナイノデアリマスガ、ドウシテモ本法ニ依ルニアラザレバ、出來ナイト云フ緊密ナル要點ガアリマシタラ伺ヒタイ

○木戸國務大臣 今マデノ各大臣ノ答辯ハ、私直接聽イテハ居リマセスガ、私ノ考ヘテ居リマスノハ、先程申上ゲマシタヤウニ、戰時ニ當リマシテ急激ナル増加ヲ來シタ時ニハ、ドウシテモ是ガ必要デアルノデアツテ、然ラバ此發動ガナケレバ困ルノカト言ヘバ、其點ハ困ルノデアリマスルガ、出來ルダケノコトヲ今ヤツテ居ルト云フコトナノデス、隨テ便乗シテ居ルト云フ意味デハ一寸モナイト思ヒマス

○豐田委員 其處ハモウ言葉ノ末デアリマシテ、厚生大臣ノ御心持ハ能ク分リマシタ、大體ニ於テサウ緊急已ムヲ得ズ本案ニ依ルニアラザレバ、勞働ノ方面ニ差支アリトハ認メラレス、大體私共ニハサウ聽エルノデアリマスガ、左様承知シテ宜シウゴザイマスカ

○木戸國務大臣 只今申上ゲマシタヤウナ意味デアリマシテ、戰時ニ當リマシテ必要デアレバ、此法案ハ直グ發動サレルデアラウ、發動サレマセヌマデハ、私共ハ自己ノ責任ニ於テ——政府ノ責任ニ於キマシテ、之ヲ處理シテ行ク、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○豐田委員 ドウモ厚生大臣ノ御話ヲ承ッテ居リマス、今ハ戰爭デナイヤウナ氣ガスル、戰時ニナレバ必要ニナル、私ハ今モウ戰爭ノ眞最中デ、最モ酷ノ時デアルト思フガ、戰爭ニナレバ斯ウ云フコトモ必要ニナルガ、今ノ所必要ガナイ、斯ウ云フ風ニ取レルノデス、マアサウ云フ言葉ハ何レト致シマシテモ、大體ニ於テ爾ク緊急迫ラレタル問題ニアラズト、左様ニ考ヘラレルノデアリマス

其次ニ先程大臣ガ仰セラレマシタガ、勞働ノ配置ニ付テ十分ナ努力ヲサレルト云フ

御話デアリマシタ、是モ亦——モ亦デハナイ、是ガ最重要ナルコトデアリマシテ、此労働ノ配置ニ當ッテ、如何ニ歐洲大戰當時ニ於キマシテ、參戰各國ガ苦闘シタカト云フ跡ガ見ユルノデアリマス、詰リ熟練職工ノ爭奪戰ガ到ル處ニ展開サレ、十分ニ其生産能力ヲ發揮スルコトガ出來ナカッタノデ、已ムニ已マレズシテ各國ハ其處ニ非常手段ヲ用ヒテ居リマス、茲ニ一二ノ例ヲ申上ゲマスルト、英國ニ於テハ千九百十五年所謂軍需品法ヲ出シテ居リマス、其軍需品法ニ於テ、一定ノ期間ハ或ル兵器工廠ニ働イテ居ル職工ハ、無斷デ他ノ工場ニ行クコトヲ許サレヌ、即チ雇主若クハ調停判事ノ許可ニ基ク離職證明書ト云フモノヲ持ッテ行カナケレバ、離職ヲ許サレナイシ、又傭フ方面デモ其離職證明書ガナケレバ、傭フコトガ出來ナイト云フノデ、軍需品法ニ依ッテ法律ノ上カラ配置ヲ強制シテ居リマス、已ムニ已マレズ斯様ナ手段ヲ執ッテ居リマス、又佛蘭西ニ於テハ、殆ド是モ英國ト同ジヤウデアリマスガ、職工徴發權ヲ設定致シマシテ、假令自由契約ニ依ッテ、甲ノ場所カラ乙ノ工場ニ轉ジマシタ職工ガアリマシテモ、所謂職工徴發權ニ依ッテ、直チニ之ヲ引戻スノ權利ヲ與ヘテ居リマス、又之ニ依ッテ所謂

誘惑ヲスルコトニ依ッテ、五ニ移動スル所ノ労働ノ移動性ヲ防遏スルノ手段モ執ッテ居ル、ソコデ本法ノ第二十一條ヲ見マスト、其心構ガ二十一條ノ中ニ盛ラレテ居ルノデハナカラウカト、私共ニハ考ヘラレルノデアリマス、即チ第二十一條ハ「政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國臣民ヲ雇傭若ハ使用スル者ヲシテ帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ申告セシメ又ハ帝國臣民ノ職業能力ニ關シ検査スルコトヲ得」トアリマシテ、豫メ準備シテ置イテ、所謂労働ノ配置ニ、何等カノ措置ヲ講ゼントスル意圖ガ現レテ居ルモノト見ユルノデアリマス、此點ニ關シテ當局ハ如何様ニ御考ヘニナリマスカ

○木戸國務大臣 只今御尋ノ點ノ此二十一條關係ハ、大體ニ於キマシテ軍需品ノ製造トカ、交通運輸事業等ニ屬シマスル種類ノ職業ニ付キマシテ、其技能ヲ有スル者ヲ登錄致シテ置キマシテ、サウシテ必要ガアリ、需要ガアリマシタ時ニ、職業紹介所等カラ之ヲ配置スル、勿論其者ガ既ニ軍需工業等ニ働イテ居リマスレバ、ソレヲ引抜クト云フ意味デハアリマセヌガ、偶、サウ云フモノガ登錄サレテ居リマシテ、其者ガ他ノ

職業ニ當ッテ居ル、平時産業等ニ當ッテ居リマシテ、ソレガ軍需工業ニ必要ナ場合ニハ、ソレヲ軍需工業ニ配置スルト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、之ヲ運用スル積リデ居ルノデアリマス、差當リマシテ只今御話ノヤウナ強力ナルモノヲ、直チニ出スカ否カハ、其時ノ戰時ノ勞務統制ノ必要ノ程度ニ依リマシテ考ヘナケレバナラスト存ジマス、大體ニ於キマシテ此種ノ登錄ヲ準備致シテ居リマシテ、其必要ニ應ジテ、適材ヲ適所ニ配置シヨウト云フノガ趣旨デアリマス、而シテ原則トシテハ自由意思ニ依リマシテ、殊ニ其家庭ノ事情其他ヲモ考慮ノ中ニ入レタ上デ、第一ニハ之ヲ配置致シタイト考ヘテ居リマス

○豐田委員 今ノ御話ノ一端ニ權力ヲ用ヒルコトハナイ、職業紹介所等ノ斡旋ニ依ッテ、漸次其労働ノ配置ヲ變ヘテ行クノダ、斯ウ云フ風ニ受取レタノデアリマスルガ、果シテ其程度デ以テ、其労働ノ配置全キヲ得テ、所謂熟練工其他特殊技能ヲ持ッテ者ヲ、適當ニ按配スルコトガ出來ルカドウカ、私共ハ多大ノ疑問ヲ持ッテ居リマス、ソレ等ノ點ニ付テハ、相當ノ御確信ガアッテノコトト思ヒマスガ、一體其特殊技能ヲ持ッテ居ルト云フ者ガ、今足ラナイト云フコトガ現實

ノ問題デアリマス、熟練工ガ足ラナイト云フノガ現實ノ問題デアリマス、其足ラナイ部分ニ對シテ、今現ニドウ云フ對策ヲ御持チニナッテ居ルカ、御實行ニナッテ居ルカ、不足スルモノニ對スル對策ト、配置ニ對スル對策ハ、今簡單ニ御述べニナリマシタ職業紹介所等ノ生溫イ手段デ、ソレガ出來ルト御考ヘニナッテ居ルカドウカ、此點ヲ伺ヒマス

○木戸國務大臣 必シモ職業紹介所ノ好意的斡旋トカ、或ハサウ云ッタヤウナ單純ナ斡旋事業ニ依リマシテ、戰時ニ當リマシテハ或ハ不足スル場合ガアルカモ存ジマセヌ、併ナガラ立前ト致シマシテ、先程モ申上ゲマシタヤウニ成ベク我國ノ國情カラ見マシテモ、頭カラ權力ヲ以テ之ヲ高度ニ統制スルト云フコトハ避ケテ、出來得ルナラバ彼此相融通スルヤウナ方法ヲ採ッテ行キタイト考ヘテ居リマス、併ナガラ戰時ノ狀態ガ非常ニ高度ニナリマスレバ、此勅令ニ依ッテ雇入レノ制限デアルトカ、其他色々ノ手段ヲ講ジテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○豐田委員 技術者ノ養成、熟練工ノ養成等ニ對スル對策デナクテ、現ニ全國ヲ通ジテ行ッテ居ル事實ヲ御伺致シタイ

○木戸國務大臣 只今今次ノ事變ニ依リマ

シテヤッテ居リマスルノハ、工業學校四十五校バカリヲ選ビマシテ、其處ニ第二部ト云フモノヲ設置致シマシテ、其處デ大體ニ於テ冶金デアルトカ、應用化學ダトカ、機械、電氣等ノ特ニ不足シテ居ル方面ノモノヲ養成致シテ居ル譯デアリマス、是ハ今後トモウ一寸高イ所ノ專門學校ニ於キマシテハ、十六校ニ臨時ニ工業技術員ノ養成所ヲ設置致シマシテ、技術員ヲ養成致シテ居リマス、大體ニ於キマシテ無論數ハ少イモノデアリマスガ、之ニ依ッテ其補充ヲ續ケテ行キタイ、差當リ五六年ノ間ハ此計畫ヲ進メテ行ク積リデ居リマス

○**豐田委員** ソレ等ノ數ヲ通ジテ頗ル貧弱ナモノト思フ、大海ノ一粟ト思フ、モット積極的ナ何カ方法ヲ講ゼズシテ、現在ノ生産力ノ減退ヲセザルヤウト云フ勞頭ニ申上ゲマシタ事態ニ對シテ、即應出來マスカ

○**木戸國務大臣** 勿論數字のニ可ナリ缺陷ガアルコトハ、當局モ認メテ居リマスルガ、ソレ等ニ付キマシテハ尙ホ十分努力シテ、生産力ノ減退ヲ防ギタイト考ヘテ居リマス

○**豐田委員** 四十八億ノ大軍事實費ヲ消化スル上ニ於テ、豫算委員會ニ於テ屢、問題ニナ

リマシタガ、物資ニ於ケル供給力ノ少イト云フコトハ、是ハモウ豫算委員會デ十分ニ論議サレタノデアリマス、人的給付ガ缺陷ノ儘三年、五年ト續ケテ行クト云フナラバ、是ハドウモ何トシテモ軍事費ノ消化ガ困難デアルト云フコトハ、此點カラモ想像サレウカラ、今更ラ論議ヲ重ネマセヌ、積極的ニ其邊ノ對策ヲ講ゼラレンコトヲ望ミマス

○**木戸國務大臣** 登錄ノ範圍ト年齡等ニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ差當テ今日提案致シテ居リマス職業紹介法ノ改正ニ依リマシテ、職業紹介所ガ國營ニナリマスレバ、ソレガ機關ニナリマシテ、其處ニ主トシテ登錄サセル形ニナルト思ヒマス、先ヅ差當

ニ「帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ申告セシメ」云々、申告ト云フノガ所謂登錄ヲ意味スルコトダト思ヒマスガ、其登錄セシムル範圍トシテ、ドウ云フ職業ノ者ニ對シテ之ヲ御實行ニナルカ、年齡ノ點及ビ職業ノ點、ソレ等ノ點カラ見タ登錄ノ狀態ヲ御伺致シマス

リ重要ナル軍需品ノ製造ト、交通運輸ノ事業等ニ於キマシテ、非常ニ特殊技能ヲ持ッテ居ル者ヲ登錄サセル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウシテ年齡等ニ付キマシテハ、大體所謂青壯年ニ當ル者ヲ登錄致シマスルガ、特殊技能ヲ持ッテ居ル者ニ付キマシテハ、相當高年ノ者モ居リマスノデ、ソレ等ニ付テモ登錄ヲ致スコトニナルデアラウト思ヒマスガ、具體的ノ登錄制度ニ付テハ目下研究シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソレカラ外ニ特別ノ登錄ト致シマシテハ、醫師、齒科醫師、藥劑師、看護婦等ノ者ガアリマス、是等ハ別途ノ形デ考慮シナケレバナラスト思ヒマス

○**豐田委員** ソレ等ノ登錄人員數ノ大體ノ御見込ハ決ッテ居ルト思ヒマスガ、全國ヲ通ジテドノ位ノ登錄數ヲ見込マレテ居リマスガ、又其登錄ハ國勢調査ト同ジヤウナモノデアリマスカラ、五年モ、十年モ經ッタノデハ一向役ニ立タヌノデアリマス、ソレハ毎年ヤルノデスカ、或ハ間歇的ニヤルノデスカ、又外地ニ旅行シタリ、住居のニ移動ヲスル者モ澤山出來ルノデアリマスガ、其煩雜ナ事務ガ、果シテ政府ノ考ヘテ居ルヤウニ簡單ニ行クデアリマセウカ

○**木戸國務大臣** 其數字等モ職業ノ範圍ガ

擴マリマスレバ、ドン／＼大キクナッテ來マス、只今申上ゲタ職業ノ範圍デアレバ、大體ニ於テ四百万人位デハナイカト思ヒマス、是ハ勿論國勢調査ノヤウニ、五年ニ一度ト云フヤウナコトデハ成立タナイノデアリマシテ、毎年定期ニ届出ヲサセル、雇主ガアル場合ニハ、雇主主トモ連絡ヲ取ッテ届出サセルコトニ致シマス、勿論是ハ初メテ試ミルモノデアリマシテ、餘程慎重ニ準備シナケレバナラスシ、又教育モスル必要ガアルト思ヒマス、大體サウ云フ方針ニ依ッテ行キタイト思ヒマス

○**豐田委員** 全國ヲ通ジテ四百万人、洵ニ微弱ナルモノデアリマスガ、第一歩デアリマスカラ……、職業ノ範圍ヲ擴メマスレバ、漸次數モ多クナッテ參ルデアリマセウ、是等ノ統計數字ガ十分ニ一箇年々々々ニ切替ヘテ實行サレマスルナラバ、是ハ確ニ動員計畫ノ上ニ、重大ナル要素ヲ爲スモノデアリマシテ、其任務ノ重イ代リニ、同時ニ又有效デアリマスカラ、十分ニ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ第七條ノ關係ニ付テ御伺ヒラ致シタイ、「政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞働爭議ノ豫防若ハ解決ニ關シ必要ナル命令ヲ爲

シ又ハ作業所ノ閉鎖、作業若ハ勞務ノ中止其ノ他ノ勞働爭議ニ關スル行爲ノ制限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得第一ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスコトハ、此條項ヲ分析シマスルト、大體二ツニナラウカト思ヒマス、勞働爭議ノ防止及ビ解決ニ關スルコトト、ソレカラ勞働爭議ニ對スル行爲ノ制限ト禁止ニ關スルコト、大體此目標ニ付テ漸次御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、是ハ大戰當時ニ於ケル各國ノ非常ナ苦心ヲ用ヒタ所デアリマシテ、其當時ニ於ケル世界ノ勞働團體ノ行動ト、現在ノ日本ノ勞働團體ノ行動トハ著シキ差ガアリマスカラ、必シモ大戰當時ニ於ケル狀態ガ、現ニ我國ノソレニ現レルトハ思ハナイケレドモ、併シ此處ニ規定ヲ致シテ居ル以上ハ、其場合ニ處スル心構ヘガ見エルノデアリマス、是等ニ付キマシテ大戰當時ニ於ケル各國ノ實例ヲ申上ゲル迄モナイノデアリマスガ、前提トシテ簡單ニ申上ゲテ見マスルト、英吉利ニ於テハ軍需品法、成ベク作業ヲ中止シナイデ、繼續ノ儘勞働爭議ヲ解決シテ行ク、即チ劈頭ニ申上ゲマシタ協調主義ニ基ク勞働爭議解決ノ方法デアル、ソレガ爲ニ仲裁裁判所ト云フヤウナ特殊ノ裁判所ニ依ッテ、解決ヲサレテ居リマシタケレドモ、何分ニモ協調主義ニ其基礎ヲ持ッテ

居リマスカラ、中々協調ガ付カナイデ、依然トシテサウ云フ勞働爭議ノ爲ニ、英國ガ戰後マデ惱マサレタコトハ政府モ御承知ノ通りデアアル、コ、ニ協調主義ノ一ツノ缺陷ヲ持ツノデス、協調主義ニ依ルコトハ望ミマスケレドモ、英國ノ實例ノ如ク協調主義ヲ行ケナカッタ實例ガアルノデアアル、又佛蘭西ヲ見マス、千九百十七年兵器彈藥次官ニ於テ、最低賃銀ノ決定ト、強制仲裁裁判所、此二ツノ要素ヲ取入レマシテ解決サレマシタ、是ハ強行規定デアリマス、又勞働爭議ヲ防止スル意味ニ於テ、各工業地帯ニ仲裁委員會ヲ拵ヘマシテ、豫メ爭議ノ起キサウニナッタ時ニ、之ヲ未然ニ防止スル役目ヲ付ケテ居ル、詰リ勞働爭議ノ出來ナイ前マデハ、努メテ協調主義ニ依ッテ圓滿ナル解決ヲ遂ゲルケレドモ、事態惡化スル場合ニ於テハ、最低賃銀制度ト、モウ一ツハ強制仲裁裁判所ノ權力ニ依ッテ、之ヲ解決シテ居ル、亞米利加ニ於テモ國家戰時勞働委員會——其前ニモ一ツアリマシタケレドモ、餘リ效果ハナカッタヤウデアリマスガ、之ニ依ッテ大體ニ於テ解決ガ付イテ居ル、半バ是ハ權力的ニ抑ヘテ居ルヤウデアリマス、獨逸ハ千九百十六年ノ十二月五日、祖國補助勤務法ニ依リマシテ、特別委員會ニ調停ヲ委

託スルノ途ヲ講ジマシテ、之ニ強力ナル制裁仲裁權ヲ與ヘマシタ結果、ピタリ／＼ト一々之ヲ獨逸流ニ抑ヘテ居リマス、所ガ今日我國ヲ見マスルト、大正十五年七月一日付ヲ以テ施行サレテ居ル勞働爭議調停法ニ於テハ、名前ノ調停法ノ通り調停ダケデアッテ、其調停ニ服スルモ服セザルモ、兩當事者ノ自由意思ニ依ッテ決定スル結論ニナッテ居リマス爲ニ、殆ド無効デアリマス、有名無實ニ終ッテ居ル、ソコデ政府ハ第七條ノ要綱ノ第三「一定規模以上ノ工場又ハ事業場ニハ勞資協調ノ機關ヲ設ケシムルコト」ト、此處ニ其對策ノ一ツガ見エテ居リマス、ソレカラ同ジク第七條ノ第四項ノ所ニ「勞働爭議調停ニ關シ簡易且有效ナル特別ノ制度ヲ設クルト共ニ調停不成立ノ場合ニ於ケル特別ノ解決方法ヲ定ムルコト」此處ニ最後ノ結論ヲ出シテ居ルカニ見エル、詰リ此處ニ厚生省ノ考ヘテ居ラル、勞働統制、勞働爭議ニ關スル所ノ最後ノ結論ヲ出シテ居ルモノト見ルノデアリマスガ、何カ特別ノ解決ノ方法、即チ調停委員會デモ作ルカ、或ハ仲裁裁判所デモ作ルカ、何カ茲ニ相當ノ御考ガアルト思フ、此點ヲ御伺致シタイ

○木戸國務大臣 此第七條ノ關係ニ付キマシテハ、只今モ御話ノアリマシタヤウニ、今回ノ事變以來勞資ノ間ハ極メテ圓滿ニ參ッテ居ルノデアリマシテ、我國ノ勞資ノ關係ハ、事變戰時等ニ於テハ、必ズヤ圓滿ニ參リマシテ、斯ノ如キ規定ハ殆ド實際ノ必要ヲ見ナイヤウニシタイモノト考ヘテ居リマス、併ナガラ先程モ御話ガアリマシタヤウニ、時ニ色々ノ爭議ガ起リマスコトハ、是ハ已ムヲ得ヌ場合モアリマセウ、ソコデ本條ニ於テ、此要綱ノヤウナコトヲ必要ガアレバ置クト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、只今御話ノ一定規模以上ノ工場、事業場等ニハ勞資協調ノ機關ヲ設ケル、是ハ大體相當規模ノ工場、例ヘバ五十人以上ノ職工ヲ使ッテ居リマス工場等ニ於キマシテハ、工場委員會トデモ申シマスヤウナ一ツノ委員會ヲ作りマシテ、平素カラ此問題ノ起リマセヌヤウニ、連絡ヲ取ッテ相協調シテ行クト云フコトヲ考ヘテ居リマス、併ナガラ萬一爭議ガ勃發致シマスルヤウナ場合ニハ、戰時ニ於キマシテハ生産力ノ減退、治安ノ維持等ノ關係カラ致シマシテ、只今實行致シテ居リマスヤウナ、所謂勞働爭議調停法ノ如キ緩慢ナル方法ニ依ッテハ、解決セナイ場合ガアリマスノデ、其場合ニハ特別ノ調停委員會ヲ開設シテ、或ル程度マデ強制シ得ル一ツノ委員會ニ致シマス、又其組織等ニ付

キマシテモ、極ク簡易化シテ實行出來ルヤ  
ウニシタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ調  
停ガ不成立ニナリマシタ場合ニ、或ハ行政  
官廳ガ必要アル場合ニハ、或ル委員會ニ意  
見ヲ聴キマシテ、其解決ニ付テ必要ナル措  
置ヲ講ズル、詰リ強制調停ヲ行フト云フヤ  
ウナ點ニ付テモ、考ヘナケレバナラヌト存  
ジテ居リマス

○豊田委員 御話ヲ承リマス、強制力ヲ  
持ツヤウニモ見エルシ、強制力ヲ持タナイ  
ヤウニモ見エル、其邊ハ如何デアリマスカ、  
爭議ニ至ル迄ニ色々各種ノ委員會ニ於テ調  
停ヲ試ミテ、其調停ガ不成立ニ終ル場合ニ  
ハ、權力ニ基ク最終的判定ヲスル、左様ナ  
風ニ諒承シテ宜シイデアリマスカ

○木戸國務大臣 左様デゴザイマス

○豊田委員 能ク分リマシタ、最後ニ瀧企  
畫院總裁ニ一言御伺シタイト思ヒマス、私  
ノ是マデ伺ヒマシタ各種ノ質疑ニ付テ、此  
處ニ御渡シ下スツタ施行要綱等ヲ拜見シマ  
スト、ドウモ此施行要綱ハ弾力性ニ富ンデ  
居ル、振幅ガ廣イノデアリマス、斯様ナ振  
幅ノ廣イモノデハ、中々吾々ニハ捕捉シ難  
イ、是ハ恐ラク何人ト雖モ、外國ノ例デモ  
讀ンデ來テ、斯ウデハナйкаト云フ風ニ推論  
スルヨリ途ガナイ、ダカラ渡サレタ外國ノ

書類ヲ色々讀上ゲテ來テ之ヲ演繹的ニ見ル  
ト、漸クドウヤラ分ッテ來ル、外國ノモノハ  
日本ト違フノデスカラシテ、何ニモナラヌヤ  
ウデスガ、外國ノモノヲ讀ンデ豫備知識ヲ  
得テ置イテカラ之ヲ讀マネバ分ラヌ、ソレ  
程弾力性ガアリ、振幅ガ廣イノデアリマス、  
恐ラク是デハ此委員會ノ委員モ満足セザル  
ノミナラズ、委員會外ニ於ケル議員ハ殆ド  
捕捉スルニ困難ト思ヒマス、ソコニ只今マ  
デ屢々論議サレマシタル如ク、吾々ノ不安ノ  
存スル所ガアルノデアリマシテ、本法ニ依ッ  
テモ分ラナイ、施行要綱デモ能ク分ラナイ、  
斯ウナッテ來ルト、政府ハ恐ラク此要綱ノ其又  
後ロニ一ツノ勅令ノ成文的ナモノヲ必ズ御  
持チニナッテ居ル、ソレヲ一ツ何トカ委員會  
ニ示ス方法ハ無いモノカドウカ御伺致シマ  
ス

○瀧政府委員 屢々政府カラノ答辯ノ中ニ繰  
返サレテ居ル言葉デハアリマスガ、勅令ノ成  
文ハアリマセヌ、要綱モ僅ニ想像シタモノ  
ヲ書イテ居ルト云フコトデ曖昧デアルトカ、  
朦朧トカ云フ御言葉ハ御尤デゴザイマス、  
ソレハ過日來申シテ居ルヤウニ、事態其モ  
ノハ千變萬化デ豫測シ難イカラ、斯ウ云フ  
コトニドウシテモ歸著致シマス、ソコデ實  
際ニ御諒解ヲ戴ク爲ニハ總動員計畫ト云フ

モノト、總動員法ト云フモノトノ關係ヲ、  
能ク御諒解ヲ願ハナイト内容ガ分ラヌコト  
ニナリマス、總動員計畫ト云フモノハ、絶  
エズ企畫院ニ於テ計畫ヲ立テテ居リマス、  
ソレハ其時ノ狀態デ、斯ウ云フ事ヲ豫想シ  
テ置カナクテハナルマイト云フコトヲ、其  
度毎ニ計畫ヲ立テテ居ル、併シ今ノ御質問  
ハ、愈々發動スル場合ニ如何ナル勅令ノ内容  
ヲ以テ當ルカト云フ御質問デアリマスカラ、ソ  
レハ其時々々ニ至ッテ變化シテ參リマス、只  
今成文ヲ持ッテ居ル譯デハナイノデアリマ  
ス、其點ハ何レ又御質問ニ應ジテ御答ヲシ  
ナケレバナラヌト思ッテ居リマスガ、概括論  
トシテ申シマス、ヤハリ捕捉シ難イコト  
ニナルノハ、洵ニ已ムヲ得ザル結果ダト思ッ  
テ居リマスガ、其點御諒承戴キタイト思ヒ  
マス

○豊田委員 ドウモ本法ト施行要綱ヲ隨分  
隅カラ隅マデ詮議致シマシテ、其結果政府  
ニ對シテ色々御伺ヲ致シマシタガ、結論ト  
シテ茲ニ一口ニ申シマスナラバ、今現ニ厚  
生大臣ガ御言明ニナツタ通り、本法ハ即座ニ  
之ヲスル必要ハナイ、大體ニ於テ今マデノ  
現行法デ出來ル、併シ將來戰鬪行爲ガ、非  
常ニ旺盛ニデモナッテ來レバイケナイカラ、  
今日カラソレヲ考慮ニ入レテノ法律デアル、

斯様ニ考ヘテ居ル、ソレカラ一番ノ要點デ  
アルモノハ、勅令事項ト云フモノハ是以上  
ニハモウ一步モ踏ミ出スコトハ出來ナイモ  
ノダカラ、千變萬化スルカラ成文ノ上ニ現  
ハシ得ナイ、所謂「インボッシブル」ナルモ  
ノデアル、結論ハソコニ行ツタ、私共ノ心持  
ハ何トシテモ、同ジコトヲ言フヤウデスガ、  
餘リニ弾力性ガアル、餘リニ振幅ニ富ンデ  
居ル、ソコノ限界ヲ政府ハモウ一步踏ミ出  
サナケレバイケナイ、サウシナケレバ吾々  
ニハ分ラナイ、分ラナケレバ本案ノ審議ガ  
解決困難デハナイカ、吾々モ困ルケレドモ、  
政府ノ方モサゾオ困リデアリマセウカラ、  
「チェッコスロバキヤ」ノ動員法ノ例モアル  
コトデアルカラ、出來得ル限り成文ニシテ、  
千變萬化シテドウシテモ成文ノ上ニ現ハ  
シ得ナイモノダケハ保留スル、是亦人間  
ノ仕業デアリマスカラ、想像スルコトノ  
「インボッシブル」ノ所ダケヲ、適當ナ措置  
ヲ執ルト云フコトニシテ行カナイト、頭カ  
ラ尻マデ徹頭徹尾本委員會ヲ通ジテ、是以  
上一步モ出ラレナイト云フコトニナルト、  
私ハ頗ル樂觀出來ナイノデアル、之ヲ一ツ  
御含ミ願ヒマシテ、私ハ之ヲ以テ質問ヲ終  
リマス

○中村委員 一寸豊田君ノ質問ニ關聯シ

テ……

○小川委員長 御許シ致シマス

○中村委員 豊田君ノ質問ガ可ナリ機微ノ問題ニ觸レテ居ルモノガアルノデスカラ、第二十一條ニ關シテ、詰リ準備ノ規定、是ハ此前カラモ準備ノ規定ナラバ豫期シ得ルノダカラ、豫テモット明確ニ内容ヲ規定シテ宜イデハナイカ、之ニ對シテ當局ハ、準備ノ規定デハアルケレドモ、戰時本法ガ發動シタ後モ其準備ト云フモノハヤハリ續イテ行ハレルノデアルカラ、其戰況狀態ノ變化ニ應ジテ、色々即應シテ變テモノヲ出サナケレバナラスト思フカラ、今日内容ヲ一々豫メ準備ノ形デハアルケレドモ示スコトハ出來ナイ、斯ウ言ハレタヤウデアリマシガ、ソレニ付キマシテ厚生大臣ト豊田君トノ質問應答ヲ聽イテ居リマス、ソコニ可ナリ誤解ヲ生ズルノデナイカト思フノハ、詰リ職業能力者ヲ申告登録サレルノニ付テ、其範圍、年齢或ハ人員或ハ申告登録スベキ時ノ觀念、是ガ略、基準ヲ御示シニナッテ、例ヘバ人員ハ約何人、ソコマデ御示シニナリマス、ソレナラバ大體今日カラ標準ヲ定メテ適當ナル規定ヲ示シ得ルノデハナイカト云フ議論ガ成立ツ、私ハ厚生大臣ノ仰シヤッタコトハ、或ハ現狀ノ場合ニ於

テハト云フ、現在ヲ基礎ニサレテ大體基準ヲ御話ニナツタノデハナイカト思フ、例ヘバ職業能力者ノ其能力ノ程度デアルトカ、其戰況ノ變化ニ應ジテ年齢ニ對シテモ、能力ノ程度ニ對シテモ深刻ニナレバナル程、例ヘバ發動シタ後ニ於テモ更ニ高度ノ——高度ト云フヨリモ、寧ロ能力ノ微弱ナ者マデモ申告登録セシメナケレバナラス場合モアラウシ、人員ニ對シテモ其狀況ノ變化ニ即應シテ、準備ト云フモノガ屢、變テ來ナケレバナラス、申告登録セシメル手續ヲ執ル回数、時期ト云フモノ、或ハ普通ノ場合ナラバ——此發動ニ入ル前ノ準備ナラバ、或ハ一年一回デモ宜イカモ知レナイガ、愈、發動シタ後ニ於テハ、極端ニ言フナラバ其狀況ノ變化、目的物ノ變化ニ依ッテ月々デモ、毎日デモ場合ニ依ッテハ變化シナケレバナラスト云フコトハ豫期サレテ居ルノデアリマスカラ、良シ惡シハ別デスカレドモ、何ダカ餘リ具體的ニ厚生大臣ガ御答ニナルカラ、其邊ニ付テ可ナリ疑惑ガ出ルヤウニ思ヒマスガ、其點ニ對シテハッキリ御答辯デ願ヒマス

○木戸國務大臣 私ノ答辯ガ少シ足リナイノデ或ハ誤解ヲ來シタノデハナイカト思フノデアリマスガ、私ガ申シマシタノハ、現在例ヘバ職業紹介所等於ニテヤリマスノモ、實ハ甚ダ不完全ナモノデアリマス、其範圍ニ於テ今ノ軍需品ノ製造デアルトカ、交通運輸デアルトカ、サウ云フ方面ノコトヲ扱フト云フコトヲ御話シタノデアリマシテ、是ガ戰時ナリ、若クハ戰時ニナリマセヌデモ其前ノ色々緊張シタヤウナ事態ニナリマスト、或ハ更ニ其範圍ヲ擴張スル、或ハ年齢ヲ低下スル、色々ソレニ即應シテヤルコトハ勿論デアリマス、只今御話ノ點ハ全然御同感ナノデアリマス、此點ダケハ此總動員法ニ於テ、最後マデハッキリ分ッテ居ルモノデアアル、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデハナイカラ、其邊ハ誤解ノナイヤウニ願ヒマス

○作田委員 一寸關聯ナノデスガ、大キイ問題デ履、議論サレテ、ドウモ片ガ付カズニ居ルカラ此際一寸片ヲ付ケテ置キタイト思フノデスガ……

○小川委員長 簡單ナラ宜シウゴザイマス

○作田委員 今ノ要綱ノ法律化ト云フ問題デアリマス、大體私關聯質問一寸御答ヲ得タノデアリマスガ、私一個ノ見解ト致シマシテハ委任立法ガ殖エルト云フコトハ、是ハ一ツノ時代ノ流レデアルト私ハ考ヘテ居リマス、然ルニ本法ニ付テ彼此レ議論サレル所以ハ何デアアルカト言ヘバ、其程度ガ廣過ギルノデアリマス、深過ギルノデアリマス、立法院ニ於テ一切ノ立法ヲ止メテ、勅令ニ讓ルト云フコトヲ言ヘバ、是ハ憲法違反デアルト云フコトヲ言ヘバ、是ハ憲法題ハ之ニ近イカ遠イカト云フコトデアアル、程度ノ問題デアアル、程度ノ問題デアリマス、ガ、五十歩下百歩ハ五十歩違フノデアリマス、程度ノ差ガアルカラト云ッテモ、程度ノヒドイ場合ニナレバ憲法違反ニナル、薄イコトハ違反ニナラスト云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマス、隨テ私他日質問致シマスケレドモ、私が憲法違反ニナルナラスト云フコトヲ考ヘテ居ルノハ、此一點デアアルノデアリマス、私カラ言ヘバ斯ウ云フ意味デ私ハ考ヘテ居ッテ、今ノ豊田君ト企畫院總裁トノ應答ヲ聽イテ居ッタノデアリマスルガ、此總動員法ガ如何ニモ簡單デアアル、何ラスルヤラ分ラスト云フ所ニ不安ガアル、法律論デ言ヘバ何モ彼モ一切委シテ居ルト云フ所ニ、憲法論ガ潜ンデ居ルノデアリマス、政府トシテハ出來ル範圍ニ於テ能ク分ルヤウニ之ニ規定シテ行ク、斯ウ云フ意味デ此劃期的ノ、時代ヲ劃スル所ノ大法デアリマスルカラ、此法典ヲ完成致シマス爲ニハ、アナタ方ノ面目ヤ何カノ問題ヲコ、ニ持ッテ來ラレテハ

困ルノデアリマス、出來ルダケ必要ニ應ジテ此要綱ヲ立法化スルト云フコトハ、慎重ニ御考ニナラネバナラスと思フ、唯一遍出シタノデアルカラ、何ト言フテモ譲ラス、何ト言フテモ要綱デナクテハナラス、勅令デナケレバナラス、斷ジテ立法化スルコトニハ吾々ハ反對ダト云フコトハ、甚ダ吾々ハ遺憾ニ思フ、サウ云フ觀念ヲ除ケテ虚心坦懷ニ、如何ニスレバ國民一致シテ、國家總動員ノ線ニ副ハシムルカト云フコトヲ御考ニナツタナラバ、今マデノヤウナ御答辯トハ餘程變テ來ル御答辯ガ出來ルト思フノデアリマス、譬ヘテ申シマスレバ、第五條デアリマスガ、國家總動員法案施行要綱ノ第五條關係ノ第三項ニ於テ「協力ニ對シテハ必要ニ應ジ其ノ實費ヲ辨償スルコト」云フコトガアリマスガ、必要ニ應ジ實費ヲ辨償スルト云フコトヲ今決メテ行クト云フコトガ、千變萬化ト云フコトニナリマスカ、私ハアナタ方ノ説明ヲ聽イテ居ルト、千變萬化ト云フコトハ、事態其モノガ千變萬化ダと思フ、企畫院總裁ノ今言ハレル所ノ計畫ト云フモノハ、斷ジテ千變萬化デハアリマセヌ、事態其モノガ千變萬化ヲスル時ニ應ジテ行クノガ計畫デアリ、其計畫ノ影ノ形ニ副ッテ動クガ如キモノガ、即チ法律デアル、實體

關係ト云フモノヲ把握シテ茲ニ法律ガアル、茲ニ繰返シテ申ス迄モナク、刑法ガ必要ダト云ヘバ 刑法ノ影ニ犯罪ガアル、商法ガ必要ダト云ヘバ 商法ノ實體ノ取引ト云フモノガ茲ニアルノデアリマス、其實體ノ商法ト云フモノヲ圓滑ニドウ云フヤウニスルカト云フ所ニ、商法ノ存在ノ意義ガアル、犯罪ガアツテ、刑法ヲドウ云フ風ニスルカト云フコトニ依ッテ、初メテ刑法ト云フモノノ使命ガアル、企畫院總裁ハ計畫ト法規トヲ區別シテ認メルト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマスガ、吾々之ヲ認メヌカラ聽クノデアアル、茲ニ法律ガアルト云フコトヲハッキリシテ、此法律ト形影相伴フ所ノ實體ガアルト云フコトヲ申上ゲテ居ル、所ガ今日マデアナタ方ハ實體ヲ示サナイ、唯千變萬化ト云フコトハ時局デアリマス、時局ノ發展アツテノ千變萬化デアリマスケレドモ、ソレニ基ク計畫ト云フモノハ、人智ノ豫想シ得ルモノヲ豫想シナケレバナラス、一切千變萬化ト云フコトデアレバ何等ノ準備ガ出來マセヌ、手ヲ拱イテ千變萬化ヲ見テ居ルヨリ仕方ガナイノデアリマス、所ガ千變萬化ニ應ズル爲ニ、此法案ヲ作成スルト云フコトニナレバ、今日カラアナタ方ノ衆智ヲ集メテ豫想シ得ル最大限度ノモノヲ豫想シテ、其

千變萬化ノ計畫ニ應ズル計畫ヲ立テルト云フコトガ、國家總動員ノ實體デナクテハナラス、其實體ヲ御持チデアリマスカ、吾々ニ對シテハ實體ト法律トヲ區別スルト言ヒナガラ、アナタ方自身ハ實體ヲ持ッテ居ラスノデハナイカ、幾ラ質問シテモ、アナタ方ハ此法律ヲ唯協賛シロト云フダケデアル、實體ヲ示セバ此法律ハ一舉ニシテ片附ク、然ルニ其實體ト云フモノハ御持チデアルカモ知ラスケレドモ、一切ヲ高閣ニ束ネテ法律ヲ認メロ、而モ即應スル所ハ何カト言ヘバ、千變萬化デアル、何ノ千變萬化デアルカ、ソコニ政府ノ方ニ何カ此法案ニ臨ム態度ニ付テ誠意ノ缺クル所ガアルノデハナイカ、若シサウデナクッタナラバ、アナタ方ノ面目問題、苟モ之ヲ出シタモノハ最善デアル、所謂官僚獨善、アナタ方ノ衆智ヲ集メテ御出シニナツタカラ、アナタ方カラ見レバ完璧デアラウケレドモ、吾々カラ見レバ非常ニ缺陷ガアル、コ、ガ立法院ト政府トノ妥協ヲ要スル所デアル、最大ノ缺陷ハ、第六條ノ如キハ他ノ法令ニ關係ナクヤレルト云フコトニナツテ居ル、苟モ勅令ニ依ッテ一切ノ法律ヲ變更スルト云フガ如キコトハ、是ハ世界ノ立法史ヲ變更スルモノデアル、大膽不敵ニモサウ云フ法律ヲ拵ヘテ置カレテ、

吾々ガ一寸指摘スレバ直ニ變更サレル、法律ヲ出シテカラ屢、變更シテ、一遍出シタ以上ハ完璧ナリト云フコトハ、是ハ官僚獨善デナクシテ何ゾ、之ヲ具體的ニ申セバ五條關係ノ第三ノ問題デアリマスルガ、「必要ニ應ジ其ノ實費ヲ辨償スル」ト云フコトヲ法律化シテ、ドレダケアナタ方ノ御迷惑ニナルカ、如何ニ事態ガ變化シ、如何ニ千變萬化ノ事態ヲ發生致シマシテモ、必要ニ應ジ實費ヲ辨償スルト云フコトハ、此必要ガナカッタナラバ拂ハヌデモ宜イ、國民ヨ、素裸ニナッテ政府ニ協力セヨト言ヘバ、一文モ要ラス、飯モ食ハヌデ戰爭目的ノ爲ニ國民ハ協力シマス、出來ナイト云フナラバ貫ハヌデ宜イ、必要ニ應ジテヤル、必要ガアルナラバ澤山デモ一寸デモヤリナサイ、必要ニ應ジテ辨償スルト云フコトヲ第五條ニ法文化シテ、ドレダケ迷惑ガアルカ、ソレカラモウ一ツ例ヲ言ヘバ第十五條ノ問題デアリマス、第十五條ニ於テ「收用シタルモノ不用ニ歸シタル場合ニ於テ收用シタル時ヨリ十年内ニ拂下グルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ舊所有者若ハ舊權利者又ハ其ノ一般承繼人ハ優先ニ之ヲ買受クルコトヲ得」ト云フ、之ニ對シテ第十五條關係トシテ法案施行要綱ハ「拂下ノ通知(公告其ノ他拂下ノ手續



ヲ定ムルコト」下書イテアル、之ヲ法文化シシ法  
律化シテドレダケアナタ方ニ御迷惑ガアルカ、  
此時ニハ千變萬化ヲ通り越シテ不用ニ歸シタ  
折デアル、デアルカラ此事變ガ發生シテ國民  
總動員ヲヤラナケレバナラヌト立上ツタ時デ  
ハナイ、何年カ經ッテ不用ニ歸シテ事態モ漸  
ク平靜ニ歸シタ時ニ、通知、公告ヲスルノデ  
アル、其通知、公告ト云フモノヲ法文ニ入レル

日本ノ立憲始マツテ以來ノ立法デアル、世界  
中ノ立法史ヲ變更スルモノデアル、是ダケ  
ノ大法案ニ付テ、アナタ方ノヤツタコトニ付  
テ、若干他人ノ意見ヲ聽クダケノ餘裕ヲ御  
持チ願ヒタイ、斯ウ云フ意味ニ於テ要綱ノ  
中ニ必要ナルモノヲ立法化シテ此法案ノ中  
ニ入レル意思アリヤ否ヤ、之ヲ聽キタイノ  
デアリマス

セヌガ、今後起ルベキ如何ナル事態、如何  
ナル戰爭ニモ此法律デ間ニ合ハセテ行キタ  
イ、斯ウ云フ趣旨ヲ以テ制定サレタ法律デ  
アリマス、其點ハ只今ノ軍需工業動員法モ  
同様デアラウト思ヒマス、ソレデ先般第四  
條ノ徵用ノ場合ニ付キマシテ、詳シク年齡  
或ハ免除範圍等ニ付テ御尋ガアリマシテ、  
私ハ其際法律トシテハ、規定シ難イ理由ヲ  
申述ベタノデアリマスガ、唯私ノ言葉ガ足  
リナカッタ爲ニ、十分其意ヲ盡シ得ナカッタ  
ヤウニ思ヒマスノデ、恐縮デアリマスガ、  
モウ一度其例ヲ申上ゲサシテ戴キマス、例  
ハバ年齡ノ點デアリマスガ、(今ノ場合デ  
願ヒタイ)ト呼フ者アリソレデハ五條ト十  
五條ニ付テ御指摘ガアリマシタガ、(十五條  
ダケデヤレ)ト呼フ者アリ、十五條ニ「拂下  
ノ通知、公告其ノ他拂下ノ手續ヲ定ムルコ  
ト」ト云フコトガ施行要綱トシ御示シテア  
ルノデアリマスガ、私共ノ見解デハ、是ハ  
直チニ權利義務ノ實體ヲ規定スルモノデナ  
ク、寧ろ法律ノ施行令ニ當ルコトガ其内容  
ニ該當スル——御承知ノ如ク法律ヲ施行ス  
ル爲ニ命令ヲ出スコトハ、憲法上大權事項  
トシテ決メラレテ居ルノデアリマスガ、サウ  
云フ事柄ニ該當スルコトヲ豫期シテ居リマ  
スノデ、斯ウ云フ例トシテ其事ヲ勅令デ書

クト云フコトヲ示シテ居ルノデアリマス  
○作田委員 今ノ十五條ハ、御説ニ私ハ反  
對デアリマスガ、ソレハ一應勅令事項ニナ  
ルガ故ニ、法律化シナイト云フコトガ全般  
ニ對スル原則トシテ言明ニナルコトニナリ  
マスガ、十五條ノ説明ハ假定シタ一ツノ議  
論デアツテ、根本トシテモウ少シ此要綱ヲ立  
法化スル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ聽イ  
テ居ルノデ、是ハ勅令事項ヲ考ヘタト云フ  
ノデハ通用シナイノデス

○青木政府委員 十五條ニ付テノ説明ダケ  
ヲ申上ゲタノデ、或ハ誤解ガアツタカト思  
ヒマスガ、此御示シマシタ要綱ト云フノ  
ハ、必シモ法律ノ委任ニ依ッテ出ス勅令ノ内  
容ノミヲ規定シタノデハナイノデアリマス、  
色々運用上ノ方針、例ヘバ法規ノ制定デナ  
ク、行政處分ニ依ル運用ノ方針ニ該當スル  
ヤウナコトモ多々入ッテ居リマス、隨ヒマシ  
テ勅令ヲ出スト致シマシテモ、其勅令ハ法  
律ノ委任ニ依ル勅令デアルカ、或ハ憲法第  
九條ニ依ル法律ヲ施行スル爲ノ勅令デアル  
カ、其點ハ皆一括シテ入ッテ居リマスカラ、  
其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○作田委員 ドウモ青木次長トノ問答ハ竊  
蕪問答ニナリマスガ、司法大臣ノ御意見ヲ  
御聞シタイノデスガ、今私ノ御聞致シマシ

ヲ定ムルコト」下書イテアル、之ヲ法文化シシ法  
律化シテドレダケアナタ方ニ御迷惑ガアルカ、  
此時ニハ千變萬化ヲ通り越シテ不用ニ歸シタ  
折デアル、デアルカラ此事變ガ發生シテ國民  
總動員ヲヤラナケレバナラヌト立上ツタ時デ  
ハナイ、何年カ經ッテ不用ニ歸シテ事態モ漸  
ク平靜ニ歸シタ時ニ、通知、公告ヲスルノデ  
アル、其通知、公告ト云フモノヲ法文ニ入レル  
ノハ、千變萬化デアアルカラ入レルコトハ出  
來ナイト云フヤウナアナタ方ノウロタヘ方  
デハ、日本ハ立ッテ行カナイ、政府ニソレダ  
ケノ用意ガナケレバ日本ハヤッテ行カレス、  
事態ガ平靜ニナツタ折ニ、通知、公告ヲ法案  
ノ中ニ入レテ如何ナル千變萬化ガアルカ分  
ラヌト云フコトハ、アナタ方ハ良心ニ耻デ  
ズニ言フコトガ出來マスガ、詭辯ニアラズ  
ト言ッテ、御入レニナル程ノ元氣ガアリマス  
カ、私ハ繰返シテ申シマスルガ、茲ニ憲法  
論ノ中心ガアルト私一個ハ考ヘテ居ル、隨  
テ之ヲ通過サセヨウト思ヘバ、アナタ方ガ  
誠心誠意ヲ披瀝シテ、茲ニ議會ニ出シテ惡  
イ所ハ直ス、斯ウ云フ態度ヲ以テ來ラレタ  
折ニ、此大法案ト云フモノガ圓滿ニ私ハ進  
行スルデアラウト思フ、官僚獨善デ俺等ハ  
一番善イ、附イテ來ルナラ來イ、反對ナラ  
勝手ニシロ、斯ウ云フ態度デ——劃期的ノ

○青木政府委員 先般來色々御意見ヲ伺ヒ  
マシテ、御趣意ノアル所ハ能ク分ツタノデア  
リマス、殊ニ只今一度正シイトシテ立案シ  
タ以上、面目ノ上カラ御趣旨ノヤウナ修正  
ガ出來ナイノデハナイカト云フヤウナ御質  
問デアリマシタガ、サウ云フコトハ毛頭  
ナイノデアリマス、是ハ獨リ企畫院ト云ハ  
ズ、關係省全部デ屢、會合致シマシテ議ヲ練  
タ問題デアリマシテ、其時モ常ニ其問題ハ  
實ハ起ツタノデアリマス、法律ノ本旨トシテ  
モ、ドウシテモ目的ニ副ハナイト云フ結論  
ノ結果、斯ウ云フ形ヲ執ツタノデアリマス、  
ソレハ先般來政府ヨリ再々申上ゲデアリマ  
ス如ク、是ハ獨リ此事變ニノミ適用スルノ  
デハナク、寧ろ此事變ガ此程度デアレバ、  
或ハ此法律ガサウ非常ニ發動スルト云フコ  
トハ寧ろナイカモ知レスト云フ意味ニ申上  
ゲデアリマス通りニ、今後何年先カ分リマ

セヌガ、今後起ルベキ如何ナル事態、如何  
ナル戰爭ニモ此法律デ間ニ合ハセテ行キタ  
イ、斯ウ云フ趣旨ヲ以テ制定サレタ法律デ  
アリマス、其點ハ只今ノ軍需工業動員法モ  
同様デアラウト思ヒマス、ソレデ先般第四  
條ノ徵用ノ場合ニ付キマシテ、詳シク年齡  
或ハ免除範圍等ニ付テ御尋ガアリマシテ、  
私ハ其際法律トシテハ、規定シ難イ理由ヲ  
申述ベタノデアリマスガ、唯私ノ言葉ガ足  
リナカッタ爲ニ、十分其意ヲ盡シ得ナカッタ  
ヤウニ思ヒマスノデ、恐縮デアリマスガ、  
モウ一度其例ヲ申上ゲサシテ戴キマス、例  
ハバ年齡ノ點デアリマスガ、(今ノ場合デ  
願ヒタイ)ト呼フ者アリソレデハ五條ト十  
五條ニ付テ御指摘ガアリマシタガ、(十五條  
ダケデヤレ)ト呼フ者アリ、十五條ニ「拂下  
ノ通知、公告其ノ他拂下ノ手續ヲ定ムルコ  
ト」ト云フコトガ施行要綱トシ御示シテア  
ルノデアリマスガ、私共ノ見解デハ、是ハ  
直チニ權利義務ノ實體ヲ規定スルモノデナ  
ク、寧ろ法律ノ施行令ニ當ルコトガ其内容  
ニ該當スル——御承知ノ如ク法律ヲ施行ス  
ル爲ニ命令ヲ出スコトハ、憲法上大權事項  
トシテ決メラレテ居ルノデアリマスガ、サウ  
云フ事柄ニ該當スルコトヲ豫期シテ居リマ  
スノデ、斯ウ云フ例トシテ其事ヲ勅令デ書

クト云フコトヲ示シテ居ルノデアリマス  
○作田委員 今ノ十五條ハ、御説ニ私ハ反  
對デアリマスガ、ソレハ一應勅令事項ニナ  
ルガ故ニ、法律化シナイト云フコトガ全般  
ニ對スル原則トシテ言明ニナルコトニナリ  
マスガ、十五條ノ説明ハ假定シタ一ツノ議  
論デアツテ、根本トシテモウ少シ此要綱ヲ立  
法化スル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ聽イ  
テ居ルノデ、是ハ勅令事項ヲ考ヘタト云フ  
ノデハ通用シナイノデス

○青木政府委員 十五條ニ付テノ説明ダケ  
ヲ申上ゲタノデ、或ハ誤解ガアツタカト思  
ヒマスガ、此御示シマシタ要綱ト云フノ  
ハ、必シモ法律ノ委任ニ依ッテ出ス勅令ノ内  
容ノミヲ規定シタノデハナイノデアリマス、  
色々運用上ノ方針、例ヘバ法規ノ制定デナ  
ク、行政處分ニ依ル運用ノ方針ニ該當スル  
ヤウナコトモ多々入ッテ居リマス、隨ヒマシ  
テ勅令ヲ出スト致シマシテモ、其勅令ハ法  
律ノ委任ニ依ル勅令デアルカ、或ハ憲法第  
九條ニ依ル法律ヲ施行スル爲ノ勅令デアル  
カ、其點ハ皆一括シテ入ッテ居リマスカラ、  
其點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○作田委員 ドウモ青木次長トノ問答ハ竊  
蕪問答ニナリマスガ、司法大臣ノ御意見ヲ  
御聞シタイノデスガ、今私ノ御聞致シマシ

タコトハ無論御諒承ニナッテ居ルコトと思フノデアリマスガ、私共ノ繰返シテ申シマスコトハ、此要綱ニアルコトハ言ハナイノ

デアリマス、此外澤山法律ヲ以テ規定スル事項ガアルト、吾々ハ信ジテ居ルガ、政府ハサウ云フモノハ一切入レナイ、此程度ヲ以テ完全ナリト考ヘテ居ルカ否カト云フコトガ一點、モウツハ今青木サンノ御説明ハ、咄嗟ノ場合ニ非常ニ困難ヲ感ズルカラ、廣範圍ニ於テ取ッテ置キサヘズレバ宜イシダト云フ御議論ノヤウニ承ルノデアリマスガ、事態ガ進行致シマシテモ、緊急勅令モアリ、所謂三十一條ノ出動モアルシ、議會中デアレバ、法律ヲ變更スルコトハ一日ニシテ成ル場合ガアル、非常ニ重大ナ時局ニ臨ンダ場合ニハ、衆議院ハ半日デモ法律ノ修正ハ出來ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ一體ドウ云フ風ニ考ヘテ居ラル、カ、此意味カラ見マスルト、自由ニ變ヘ得ル場合ガ屢アル、サウ廣範圍ノモノヲ取ッテ置カレナイデモ——臨時ノ豫想シ得ザルコトマデモ考ヘテ置カレナイデモ宜イ、私ノ言フノハ臨時ノ豫想シ得ルコト迄豫想シテ置イテ法律化スル意思ガアルカドウカ、之ヲ一ツ司法大臣ノ法律的見解カラ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

〔關聯質問ノ域ヲ脱スルゾ〕ト呼フ者アリ

○鹽野國務大臣 簡單ニ御答ヲ致シマス、勿論憲法第二章ニ規定致シテアリマスル所謂立法事項ニ付キマシテハ、本法ニ規定シテ置クノデアリマス、此立法事項ニ關聯致シマシタ事項ヲ、普通ノ從來執リ來ッテ居リマス程度ノ委任命令ハ宜カラウト思ッテ居ルノデアリマス、其外ニ御指摘ニナリマシタヤウナ第五條ノ關聯事項、竝ニ第十五條ノ關聯事項ト云フヤウナモノハ、ハ全ク臣民ノ權利義務ニ關係ノナイ部分デアリマシテ、本法ノ此事項ハ憲法第九條ノ前段デアリマスガ、サウ云フヤウナ種類ノ事項ニ當ルノデアリマス、只今モ青木次長カラ御答ヲ致シマシタヤウニ、此勅令トシテ出マシタル内容ノ想定ヲ、各條ノ關係事項トシテ直接ニ臣民ノ權利義務ニ關係ナイ部分モ入ッテ居ルノデゴザイマス(モ入ッテ居ルノデスカ)ト呼フ者アリ(關係スル部分ト申シマスノハ、詰リ第四條ノ臣民ヲ徵用シテ或ル業務ニ就カセル、斯ウ云フ場合ニ、其徵用スル臣民ハドノ位ノ年齢ノ者ヲ徵ルカ、斯ウ云フコトニナリマス、臣民ヲ徵用スルコトニ接近シタ、附隨シタ事項ニナリマス、

サウ云フ點ハ法律ニ書イテモ宜シイコトデアリマスルガ、其點ガ千變萬化ニナリマスルカラ(笑聲)之ヲ勅令ニ規定致シタイ、斯ウ云フ趣意ナンデアリマス、千變萬化ハ別ト致シマシテモ、年齢ニ付テノ事柄ハ、普通ノ委任命令ノ程度デアアルノデアリマシテ、一向差支ナイト思ッテ居リマス

○作田委員 私ハ満足ヲ致シマセヌ、適當ノ機會ニ於テ此質問ヲ繰返シマスカラ、モウ少シ研究ヲ煩ハシテ置キマス

○宮脇委員 議事進行ニ付テ……此委員會ハ二三日以来憲法論カラ大分本法ノ實質内容ノ方面ニ來タノデスガ、數日來ノ質問應答ヲ聽イテ居リマス、何ダカピント來ナイヤウナ狀況デゴザイマス、質問者ハ此外ニマダ二十九名アリマシテ、漸ク六名濟ンダノデアリマス、ソコデ或ハ此數日間見タヤウナ、質問應答ガ同ジ所ヲ行ツタリ戻ツタリシテハ、尙ホ非常ニ時間ガ遅レマスカラ、政府ニ於キマシテハ、本法ニ付テ數日來質問シタコトニ付テ、何トナク公開ノ席上デ言ヘヌコトガアルカモ知レナイ、若シソナコトデアレバ、何カ便宜ナ方法ヲ採ッテ御答ヘ戴キタイ、サウスレバ議事ノ進行ガ早クナル、之ヲ委員長ヲ通ジテ政府ニ話シテ貰ヒタイ、サウシテ其時期ニ付キマシテハ

今日デナクテモ宜イガ、成ベク近い方ガ宜カラウト思フ

○瀧政府委員 作田サンノ御意見、豐田サンノ御意見、ソレカラ今ノ宮脇サンノ御意見、尤モダト思ヒマス、ソレデ私ガ申上ゲマシタノハ總動員計畫ト云フモノハ、無イノデハナイ、有ルノデス、併シソレハ中々公開出來ナイモノデ、祕密ノモノデアリマス、其總動員計畫ト云フモノガ一々此法ニ照合シテ發動シテ來ルノデアリマス、而モ總動員計畫ト云フモノハ、敵國ニ依ッテ異ッテ參リマス、其時ノ狀態ニ依ッテ異ッテ參リマスカラ、是ガヤハリ變ッテ行クノデアリマス、其變ッテ行ク總動員計畫ト云フモノガアルノデス、アルモノヲ此法律ニ照合シテ發動シテ行クト云フコトニナリマスカラ、實ハ總動員計畫其モノヲ御耳ニ達シナイト、何故廣汎ナル委任命令ガ必要カト云フコトノ御了解ヲ得ルコトガムツカシイノハ當然ナノデアリマス、唯私苦慮シテ居リマシタノハ、ソレヲ公開ノ席デ申上ゲルコトガ出來ナイカラ、簡單ナ同ジヤウナ言葉デ御答シテ居ッタノハ申譯ナイトハ思ヒナガラモ、致シ方ナク苦心ヲシテ居タ次第デアリマスガ、御指圖ニ依リマシテ適當ノ機會ニ能ク御懇談申上ゲタイト考ヘテ居リマス

カラ、御諒承ヲ願フテ置キマス

〔成ベク早イ方ガ宜イ〕ト呼フ者アリ

○小川委員長 ソレデハ藤本君

○藤本委員 私ハ先ヅ御許シヲ得マシテ、

本法案ニ對シマス私ノ信念ヲ披瀝サセテ戴

キタイト思フノデアリマス、申ス迄モナク

戰爭ハ一定ノ方策、或ハ形式ヲ以テスル科

學「サイエンス」デハアリマセズ、併ナガラ

「ダブリュー・エー・ミツチエル」大佐ガ申シマ

シタヤウニ、戰爭ハ殆ド一切ノ科學ヲ其用

ニ供スルモノデアリマス云フコトヲ考ヘ

マス時ニ、或ハ又近代戰ハ國力戰デアリ、

或ハ全體戰デアリ、隨テ全體ニ於テ、且ツ

全體ヲ通ジテノミ其勝利ヲ得ルト云フコト

ヲ考ヘマスル際ニ、或ハ又過ル歐洲大戰

ニ於キマシテ、英吉利ハ「ソナム」ノ戰鬪ニ

於キマシテ、初メテ「クシク」ヲ用ヒタ、或

ハ獨逸ハ「イーブルス」ノ戰鬪ニ於キマシテ、

初メテ毒瓦斯ヲ用ヒマシタケレドモ、其準

備ガ不十分デアリマシテ、殊ニ獨逸ハ戰後

戰爭責任ノ査問委員會ニ於キマシテ爲シマ

シタル「コック」提督ノ證言ニ依リマスレバ、

海軍ノ時期尙早ト云フノヲ押切りマシテ、

千九百十四年ヲ以テ戰爭時期ト致シ、有ユ

ル準備ヲ備ヘテ居タ——委員長、ドウ致シ

マセウカ……

○小川委員長 政府ノ方デ閣議ヲ開キタイ

ト云フノデ、閣僚ノ方ガ暫時退席ヲシタイ

ト云フコトナノデアリマスガ、アナタノ方

ハ閣僚ノ方ガ居ラシヤラスト、御質問ガ出

來マセヌカ

○藤本委員 モット早ク御知ラセテ願フタラ

宜イト思ヒマスガ、ソレデハ質問ヲヤリ直

シマス

○小川委員長 質問ハ他ノ政府委員デハ出

來マセヌカ

○藤本委員 閣僚ノ御出席ヲ願ヒタイト思

ヒマス

○小川委員長 ソレデハ暫時休憩致シマス

午後三時十六分休憩

午後五時二十分開議

○小川委員長 休憩前ニ引續キマシテ會議

ヲ開キマス——藤本君

○藤本委員 申スマデモナク戰爭ハ一定ノ

法則ヤ形式ヲ以テスル科學デハゴザイマセ

ヌ、ケレドモ「ミツチエル」大佐ガ申シマシタ

ヤウニ、凡ソ戰爭ハ一般ニ多數ノ科學ヲ、

其用ニ供スルト云フコトヲ想ヒマス時ニ、

或ハ又過ル世界大戰ノ際ニ於キマシテ、英

吉利ハ「ソナム」ノ戰鬪ニ於キマシテ初メテ

「クシク」ヲ用ヒ、獨逸軍ハ「イーブルス」ノ戰

爭ニ於キマシテ初メテ毒瓦斯ヲ用ヒテ居ルノ

デゴザイマスケレドモ、何分ニモ準備ガ不

十分デアリマシテ、殊ニ獨逸ハ戰爭責

任査問會ノ第二分科會ニ於キマシテ「コック」

提督ノ證言ニ依リマスレバ、海軍側ハマダ

二三年早イト云フニモ拘リマセズ、千九百

十四年ヲ目標ニシマシテ、各般ノ準備ヲ整

ヘテ居タノデアリマス、ソレニ準備ガ不十

分デアツタ爲ニ、十分ノ效果ヲ擧ゲ得ナカッ

タト云フコトヲ思ヒマス時ニ、又我國ニ付

テ考ヘマシテモ、大正七年四月十七日國家

總動員ノ一軸デアリマス所ノ軍需工業動員

法ヲ制定致シ、爾來二十年ノ間ニ互リマシ

テ色々ノ法制ヲ作り、色々ノ機構ヲ作りマ

シテ、殊ニ又滿洲事變以來、國民ニ對シマ

シテ非常時認識ヲ疾呼シテ參リマシタ、ソ

レニモ拘リマセズ今以テ聞クベキ、或ハ見

ルベキ十分ノ準備ガナイト云フヤウナコト

ヲ考ヘマスナラバ、私ハ本案ノ内容ニ對シ

マシテ、或ハ又先般來御當局ガ御説明ヲ遊

バサレマシタコトニ付キマシテ、多大ノ疑

惑ヲ持ツノデアリマス、隨テ以下御尋ヲ致

シテ見タイ事ハ澤山ゴザイマスケレドモ、

何分ニモ會期切迫致シ、マダ後ニ多數ノ質

問者ガ控ヘテ居ラレマスカラ、極メテ簡單

ニ御尋ヲ致シテ見タイト思ヒマス、隨テ言

不備ニシテ或ハ御尋ノ趣旨ヲ徹底致サヌカ

モ知レマセヌガ、ドウカ當局ニ於カレマシ

テハ、十分ニ御賢察賜ハリマシテ、御懇篤

ナル御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

先ヅ第一點ト致シマシテ、總理大臣ニ御

尋申上ゲタイト存ジマス、ソレハ本法案ト憲

法トノ關係デゴザイマス、先般來此問題ニ付

キマシテハ色々權威ノアル御質疑ガゴザイ

マシタガ、歸スル所本案ニ付キマシテハ、法

律論ト政治論トニ分ル、デアリマセウガ、法

律論ト致シマシテハ、本案ト憲法第三十一

條トノ關係、本案ト委任命令トノ關係デア

リマス、政治論ト致シマシテハ通常議會ノ

他ニ臨時議會ガアル、或ハ憲法第八條ノ規

定ガアル、或ハ憲法七十條ノ緊急財政處分

勅令ガアル、或ハ又憲法三十一條ガアリマ

スカラ、ソレニ依ルベシト云フ議論ニ落著

クノデアリマス、先ヅ私本案ト憲法トノ關

係ニ付テ、而モ其委任命令トノ關係ニ付キ

マシテ考ヘマスルナラバ、先ヅ其前提トシ

マシテ委任命令ガ違憲ナリヤ否ヤト云フコ

トヲ決定セネバナリマセヌガ、是ハ既ニ明

治二十三年法律第八十四號ニ依リマシテ、

罰則迄モ命令ニ委任シタト云フコトヨリシ

マシテ、其後議會モ裁判所モ委任命令ハ違

法デナイ、違憲デナイトナシ、或ハ昭和六

年十月十二日ノ大審院ノ判例ハ、立法事項

ヲ命令ニ委任スルコトヲ拒絕セズト云フヤウニ判示致シマシテ、兎モ角モ形式的ニ委任命令ハ違憲デハナイト、斯ウナッテ居リマス、隨テ本案ノ法律の性質モ自ラ明カデアリマス、ケレドモ委任命令ハ補充命令デアリマシテ、隨テ其内容ト致シマシテハ實體的デハナク寧ろ手續的デアリ、或ハ又一般的デナクシテ特定ノ事項ニ限ルベキデアリマスケレドモ、本案ノ内容ヲ見マスナラバ、非常ニ一般的デアル、非常ニ實體的デアル、斯ウ云フ見地カラ考ヘマスナラバ、形式的ニハ違憲デナイトシテモ、實質的ニハ、或ハ露骨ニ申シマスナラバ、合法的ノ脱稅デアルト云フヤウニモ感ズルノデアリマス、玆ニ若干ノ疑問モゴザイマスルガ、更ニ又政治論トシマシテ、或ハ又三十一條トノ關係ニ於キマシテモ疑問ガゴザイマスガ、先般來色々御議論ガアリマシタカラ、私ハ重複ヲ避ケテ之ニ言及致シマセヌ、唯玆ニ總理大臣ニ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマスコトハ、政府ハ現在ノ國際情勢及其動向ニ鑑ミラレマシテ、本案ヲ御提出ニナッタノデアリマスガ、愈、本案ノ適用サレル戰時又ハ準戰時トナリマシタ際ニ、今立法事項ヲ勅令ニ委任サレテ居ルケレドモ、其現實ノ場合ニハ、勅令ニ依ラズトモ法律デ規定シテモ

差支ナイト云フ場合ガアリ得ルナラバ、即チ急ギモセヌ、議會ヲ召集スルコトモ出來ル、機密事項ノ點カラ行ッテモ宜シイト云フヤウナ場合ニハ、委任アルガ故ニト云フヤウナ御理由ニ依リマシテ、勅令デ規定スルコトヲ押通サズニ、法律デ以テ規定致シ、國力ノ總意ヲ之ニ參畫セシムベキデアラウト信ズルノデアリマスガ、政府ニ於カレマシテハ、左様ニ其際ニ於テナサル御意思ガオアリニナルヤ否ヤト云フコトヲ、先ヅ御尋致シタイト思フノデアリマス

○近衛國務大臣 現實戰時ニナリマシタ場合ニ、尙且ツ議會ノ協賛ヲ求メル餘裕ガアルニモ拘ラズ、絶對ニ法律トシテ之ヲ制定スルコトハナイカト云フ御尋デアリマスガ、サウ云フ場合ハ無論アリ得ルト考ヘテ居リマス、大體豫想シ得ルコトハ、此法律ニ制定セラレテ居リマスルケレドモ、絶無トハ申サレナイト考ヘテ居リマス

○藤本委員 能ク諒承致シマシタ、第二問ト致シマシテ、獨逸ノ「カイゼル」ハ新聞ニ於テ破レタト申シテ居リマス、平時ニ於テハ固ヨリ、戰時ニ於キマシテ特ニ情報、或ハ牒報或ハ又宣傳ガ如何ニ重要デアルカハ、私ノ只今喋々ヲ要シマセヌト思フノデアリマス、而シテ情報、或ハ牒報、或ハ宣

傳ガ其本來ノ使命ヲ十分ニ達成致シマスルガ爲ニハ、確實デアルト云フコト、迅速デアルト云フコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、而シテ確實デアリ、迅速デアルガ爲ニハ、ソレニ妥當スル機關ヲ要スルト思ヒマス、竊ッテ我國ノ左様ナ機關ニ付テ一瞥ヲ與ヘマスルナラバ、對内的ノ左様ナ機關ト致シマシテ、内閣ニ情報部ガアリマス、或ハ外務省ニ情報部ガアル、或ハ陸軍ノ新聞班、或ハ海軍省ノ軍事普及部、或ハ警察情報、色々アリマシテ、之ヲ眺メタダケデ既ニ犬牙錯綜、是デハ到底國策トシテノ統制ノアル情報、或ハ宣傳ハ難カシイト思フノデアリマス、或ハ又各官廳特有ノ祕密事項ガアリマセウト思ヒマスガ、其取捨撰擇ニ非常ナ時日ヲ要シマシテ、敏速ナル所ノ情報モ出來マイト思フ、更ニ外國カラコチラニ對スル、即チ外ヨリ内ニ對スル左様ナ機關トシマシテハ、外務省ノ出先官憲、或ハ陸海軍ノ出先官憲、斯様ナ機關ガアリマスガ、最近ハ爲替管理ノ關係上能ク存ジマセヌガ、併シ二三年前私アチラヘ二年程參ッテ居リマシテ、色々ノ機關ヲ訪問シマシタガ、非常ニ訪問者ガ多クテ、其應接、或ハ接待等ニ非常ニ奔命ニ疲レマシテ、内地ニ對スル情報ト云フコトニ付キマシテ、非常ニ缺

クル所ガアルト云フコトヲ察シテ居ッタコトヲ想起致スノデアリマス、果セル哉、新聞記事の情報ガ澤山外務省ニ入ルト云フヤウナコトモ見受ケルノデアリマス、更ニ内カラ外ヘノ機關ニ至リマシテハ、殆ド見ルベキモノガゴザイマセヌ、左様ナ意味ニ於キマシテ、最近ニ於キマシテハ戰爭ガ武力戰デアリ、或ハ經濟戰デアリ、政治戰デアリ、思想戰デアルト云フヤウナコトヲ考ヘマスルト、洵ニ心細イ次第デアリマス、殊ニ論ヨリ證據今回ノ事變ニ付キマシテモ、此宣傳戰ニ於キマシテハ非常ニ我國ハ缺クル所ガアリマシテ、其爲ニ不測ノ損害ヲ國家ガ蒙ッテ居ルノデアリマス、斯様ナ見地カラ致シマシテ、將來此法案ノ適用ヲ豫想サレル如キ大ナル戰爭ニ對處致ス爲ニ、此際國家ハ強力ナ統制ノアル所ノ宣傳省ヲ設置スベキデアラウト、私ハ確信致スノデアリマス、政府ニ於カレマシテハ其御意圖アリヤ否ヤヲ、御尋致シタイト思ヒマス

○近衛國務大臣 情報、宣傳ノ必要ナルコトハ、今日モ之ヲ深く認メルノデアリマシテ、隨テ現在ゴザイマス内閣ノ情報部ガ、之ヲ取扱ッテ居リマスケレドモ、之ヲ一層擴大スル必要モ認メルノデアリマス、殊ニ此總動員法ガ實行セラレルト云フヤウナ事態

ニ立到リマシタ場合ニハ、一層其情報、宣傳ノ機關ノ強化ヲ必要トスルコトハ申スマデモナイノデアリマス、ソレガ爲ニ一省ヲ設ケルコトガ宜イカドウカト云フコトニ付キマシテハ、今日マダ研究致シテ居リマセヌ

○藤本委員 只今御答辯ヲ得マシタノデアリマスガ、希クハ十分ニ御調査遊バサレマシテ、速ニ御設置セラレル必要ガアルカニ存ジマスルノデ、特ニ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス

第三ニ、國家總動員ハ人的、物的兩方面ニ互リマシテ、隨テ人口動員モアレバ、産業動員モアル、或ハ金融動員モアレバ、財政動員モアリマス、或ハ又教育文化ノ方面ニ互ル動員モアリマシテ、要スルニ一朝非常ノ際ニ當リマシテ、國家權内ニアル人ト物トヲ總動員致シ、即チ一事一物ノ細ニ入ルマデモ、其全智全能ヲ發揮致シマシテ、戰爭目的遂行ニ使役致ササウトスルノデアリマスガ故ニ、茲ニ機關ノ妥當ナルモノヲ要スルコトハ固ヨリ申スマデモアリマセヌ、先般總理大臣カラ、其機構ト致シマシテハ、最高機關ガ内閣、次ニ各省、之ヲ統制致スモノトシテ企畫院ガアル、ト云フヤウナ御言葉ヲ頂戴致シタノデアリマス、或ハ諮問機關ト

シテ、本法案ノ第五十條規定ノ審議會ト云フコトニ付キマシテモ、大體ノ御意圖ヲ承ツタノデアリマスガ、私ハ是等ニ付キマシテハ只今申上ゲマセヌ、ガ、今特ニ御伺致シテ置キタイト存ジマスコトハ、此五十條ノ審議會デゴザイマス、只今御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスノハ、此審議會ニ對シ事實上ニ於キマシテ議會ニ代ルベキ性質ヲ御持タセニナル御意圖ガアルカドウカ、本案ガ法律化致シマシタナラバ、議會ハ事實上法律事項ヲ、即チ此總動員業務、或ハ物資ニ關スル限り、立法權ノ行使ニ參與スル所ノ權能ヲ、白紙ニ於テ委任致スコトニナリマス、國民ニ於キマシテモ、憲法第二章ニ於テ保障サレマシタル權利義務、ソレヲ法律ニ依ラズシテ、命令ニ依ッテ規定サレルコトニナルノデアリマシテ、非常ナ重大ナ結果ヲ伴フノデアリマスガ故ニ、此五十條ニ於テ設置サレマス審議會ニハ、セメテモ國民ノ總意ヲ反映セシムル最後ノ機關トシテ、事實上議會ニ代ルベキ性質ヲ持タスベキデアラウト、確信致スノデアリマス、果シテ然ルヤ否ヤ、總理大臣ニ御伺致シタイト思ヒマス

○近衛國務大臣 此審議會ヲ設ケルニ至リマシタ事情ニ付キマシテハ、最初ニ此委員

會デ私カラ申上ゲマシタ、斯ノ如キ事情ニ鑑ミマシテモ、此審議會ト云フモノハ、極メテ重要ナル機關デアルト考ヘテ居リマス

○藤本委員 モウ一ツ、國家ガ平時ニ於テ、殊ニ非常時ニ於キマシテ最強最大ノ力ヲ發揮致シマス爲ニハ、組織ノ力ニ依ラネバナラスト思ヒマス、幾度カ累卵ノ危殆ニ瀕シマシタル彼ノ獨逸、或ハ伊太利ガ、アノ國難ヲ克服致シマシテ、遂ニ起上リ、今ヤ歐洲ノ一角ニ於キマシテ世界ヲ睥睨致スト云フマデニ相成ツタコトハ、是レ申スマデモナク組織ノ力デアリマス、天理ニ反シ、或ハ人理ニ反シマスル彼ノ露西亞ノ政治形態、出來マシテカラ以後二十年經ッテ居リマシテ、或ハ右往左往致シテ居リマスクレドモ、今ニ其命脈ヲ保存致シテ居ル所以モ、亦善惡ハ別トシテモ組織ノ力デアリマス、醜ッテ我國ノ組織ヲ見マスルナラバ、必シモ組織ナシトハ申シマセヌ、組織ナシト申シ得ナイ我國ニ、尙且再組織ノ聲ガ高イノデアリマス、考ヘ様ニ依リマシテハ、國家總動員モ其組織ノ再組織、再強化デアラウトモ考ヘ得ルノデアリマス、而シテ是等ノ中ニハ自ラ本末、輕重モアリ、或ハ大小、強弱ノ別モアリマセウ、隨テ國家ガ此時局ニ鑑ミマシテ、何レヲ先ニスルカ、何レヲ重シトス

ルカト云フコトハ、自ラ順序ガアラウト思ヒマス、私熟、先般來考ヘマスト、此國家ノ重大時期ニ際會致シマシテ、殊ニ此國際情勢ノ險惡ナル際ニ當リマシテ、若シ國家ガ再組織、而シテ其再強化ヲ要スルモノガアリトスレバ、眞先ニ政黨ノ再組織、政黨ノ再強化ガ急務中ノ急務デアラウト思フノデアリマス、政黨ガ出來マシテ以來數十年ニ互リマシテ、國家ノ大所高所ニ立チ、憲政ノ發達ノ爲ニ、或ハ國民幸福ノ爲ニ、多大ノ功績ヲ殘シテ參ツタコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、併シ時運ノ進化ニ伴ヒマシテ、今ヤ政黨ノ内部ニ於テ、或ハ天下ノ輿論ニ於テ、政黨ノ再組織、政黨ノ再強化ガ叫バレテ居リマス、而モ尙ホ其實ヲ見ナイト云フコトハ、一ニ首班ニ其人ヲ見付ケ得ナカッタコトニ依ル、私ハ左様ニ信ズルノデアリマス、總理ニ於カレマシテハ、此時局ニ鑑ミ、此國家ノ再組織、再強化ノ聲ノアル際ニ當リマシテ、先ヅ第一番ニ政黨ノ再組織、或ハ再強化ヲ、此國家總動員ノ立場カラ考ヘル必要アリヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、甚ダ是ハ尊威ヲ冒瀆スルカモ知レマセヌケレドモ、御尋シタイト思フノデアリマス

○近衛國務大臣 其問題ハ政府トシテハ何トモ申上ゲ兼ねルノデアリマス、要ハ政府

ト致シマシテハ、如何ナル政黨ガ出來マシテモ、結局ソレニ依ッテ政局ガ安定シ、國運ノ進展ガ出來レバ洵ニ結構デアリマス

○藤本委員 只今ノ御答辯ニ對シマシテ甚

ダ恐縮デアリマスガ、併シ此總動員法案ナルモノハ、國家ノ權内ニ於ケル人的、物的資源ノ統制運用ヲ圖ル、斯ウ云フヤウナ意味カラ致シマシテ、或ハ直接的デナイカモ知レマセヌケレドモ、廣義ノ意味ニ於キマシテ、餘程關係ヲ持ツデアラウト思フノデアリマス、左様ナ意味ニ於テ御尋シタノデアリマスガ、只今ノ御答辯デ是以上私ハ申上ゲルコトハ差控ヘマス、以上四ツノ點ニ付テ總理大臣ノ御忙シイ中ニ拘ラズ、御答辯ヲ煩ハシタノデアリマスガ、總理大臣ニ對スル私ノ質問ハ是デ打切りマス

次ニ厚生大臣ニ御伺致シタイ、先ヅ國家總動員法ノ實施ガ跋行のニ行ハレマスルナラバ、最早ソレハ國家總動員デナイト信ジマス、即チ私ノ卑見ヲ以テシマスルナラバ、國家總動員トハ國家ノ權内ニ於ケル有ユル人、有ユル物、而モ一事一物ノ細ニ至ルマデ、總テ之ヲ見逃サスト云フコトヲ以テ其本旨ト致シ、更ニ又一事一物ノ細ニ至ルマデモ、極メテ公平ニ處遇ヲ致スト云フコトニ於テ、初メテ國民全部ノ心カラ積極的ノ

協力ヲ得ル、而シテ總動員ノ目的ガ達成サレルト思フノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ、厚生大臣ノ指導精神ヲ承リタイト思フノデアリマス

○木戸國務大臣 國家總動員ノ厚生省關係

ニ付キマシテ、先程モ豐田サンカラ指導精神ニ付テノ御尋ガアリマシタ、其際ニモ申上ゲタノデアリマスガ、所謂人的資源ノ點ニ付テ考ヘテ見マスルト、戰時ニ當リマシテハ、我が國民ハ一ニ 上天皇陛下ヲ戴キマシテ、其ノ下ニ馳セ參ジテ此國難ニ當リ、滅私奉公ノ精神ヲ以テ起チ上ルノデアリマス、其場合ニ於キマシテ一面戰時ニ於キマシテハ、動員令ニ依リマシテ、軍ノ召集ニ依リマシテ軍需工場其他ノ間ニハ缺員ヲ生ズル、又平和産業ノ方面ニ於テハ、或ハ多數ノ不要ナル、所謂失業ト申シマスガ、職ヲ失フ者ガ出テ來ル、サウ云ツタ點ニ付キマシテ、之ヲ適正ニ配置致シマス、サウシテ戰時ニ於キマシテハ、戰争ノ目的ヲ達スル爲ニ、最モ國家ノ組織機能ヲ最大限ノ能力ニ上ゲルト云フコトガ、私共ガ擔當シテ居リマス人的資源ニ於テ考ヘナケレバナラヌ點デアルト思ヒマス、隨テ其目的ヲ達スル爲ニ、ドレダケノ高度ニ此法ヲ運用スルヤ否ヤト云フコトハ、其事變ノ起リマシタ

時ニ即シテ考ヘナケレバナラスト思ヒマスガ、此法案ニ付テ既ニ御承知デアリマセウガ、其準備ト致シマシテ、法ノ二十一條ニ於キマシテ、登錄制度ヲ採リマシタ、出來ルダケ平時ニ於キマシテモ、是等ノ問題ノ起リマシタ時ニ、適正ナル處置ヲ執リ得ルヤウニ準備スル積リデ致シテ居ル譯デアリマス、要ハ國民ガ熱烈ナル氣持ヲ以テ、有ユル方面カラ御國ノ爲ニ働カウトスル其熱意ガ集リマスルガ、併ナガラ其全貌ヲ把握シテ居リマセヌ方面ニ於テハ、如何ナル方面ニ行ッテ、如何ナル働カスルノガ一番宜イカト云フコトニ付テノ見透シガ各人ニハ付キマセヌカラ、ソレ等ニ付キマシテ適正ニ勞務ヲ配置シテ、總動員上無駄ノナイヤウニヤラウ、斯ウ云フコトガ、大體私等ガ此法案ヲ動かサウト云フ時ニ考ヘテ居ル眼目デアルノデアリマス

○藤本委員 私ノ御尋致シマシタ動機ニ付キマシテハ、總動員ハ人的、物的方面ニ互リマシテ、出來ルダケ總テ公平ニト云フコトガ極メテ大切デアル、斯ウ云フヤウナ意味カラシマシテ申上ゲタノデアリマスガ、次ニ此見地カラ御尋致サナケレバナリマセヌコトハ、勅令ノ施行要綱ヲ眺メマスト、被徵用者ハ相當ノ給與ヲ受ケルコトニナッテ

居ルノデアリマス、第四條デアリマス、所ガ第一線ニ立チマシテ、身命ヲ肉彈トシテ國家ニ滅私奉公ノ限リヲ盡シテ居ル勇士ニハ、其遺族ノ生活ヲ保障スルニ足ルダケノ給與ハ受ケナイノデアリマス、茲ニ非常ナル不均衡ガアルト思フノデアリマスガ、政府ハ此不均衡ヲ單ニ徵兵義務ノ神聖ヲ以テノミ御解消ナサラウト云フノカ、其點ヲ御伺シテ見タイノデアリマス

○木戸國務大臣 只今ノ御尋ノ點ハ此第四

條ノ關係ニ於キマシテ、先程モ申シマシタヤウニ、第一次トシテハ各個人ノ自由ノ意思、奉公的精神ヲ以テ之ヲ適正ニ配置スルト云フノデアリマシテ、所謂兵役法ニ依リマスル召集デハナイノデアリマス、隨ヒマシテ召集ノ場合ニハ、此召集セラレタル者ニ對シテハ、御話ノ通り雇傭關係ト云フ關係デアリマセヌカラ、手當ハ勿論現在デハ少イヤウデアリマスガ、併ナガラ同時ニ是等ノ生活ハ全部國家ガ持ッテ居ル譯デアリマス、而シテ家族ニ對シテハ必要ニ應ジ軍事扶助法、其他ノ發動ニ依リマシテ之ヲ援助スル、斯ウ云フコトニナリマス、而シテ此四條ニ於キマシテ被徵用者ハ、只今ノヤウニ大體ニ於テ民間デアレバ雇傭關係ニナリマス、官廳デアリマスナラバ、是ハヤハ

リ相當手當ヲ出ス、其手當ニ依ッテ、ヤハリ家族ヲ扶養スルト云フコトニモナリマセウシ、又軍ノ工場ニ居リマシテモ、朝夕其他ノ生活ハ兵營ニ暮スノデナクテ、食事ハ自分テ取ルト云ツヤウニ、立前ガ遠ッテ居リマスカラ、ドウシテモ若干ノ不均衡ハ起ルダラウト思ヒマス、併ナガラ其程度マデ高度ニ之ヲ運用致ス時ニハ、常ニソレ等カラ起ル所ノ怨嗟ノ聲等ハナイヤウニ、十分適正ニヤッテ行カウト思ヒマス

○藤本委員 應召者ノ遺家族ニ對シマシテ、今回色々方策ヲ講ジテ下サッテ居ルコトハ、私モ存ジテ居リマスルガ、併シ今回ノ事變ニ付テ眺メマスナラバ、應召者ノ中ニハ官吏ガアリ、公吏ガアリ、教員ガアリ、會社員ガアリマス、或ハ農漁山村、サウ云フ方面カラ出タ軍人モ澤山アリマスルガ、官吏公吏、或ハ教員、或ハ會社員、斯ウ云フモノハ俸給ヲ其儘受ケテ居ルガ、農村、或ハ漁村、山村カラ出タ勇士ハ左様ニ相成ッテ居ラスノデアリマス、今回ノ事變ニ於ケル應召者ニ對スル國家ノ扱ヒハ、甚ダ不公平デアルト云フコトハ、私感ジテ居リマスケレドモ、今更ソレヲコ、ヘ持出シマセヌ、唯御尋致シタイト思ヒマスコトハ、此法案ノ適用ガ、豫想サレマスル戰爭ニ相成リマ

スルナラバ、應召者ノ數ハモット殖エマス、又戰爭モモット長期ニ互ルダラウト思ヒマス、隨テ官公吏、或ハ會社員、教員サウ云フ者ニモ今回ノヤウナ待遇ハ或ハ出來ニクイカト思ヒマスルガ、併シ長期ニ互ッテ應召者モ殖エテ來ルトナッテ來マス、應召セザル者、後ハ殘ッテ後ノ力、左様ナ連中ガ事變下ノ長期ニ互ル色々ノ負擔ノ重壓ニ苦シミマシテ、今回ノ如キ所謂隣保善隣ノ至情ヲ以テ應召者ノ遺家族ヲ助ケルト云フコトハ出來マイト思フノデス、或ハ又地方自治團體ノ應召者ノ遺家族ニ對スル救援事業モ、今回ノ如クニ至ルマイト思フノデス、是ニ於キマシテ銃後ノ護リニ異狀ヲ生ゼヌトハ、誰ガ保證シマセウカ、而シテ是ハ戰果ニ付キマシテ非常ナ影響ヲ持ツノデアリマスガ、結局之ハ國策ノ影響デアリマスカラ、左様ナ銃後ノ困窮ニ對シマシテハ、又國策ヲ以テ之ヲ保護シナケレバナラスト私ハ確信致ス者デアリマス、此際ニ當リマシテ、政府ハ如何ナル御抱負、御經綸ガアリヤ否ヤ、又私ハ事前ニ於キマシテ、斯ウ云フコトヲ幾ラカデモ解消サス所ノ一助トシマシテ戰時保險法、サウ云フモノヲ御制定スル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ、御尋致シテ見タイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今御尋ノ點ハ或ハ戰時、所謂戰爭ガ今回以上ノ高度ノ高汎ナ戰爭トナリ、又長期トナリマスル場合ニ、御心配ノヤウナ點ガ起ラストハ保證ハ出來ナイノデアリマス、併ナガラ我が國體、其他家族制度等ノ關係カラ申シマスレバ、相當苦シイ中ニモ隣保相扶ノ精神ヲ以テ、之ニ善處シテ行クコトハ出來ルダラウト思ヒマス、併シソレハ必シモソレデ十分デナイ、今日現ニ官公吏ト比ベマシテ、農村商工業者等ノ間ノ不均衡ハ、既ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマシテ、政府トシテモ之ニ色々ノ方法ニ依ッテ、其不滿ノ聲ヲナクスベク實際ノ問題トシテモ研究シテ居ルノデアリマスガ、今後此問題ヲ、將來ノ事變ニ於キマシテ、或ハサウ云フ點ニ付テハ、更ニ國家ガモット是等ノ扶助其他ニ付テハ考ヘナケレバナラス時ガ來ルノデハナイカトモ考ヘルノデアリマス、併シソレハ今日豫斷ヲ許サヌ譯デアリマス、御話ノ點ハ十分將來此法案ヲ運用スルニ付テハ考慮シナケレバナラス所ト考ヘテ居リマス、ソレカラ戰時保險ト云フヤウナ點ニ付テハ、此國家總動員ト關聯致シマシテ、只今ハマダ其處ノ調査マデハ參ッテ居リマセヌ

○藤本委員 最後ニ戰時又ハ準戰時ニ於キマシテ、應召者ノ遺家族ヲ救援致スト云フコトハ、是ハ決シテ慈善事業デハゴザイマセヌ、故ニ其衝ニ當ルベキ官公吏ハ、決シテ國家ガ恩惠ヲ與ヘテ居ルト云フヤウナ意味デ臨ムベキデハナイノデアリマス、又一面ニ於キマシテ應召者モ、或ハ應召者ノ遺家族モ、此戰爭ヲ以テ危險ナル職業ト心得テ、サウシテ國家或ハ自治團體ノ爲ス救援事業ヲ、其反對給付ト心得マシテ、國民ノ國家ニ對スル奉公心ヲ微動ダモサセテハ相成ラスト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ厚生大臣、竝ニ軍部ノ政府委員ガ御見エデアリマスカラ、御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今ノ御尋ハ御説ノ通りデアリマス

○山脇政府委員 軍ト致シマシテモ同様ニ考ヘテ居リマス

○藤本委員 御答辯ヲ得マシタノデアリマスガ、幸ヒニシテ私ト意見ヲ同ジウシテ下サル點ニ付キマシテハ、了承致シマスガ、然ラバ其方法ニ付テ、今回ノ事變ニ鑑ミマシテ、次ニ來ラントスル戰爭ノ場合ニ萬遺憾ナキ其方法ヲ御示願ヒタイ、或ハ今カラデハソレハ早イ、或ハマダ考ヘテ居ラスト仰シヤルナラバ、是ハ別デアリマスケレドモ、兎モ角モ今回ノ事變ヲ他山ノ石トサレ



マシテ、左様ナコトガナイヤウニ御方策ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、厚生大臣ニ對スル私ノ質問ハ是デ終リマス

次ニ内務大臣ニ御尋申上ゲタイト思ヒマスガ、此法案ノ第三十九條ニ依リマス、第二十條違反ニ對スル罰則ヲ掲ゲデアリマス、新聞其他ノ言論機關ニ對スル規定デアリマスガ、新聞、サウ云ツタ機關ガ平時ニ於テ非常ニ重要ナ機關デアルト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、殊ニ戰時ニ至リマシテハ、尙ホ更其重要性ヲ加ヘルノデアリマスガ、殊ニ戰況ガ深刻化致シマスルナラバ、此新聞等ノ力ニ依リマシテ、國民ノ愛國心ヲ喚起スル、或ハ國民ノ義勇心ヲ喚起スル、或ハ敵愾心ヲ喚起致スト云フヤウナコトハ洵ニ必要ナコトデアリ、洵ニ國家ノ運命ヲ左右スル程、ソレ程重要ナモノデアリマス、世界大戰ノ際ニ於キマシテ、英吉利ハ最初度々負ケテ居リマシタガ、其背後ニアリマシテ言論機關ハ舉ツテ訓練ノ不十分、或ハ兵器彈藥ノ不備不足サウ云フコトヲ書立テマシテ、大イニ戰線ノ將兵ヲ鞭達ヲ致シ、或ハ國內ニ於キマシテ國民ノ義勇心或ハ報公心ヲ鞭達シテ、遂ニ次第次第ニ勝算ヲ得ルヤウニ相成ツタノデアリマス、斯様ナコトヲ考ヘマスルナラバ、戰時、

準戰時ニ於キマシテ、言論機關ノ極メテ重大性ヲ帶ビテ來ルト云フコトニ對シテハ喋喋ヲ要セナイノデアリマス、所ガ之ニ對シテ制裁ヲ加ヘル、平時ニ於テモ制裁ノ規定ガアルノデアリマスガ故ニ、戰時ニ於テハ尙ホソレヲ加重スル必要ガアルカモ知レナイノデアリマスガ、ソレガ爲ニ私ノ憂ヘマス所ハ、此言論機關ニ對スル制裁ハ、自己ニ對シ或ハ自己ノ會社ニ對シテ關係ヲ持ツテ居リマスカラ、或ハ筆ガ鈍リ清新明朗ナ潑刺ナ創意ニ滿チタ記事ガ出來得ヌカモ知レマセヌ、私ハ制裁ヲ以テ臨ムト云フコトハ、洵ニ妥當ナコトト思ヒマスケレドモ、此制裁ヲ以テ臨ムコトニ依ツテ國家ノ得ル所ト、制裁ヲ以テ臨ムガ故ニ之ニ依ツテ失フ所トヲ、能ク比較考量致サナケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、固ヨリ新聞記者等ノ中ニハ所謂「リベラリスト」モアリマス、然シ人トシテノ感激ハ依然トシテ持ツテ居ル、殊ニ國家存亡ノ際ニ當リマシテハ、眞ニ感激ニ滿チ、愛國心ニ滿チテ筆ヲ揮フト云フコトハ考ヘラレマスルガ、併シ私ハ此制裁ニ付テ篤ト考ヘテ見マシタ、又此法案ノ總テヲ讀ンデモ見マシタガ、制裁規定ハアルケレドモ、此新聞記者等ニ對シマシテ、良イ記事ヲ書カス、感激ノ心境ニ於テ記事ヲ

書カスト云フヤウナコトニ付キマシテ、或ハ啓發致シ、或ハ助長致スト云フヤウナコトニ付テハ一ツモ見當ラヌノデアリマス、故ニ此點ニ付キマシテ一方ニ於テ注意致スト同時ニ、一方ニ於テ助長致ス、サウシテ出來ルダケ感激ニ滿チタ記事ヲ書カスヤウニ御考ニナツテハ如何カト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ内務大臣ノ御抱負ヲ承リタイト思ヒマス

○末次國務大臣 啓發助長ニ付キマシテハ、御意見ノ通り全力ヲ盡シテヤラナケレバナ

ラスト存ジマス、唯往々ニシテ國家總動員ノ目的ニ反スルヤウナ記事ガ出ナイトハ限リマセヌカラ、其萬一ノ場合ニ備ヘテ居ルノデアリマス、同時ニ之ニ依ツテ萬一ニモサウ云フコトガ起ラヌヤウニ豫メ警告ヲ與ヘテ居ルノデアリマシテ、政府トシマシテハ固ヨリ國民ガ國家總動員ノ精神ニ共鳴シテ、全力ヲ擧ゲテ協力シテ呉レルコトヲ期待致シテ居ルノデアリマス

○藤本委員 多數ノ新聞ノ中ニハ反國家的或ハ反非常時氣持ノ記事ガ偶ニアルカモ知レマセヌ、或ハ將來モ出ルカモ知レマセヌガ、併シ其由テ來ル所ヲ考ヘマスルノニ、一面ニ於キマシテ制裁ノ重壓ノ爲ニ、感激ノ心ヲ鈍ラスト云フコトモアリマセウ

ガ、他面ニ於キマシテ新聞記者ト云フヤウナ人々ハ、社會ノ裏面ト申シマスカ、左様ナ裏面ニ於ケル國家的、社會的矛盾ヲ、餘リニモ知り過ギテ居ルノデハナイカト思フノデス、其爲ニ感激ガ鈍ル、斯ウ云フコトガ痛切ニ考ヘラレマス、例ヘバ此事變下ニ際シマシテ、國民全體ノ犠牲ノ結果ヲ、極ク一部ノ者ガ壟斷スルトカ、或ハ獨占スルトカ、或ハ又負擔ノ分配ガ不公平デアルトカ云フヤウナコトガアリマスナラバ、サウ云フコトハ一番初メニ新聞記者ガ知ルト云フコトモ考ヘラレマス、或ハ英吉利ノ「スウィフト」ト云フ皮肉屋ガ皮肉リマシタヤウニ、法律トハ蜘蛛ノ巢ノヤウナモノデアアル、蠅ミタヤウナ小サイモノハ引掛ルガ、蜂ヤ蟆子ノヤウナモノハ巢ヲ突キ破ツテ逃ゲテシマフ、サウ云フコトガアリマスナラバ、サウ云フモノハ一番能ク新聞記者ノ手ニ入ル、目ニモ著ク、斯ウ云フヤウニ一々具體的事情、或ハ事實ヲ指摘スルナラバ限リガアリマス、斯様ナ社會的矛盾ヲ見聞スルコトノ頻繁ナル記者ノ方々ニハ、或ハ感激ガ鈍ルノカモ知レマセヌ、故ニ私ハ一面ニ於テ大イニ助長啓發致スト同時ニ、社會ノ矛盾ヲ除ク、政界ニ於テ、財界ニ於テ、經濟組織ニ於テ、色々ナ方面ニ存シマスル

矛盾ヲ取ルコトガ、間接的デアルカモ知レ  
マセスガ、記者が感激ヲ以テ國家ノ爲ニ筆  
陣ヲ揮フト云フコトニ相成ルドラウト思ヒ  
マスガ故ニ、私ハ現下ノ社會組織、政治組  
織、有ユル方面ニ於ケル矛盾ヲ一掃サレ、  
淨化サレルト云フコトニ付キマシテ、特ニ  
内務大臣ノ御努力ヲ仰ギタイト思ヒマス、  
又司法大臣ノ御努力ヲ仰ギタイト思ヒマ  
ス、御所見ガアレバ此際承リマス

○末次國務大臣 國家社會各方面ニ於ケル  
矛盾ヲ除クコトガ、此時局ニ於テ急務デア  
リマスコトハ、全然同感デアリマス、其方  
ニ努力致シタイト考ヘテ居リマス

○藤本委員 本法案ニ依リマスレバ、労働  
爭議ヲ規定シテアリマスルガ、小作爭議ハ  
規定シテゴザイマセス、戰時又ハ準戰時下  
ニ於キマシテハ、軍需民需ノ色々ノ物品ヲ製  
造スル爲ニ、労働者關係ノ方面ニ特ニ御注  
意ナサルノハ御尤デアリマス、併シナガラ  
殊ニ私ハ是カラノ戰爭ガ世界大戰ノ傾向ヲ  
持チ、隨テ或ハ最惡ノ場合ニ經濟封鎖ト云  
フヤウナコトヲ考ヘマスルナラバ、我國ハ軍  
需民需ノ一切ノ物ヲ全然自給自足致サナケ  
レバナラスカト存ジマスガ、サウ云フ場合  
ニ其大任ヲ引受ケルノハ農村デアリマス、  
其農村ニ於キマシテ色々ノ問題ガ、戰爭ガ

長クナリ戰況ガ深刻ニナツテ來マスルナラ  
バ、起ルカモ知レマセス、ソレニ付テ憂慮  
ニ堪ヘナイモノハ、ソレヲ契機トシテ或ハ  
國體ヲ否認スルトカ、或ハ私有財産制度ヲ  
否認スルトカ、或ハ露西亞ノ人民戰線ノ名  
ニ於テ踊ルトカ云フヤウナコトガ考ヘラレ  
ルノデアリマス、ソレガ農村ニ於ケル小作  
爭議ト竝行致シ、或ハ小作爭議ニ潜在致ス  
ト云フコトガ有リ得ルノデアリマス、而モ  
尙ホ本法案ヲ眺メマスルナラバ、ソレ等ニ  
付テノ御用意ガナイヤウニ思ヒマスガ、ソ  
レハ如何ナル御方針ノ結果カ、承リタイト  
思ヒマス

○鹽野國務大臣 御説ハ洵ニ御尤デアリマ  
ス、本案ニ於キマシテハ物資ノ生産、配給、  
其他工場、事業場等ノ問題ニ付テ規定致シ  
テアリマス、隨テ労働關係ノ重要ナルコト  
ヲ認メテ、労働爭議ノ問題ヲ規定致シテ  
居リマス、サウシテ御説ノヤウニ食糧問題、  
殊ニ農村問題ニ付キマシテハ、是亦極メテ重  
要デアリマス、併ナガラ此方面ニハ現行ノ  
小作爭議ニ關スル法規モアリマスルガ、尙  
ホ其外ニ今議會ニ於キマシテ農地調整法案  
ヲ提出シテ居リマスノデ、農村ノ特殊事情  
ヲ考慮シテ、相當適當ニ處理致ス積リデア  
リマス

○藤本委員 司法大臣ヨリ御答ヲ得タコト  
ハ洵ニ結構デアリマシタガ、モウ一二内務  
大臣ニ御尋致シテ見タイト思ヒマス、申ス  
迄モナク能ク人口ニ膾炙致シテ居ルコトデ  
アリマスガ、羅馬ハ中等階級ノ没落ニ依ッテ  
亡ンダト言ハレテ居リマス、中等階級ハ公  
正ナル判斷ヲ持チ、堅實ナル思想ヲ持チマ  
シテ、自己ヲ持シ、又他ヲ指導シテ行クト  
云フコトニ付キマシテ、重要ナル使命ト貢  
獻ヲ國家ニ捧ゲテ居ルノデアリマス、併ナ  
ガラ其中等階級ト云フヤウナ階級ハ、既ニ  
非常ナル困難ノ立場ニ立至ッテ居ルノデア  
リマス、ソレハ此事變下ニ於キマシテモ、  
中等階級ハ官吏、公吏、教員、會社員斯ウ  
云ツタモノガ多イノデアリマスガ、決シテ軍  
需「インフレ」ノ波ニハ乘リ得ナイノデアリマ  
ス、又中等階級ハ國家的救済カラ取殘サレ  
ルノデアリマス、而モ負擔ノミハ増加スル  
斯ウ云ツタコトニ依リマシテ、更ニ又中等階  
級ヲ組織スル所ノ官公吏、或ハ會社員、或ハ  
教員ト云フモノハ、代替性ヲ持タナイノデア  
リマシテ、應召或ハ徵用ノ爲ニ、直チニ其家族  
ニ重大ナ影響ヲ及ボシマシテ、次第ニ中等階  
級ハ没落セザルヲ得ナイト云フコトヲ考ヘマ  
スルナラバ、國家ノ前途ノ爲ニ甚ダ憂慮スベ  
キコトデアラウト思フノデアリマス、殊ニ本

案ノ適用ガ豫想サレマスル戰爭ノ場合ニ於  
キマシテ、殊ニソレガ長期ニ互ル場合ニ於  
キマシテ、中等階級ノ人々ノ公正ナル判  
斷、堅實ナル思想ニ、大ニ國家ハ期待ヲセネバ  
ナラス所ガアリマスガ、ソレガ次第ニ没落  
シツ、アルト云フコトハ、非常ナル大問題  
デアリマスガ故ニ、此問題ニ對シマシテ之  
ヲ救済スル御抱負、御經綸ヲ承ルコトガ出  
來マシタラ洵ニ幸ヒデアリマス

○末次國務大臣 中等階級ガ概シテ不遇ノ  
地位ニアリ、此儘ニシテ放置スレバ、或ハ  
没落シハシナイカト云フ御心配デゴザイマ  
ス、サウ云フ御心配ハ相當ニアルト思ヒマ  
スガ、外ノ國ト違ヒマシテ、此日本ノ中等  
階級ハサウ容易ニ没落スルモノデハナイト  
私ハ觀テ居リマス、今日國家、社會各方面  
ノ重責ヲ擔ジテ居リマス者ノ大部分ハ、中  
等階級出身ダト信ジテ居リマス、是等ノ人  
人ノ非常ナ忠誠心、責任感ニ依ッテ、今日  
ノ日本ガ大ヲ成シテ居ルト私ハ確信致シテ  
居リマス、時勢ノ波ニ乘リマシテ不當ニ富  
ヲ積ミマシタリ、或ハ又貧困ノドン底ニナ  
リマスト、人間ノ思想マデ墮落致ス傾向ガ  
アルノデアリマス、此日本ノ中等階級ハ非  
常ナ力ヲ持ッテ居ルト私ハ信ジテ居リマス  
ノデ、此國民ノ中堅トシテノ強ミヲ失ハナ

イヤウニ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、只今ドウシタラ宜イカト云フ具體的ノ考ハ持ッテ居リマセス、御趣意ノ所ハ私モ同感デアリマスカラ、十分ニ研究致シタイト思ヒマス

○藤本委員 中等階級ト申シマス、其範圍ハ非常ニ廣イノデアリマスガ、先ヅ農村ニ例ヲ取リマスナラバ、自作農及ビ小地主ト云フ所デアリマセウガ、斯ウ云フ連中ヲ最近ノ統計ニ依ッテ眺メマスルナラバ、次第ニ没落致シテ居リマス、又商工方面ニ例ヲ取リマスルナラバ、中小ノ商工業者デアリマセウガ、是ガ亦次第ニ没落致シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、或ハ又官公吏或ハ教育者ト云ツタ所謂中等階級ニ屬スル者斯ウ云フ者ノ間ニ入ッテ考ヘマスルト、彼等ハ次ノ中等階級ヲ作ル爲ニ随分困ッテ居リマス、即チ子供ノ教育、サウ云ツタ方面ニ非常ニ困ッテ居リマシテ、今ニシテ之ヲ放任シマスルナラバ、次ノ堅實ナ國家ノ大任ヲ付託スルニ足ルヤウナ中等階級ガ出來ヌノデハナイカトサヘ考ヘルノデアリマス、此點ニナリマスルト教育ノ根本的改革問題ト云フヤウニナルデアリマセウガ、只今内務大臣ハ是カラ研究スルト仰セラレマシタガ、ソレモ結構デアリマス、故ニ其御

氣持デ中等階級ヲ維持スルト云フ點ニ付キマシテ、何分ノ御努力ヲ煩ハシタイト思ヒマス

更ニ内務大臣ニ御尋申上ゲタイト思ヒマスコトハ、今度ノ事變ニ付テ國防婦人會、愛國婦人會、斯ウ云ツタモノガ非常ニ銃後ノ力、銃後ノ華トシマシテ多大ナル貢獻ヲサレタト云フコトデアリマス、併シ私ノ御尋致シタイト思ヒマスル趣旨ハ、此二團體ノ間ニ於テ、ドウモ融和協調ヲ缺イテ居ル、是デハ現在ニ於テモ甚ダ面白クナイガ、此本案ノ適用ガ豫想サレルヤウナ戰爭ニデモナリマシテ、殊ニソレガ長期ニ互リマシテ、殊ニソレガ深刻化デモ致シテ參リマスカラバ、銃後ノ力トシテ、或ハ銃後ノ華トシテノ使命ガ、一段ト加重サレルト思フノデアリマスガ、而モ其際ニ尙且ツ二團體ガ、精神的ニ協調偕和致サスト云フ風デアルナラバ、洵ニ國家ノ將來ノ爲ニ寒心ニ堪ヘナイト思フノデアリマス、故ニ此際愛國婦人會、國防婦人會ヲモット精神的ニ協調ヲ保タシメテ、此國家ノ非常時ノ爲ニ盡シ得ルヤウニ、組織ヲドウスルカト云フヤウナコトニ付キマシテ、御尋致シタイト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテハ又軍部ノ方ノ政府委員カラ、何分ノ御答ガ得ラ

レマシタラ幸デアリマス

○末次國務大臣 國防婦人會、愛國婦人會

府委員ノ方カラ何カ御意見ヲ承ルコトガ出來マセヌカ

ノ銃後ノ働ト云フモノハ、洵ニ目覺マシイモノノアリマスコトハ御言葉ノ通りデアリマス、唯兩者ガ互ニ對立抗爭スルト云フヤウナ嫌ハナイカ、之ニ付キマシテハ全クサウ云フ事實ガナイトハ申セナイノデアリマスルガ、國防婦人會ニ於キマシテモ、愛國婦人會ニ於キマシテモ、皆立派ナ人ガ指導的地位ニ立ッテ居リマス、只今ノ所互ニ反目スルガ如キ銃後ノ務ヲ害シテ居ルト云フ事實ハナイト思フテ居リマス、唯愛國婦人會ハ非常ニ古イ歴史ヲ持ッテ居リマス、又國防婦人會ハ其範圍ガ非常ニ廣イト云フ風ニ、成立ノ歴史沿革ガ違フノデアリマスカラ、イキナリ之ヲ一緒ニスル譯ニハ參ラヌノデアリマス、兩者相協調シテ行クト云フ風ニ今全力ヲ擧ゲテヤッテ居リマシテ、大體ニ於テ御心配ニナル程ノコトハナイト私ハ思ヒマス

○山脇政府委員 只今御尋ノ兩團體ハ其成立、目的、行動各々差異特徴ガアリマスノデ、直チニ之ヲ一ツノモノニスルト云フニハ困難ナ事情ガアラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ御話ノ如ク、其協調ニ付キマシテハ極メテ必要ナコトデゴザイマスノデ、其方向ニ向ッテ色々研究ヲシテ居リマス

○藤本委員 次ニ司法大臣ニ御尋シタイト思ヒマス、此法律案ガ成法化サレ、而シテ戰時又ハ準戰時下ニナリマシテ、違反ガアリマスルナラバ處罰サレマス、併シ其處罰スル訴追ノ方法或ハ裁判ノ形態ニ付キマシテハ、本法案中何處ニモ規定ガアリマセヌガ、是ハ憲法ノ第二十三條トカ、憲法ノ第五十七條ノ規定ノ結果當然デアルト思フノデアリマス、併ナガラ國家非常時ニ際シ、又國家ノ危急存亡ノ際ニ於テ、尙且ツ獅子身中ノ蟲トモ言フヤウナ非國民ニ對シマシテ、平時ニ於ケルヤウナ裁判制度ヲ以テ臨ムベキヤ否ヤ、或ハ又平時ノ裁判制度ヲ以テスルナラバ三審制度ヲ經ナケレバナリマセヌガ、ソレニハ數年ヲ要スル、サウ云フヤウナ悠長ナコトガ出來ルカドウカ、又スル必要ガアルカドウカト云フコトニ付キマ

府委員ノ方カラ何カ御意見ヲ承ルコトガ出來マセヌカ

シテ、司法大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 裁判制度ニ付キマシテハ、大體現行ノ制度ヲ其儘實行シテ行ク積リデアリマス

○藤本委員 只今現行ノ制度ニ依ルト仰セラレタノデアリマスガ、二・二六事件ニハ緊急勅令ニ依ッテヤッテ居リマス、又憲法第十四條ノ場合ニ於キマシテハ、即チ臨戰地域合圍地境ニ付キマシテハ、特別ノ裁判ガ行ハレルト云フコトハ申ス迄モアリマセヌ、然ラバ此法案ノ適用サレル場合ヲ彼ノ二・二六事件、或ハ又憲法第十四條ノ場合ヨリモ輕視サレルノデアリマスカ

○鹽野國務大臣 不幸ニシテ國內ニ敵ヲ迎ヘル、若クハ國內ガ航空機其他ニ依ッテ非常ナ動亂ニ陥ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ非常ノ特別裁判ノ組織ヲ拵ヘマシテ、之ニ依ッテ處置シナケレバナラスト考ヘマス、先ヅ大體ニ於キマシテ、國內ニ於テ左様ナ狀態デナイ場合ニハ、現行ノ制度デ十分ダト考ヘテ居リマス

○藤本委員 本案ニ規定シマス勞働爭議ノ場合ニ於キマシテ、先程モ一寸申述べマシタガ、本案ニ規定スル事項ノ違反事項以外ノ事項、例ヘバ治安維持法ニ規定シテアル

ヤウナ違反ガアリマシタ場合ニ、如何ナル態度ヲ御執リニナラレルカ、ソレヲ御尋シテ見タイト思ヒマス

○鹽野國務大臣 詰リ普通ノ態度ニ依ッテ之ヲ處置シマス

○藤本委員 刑ノ比較ニ於キマシテ輕重ガアリマシタ場合ニ、輕キニ從フカ、重キニ從フノデスカ

○鹽野國務大臣 其犯罪ノ情狀ニ從ヒマシテ刑ヲ量定致シマス

○藤本委員 私ノ司法大臣ニ對シマス御尋ハ是デ止シマス、マダ外務大臣ハ見エマセヌカ

○小川委員長 外務大臣ガ入ラシヤイマシタ

○藤本委員 外務大臣ニ御尋致シマス、本案ガ成法化致シマシテ愈、其適用ヲ見マスノハ、戰時又ハ準戰時デアリマス、茲ニ於キマシテ本案ヲ審議シマス吾々トシマシテハ、先ヅ第一番ニ取上ゲナケレバナラス重要ナ「テーマ」ハ、國防ノ相對性ニ鑑ミマシテ、一體此戰爭ノ相手ハ何處カ、一國カ多數國家カ、或ハ又戰爭ガ起ルカ、何時マデ此戰爭ガ續クカト云フコトデアラネバナリマセヌ、是等ノコトハ「プロシヤ」ノ名將「クラウゼウイチ」ノ申シマシタヤウニ、戰爭ハ

凡ソ不確實ノ上ニ立ッテ居ルカラ何人モ豫想出來ナイ、又「デリケート」ノ國際關係ノ今日ニ於キマシテ、之ヲ申ス譯ニ行カスト

思ヒマスガ、隨テ時局ニ對スル認識ノ相違、或ハ法律的ノ觀點カラシマシテ、本案ニ對シマシテ色々ノ議論ガアルノモ御尤デゴザイマセウ、隨テ政府ハ認識ノ相違、或ハ法律的觀點ニ依リマシテ生ジマシタ所ノ此摩擦ヲ解消致ス爲ニ、或ハ國民ヲシテ眞ニ此立法ノ已ムヲ得ナイト云フコトヲ思考セシムル爲ニ、政府ハ十分ノ御説明ヲ致スベキダラウト思ヒマスガ、ソレガ今マデ聞ケナカッタノデアリマス、併シ私ハソレヲ追究ハ致シマセヌ、併シ此無敵ノ皇軍ヲ持ッテ居ル我國ガ、遠イ將來ニ於キマシテ一國對一國ノ戰爭ヲスルノダッタナラバ、此國家總動員法案ノ提案ハ必要ガナイト思フノデアリマ

スガ、而モ尙ホ此提案ヲ見タ、仍テ其理由ヲ想像スルノニ、政府ハ近イ將來ニ於テ我國ハ多數ノ國家トノ間ニ戰爭不可避ノ情勢ニアルノダ、斯ウ云フ風ニ御見込ニナッタ結果デアラウカト想像致スノデアリマス、果シテ然ルヤ否ヤ、國ノ名前ハ要リマセヌガ、國際情勢ハサウナッテ居ルノカト云フコトニ付テ先ヅ承リタイト思ヒマス

○廣田國務大臣 御承知ノ通り目下我國ハ支那ト未曾有ノ大戰爭ヲ繼續致シテ居ルノデアリマス、國家ガ斯ル狀態デアリマス時ニハ、普通ノ平和狀態ニ於ケルヨリハ、諸外國トノ關係ニ於テハ一層ノ戒心ヲ要スルモノガアルト思フノデアリマス、此際ニ當リマシテ、我方ニ於テ支那ニ對シ最大ノ決心覺悟ヲ以テ當ッテ行クト云フ態度ヲ執リマスコトハ、總テ我國ノ隙ヲ窺フ第三國ヲシテ、自ラ僻易セシムルニ大ナルモノガアルト思フノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、我國トシテハ有ユル方面ニ準備ヲシテ參ラナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス

○藤本委員 本案ガ成法化致シマシテ、其適用ヲ見ル場合ノ目的ハ第一條ニ規定致シテ居リマシテ、甚ダ明確デアリマス、而シテ國防ノ目的ハ積極的ニ見マシテ、戰時又ハ準戰時下ニ於キマシテ、敵ニ勝ツト云フコトデアラウト思フ、或ハ消極的ニ見マシテ戰爭ノ勃發ヲ未然ニ防グト云フコト、是亦國防ノ目的デアラウト私ハ信ジマス、而シテ其國防ノ目的ヲ達成致ス爲ニハ、國力ヲ培養致シマシテ、其強化ニ俟タネバナリマセヌガ、併シ又外交ノ成功ニ依リマシテ、或ハ戰爭ニ勝チ、或ハ戰爭ヲ未然ニ防グト云フコトハ固ヨリ必要デアラウト信ズルノデ

アリマス、今次ノ事變ニ付テ考ヘテ見マスルナラバ、此支那事變ヲ長期デナクシテ短期ニ終熄セシメ以テ我國或ハ我方國民ノ物的、人的犠牲或ハ消耗ヲ出來ルダケ小範圍ニ止メテ、サウシテ來ラントスル戰爭ニ備ヘ、或ハ來ラントスル戰爭ヲ避ケルト云フコトハ洵ニ必要デアラウカト思フノデアリマス、斯様ナ見地カラシマシテ、今マデ違憲論ヲ以テ本案ヲ審議シマシタガ、私ハ外交ノ成功ニ依ッテ戰爭ノ勃發ヲ避ケ、サウシテ本案ノ適用ナカラシムルヤウニ相成レバ洵ニ結構ト思ヒマスガ故ニ、外交ニ付キマシテ聊カ御尋シテ見タイト思ヒマス、先ヅ政府ハ度々仰セラレテ居リマスヤウニ、此支那事變ヲ以テ長期戰ニ入ッタト仰シヤイマスガ、併シ國民ニ對シマシテ長期應戰ヲ執ル、是ハ洵ニ結構デアリマス、併シ政府自身ガ名實共ニ長期ノ心構デ居ラレルナラバ、ソレハ甚ダ解スルニ苦シムノデアリマス、ト言ヒマスノハ若シ長期ニ互リマスルナラバ、我國ノ人的、物的ノ犠牲、消耗ハ益、範圍ヲ擴大シテ來マス、或ハ國民ノ緊張シタ精神或ハ將兵ノ士氣ガ弛緩致サストハ、誰ガ保證スルカト云フヤウナコトヲ考ヘザルヲ得ナイノデアリマスガ、左様ナ場合ニ私ノ憂慮致シマスコトハ、必ズヤ外國

ノ介入干涉ガアル、殷鑑遠カラズデアリマシテ、日清戰爭後ノ三國干涉、或ハ日露戰爭後我國ノ大陸政策ノ動脈デアリ、或ハ生命線デアル所ノ滿鐵ヲ「ハリマン」ガ貫ヒニ來タ、斯ウ云フコトハ戰時中我國ノ人的、物的ノ消耗ガ多クッタカラデアルト信ズルノデアリマス、斯様ナ意味カラシマシテ、今次ノ事變ニハ國民ニ長期戰ヲ以テ臨ムト云フコトハ、洵ニ結構デアッテ、其理由モ分リマスケレドモ、政府トシテハ出來ルダケ短期ニ片附ケテ聖戰ノ目的ヲ達スル、左様ニ相成ルベキデアラウト思ヒマスガ、政府ニ於カレマシテハ國際的ニ何カ御理由ガアリマシテ、サウ仰シヤイマスカ承リタイト思ヒマス

○廣田國務大臣 中ス迄モナク日本ハ蔣政權ニ對シマシテ、武力ニ依ッテ反省ヲ求メテ參シタノデアリマス、將來此狀態ヲ繼續スルノ外ナイ今日ノ事態ニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、我方ノ使命ヲ達シ得ル有ユル方法ニ依リマシテ、事件ガ一日モ速ニ解決致シマスコトハ、我國ニ取ッテモ亦支那一般民衆ニ取ッテモ、其結果將來東亞ノ平和ヲ確立シ、維持シテ行ク上ニ於キマシテモ、必要ナコトデアルト思フノデアリマス、隨テ外交ノ手段ト致シマシテモ、其趣

旨ニ於テ大イニ努力シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○藤本委員 長期戰ヲ短期化ス、之ニハ色色ナ方法ガアリマセウガ、私ハ蔣政權ガ據ッテ以テ立ツ所ノ基礎ヲ衝クト云フコトガ、必要デアラウト思フノデアリマス、即チ長期抵抗ノ基礎ハ色々アリマセウケレドモ、長期ニナレバ、今ニ我國ガ財政的ニ破綻スル、或ハ經濟生活ガ疲弊困憊致シマシテ、今ニ日本ガ自壞スルト云フ所ノ揣摩臆測ト、モウ一ツハ「ソ」聯邦初メ或ハ英吉利ノ如キ背後ニ繞ルカヲ信賴致シ、或ハ是ガ又日本ニ干涉デモ致スト云フ揣摩臆測ニアラウト思フノデアリマス、隨テ支那ヲシテ長期抗戰ヨリ目覺メサセマシテ、早ク此聖戰目的ヲ達スル爲ニハ、先ヅ私ハ政府ニ於キマシテ、我國ガ如何ニ長期ニ互ラウトモ、決シテ自壞作用ヲ起サスト云フダケノ國策ヲ立テテ國民ニ臨ミ、又之ヲ以テ支那並ニ其背後ニ繞ル外國ニ對シマシテ、十分ニ其誤認ヲ是正スルト云フコトガ、非常ニ必要デアラウト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○廣田國務大臣 御趣旨ハ全ク御同感デアリマシテ、今日ノ我國ノ態度ハ、必ズヤ支那ハ勿論列國ヲシテ、日本ノ決意ノアル所

ヲ知ルニ足ルト考ヘテ居ルノデアリマス

○藤本委員 次ニ背後ニ繞ル列國關係ヲ考ヘテ、支那カラ手ヲ引カスト云フコトガ甚ダ肝要デアリマスガ、先ヅ「ソ」聯、英吉利ノ如キ、其何レヲサウサセルカト云フコトハ、中々難シイ問題デアリマス、併シ私ハ「ソ」聯ヨリモ英吉利ノ方ニ可能性ガアル、斯ウ信ズルノデアリマス、ソレハ英吉利ト我國トハ所謂「バイタル・インテレスト」ニ於テ非常ニ衝突シテ居ル、露西亞モ亦サウデアリマスガ、英吉利ノ所謂金科玉條トスル現狀維持主義ハ外交ヲ以テ修正出來マセウケレドモ、露西亞ノ「イデオロギー」ニ依ル所ノ「コンミニズム」ハ外交ノ力デハ修正出來マセス、斯様ナ意味ニ於キマシテ、支那カラ其背後ニ動ク他ノ國ノ力ヲ離ストスレバ、英吉利デアラウト思フノデアリマスガ、是ニ於キマシテ、私ハ日本ノ對英外交ト云フコトニ付キマシテ、外相ノ御示教ヲ仰ギタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、最近ノ英外相ノ更迭ニ依リ、英吉利ハ伊太利ニ對シ、或ハ獨逸ニ對シテ接近スル所ノ政策ヲ執ッテ居リマスガ、世人之ヲ解シテ我國ニ有利ダト申シテ居リマス、外相ニ於カサレマシテモ左様ナ意味ノコトヲ申サレテ居ルヤニ承ッテ

居ルノデアリマスガ、不幸ニシテ私ハ反對デアリマス、成程「イーデン」外交——嘗テ千九百三十五年ノ三月末デアリマシタカ、英吉利ハ大戰後初メテ國務大臣ヲ使者トシテ伯林ニ、又「モスコ」ニ送りマシタガ、其際ニ伯林ノ新聞ハ斯ウ云フコトヲ書立テタノデアリマス、「イーデン」ノ「イデオロギー」ト言ヒマスカ、「イーデン」ノ大陸政策ト言ヒマスカ、「イーデン」ハ獨逸ノ東ニ進ムコトヲ抑ヘル、サウシテ露西亞ニ恩ヲ賣ル、ソコデ魚心アレバ水心ト云フヤウナコトデ以テ、露西亞ガ印度ヲ覬覦スルコトヲヨセト云フヤウナ方策デアツカノヤウニ書イタノデアリマス、此點ニ於キマシテ我國トシテハ、露西亞ハ西ハ安全、併シ印度ヘハ行ケナイ、ソコデ東ニ出ルト云フコトヨリシテ不利益デアアル、之ニ反シテ獨逸ヲ東ニ伸ビササウ、サウシテ露西亞ヲ奔命ニ疲レサス、サウシテ露西亞ガ其西邊ニ對スル多忙ヨリシテ印度ヲ覬カヌヤウニスルト云フノガ「チェンバレン」一派ノ外交デアアルト云フコトモ書イタノデアリマシテ、其點ニ於テ又我國ニ有利デアリマスケレドモ、「チェンバレン」ノ外交ハ現實的デアリ、「イーデン」ノ外交ハ「イデオロギー」ノ外交デアリマシテ、惡ク言フナラバ空想外交デアリマス、

足ガ地ニ著イテ居ラス、斯様ナ意味カラシテ、是ハ我國トシテハ餘リ惧ル、ニ足ラスト思フノデアリマスガ、「チェンバレン」ノ外交ハ現實主義デアツテ、我國ニ取ツテハ非常ニ危險デアルト思フノデアリマス、支那ニ對シテ現狀維持ト云フコトモ、戰爭ノ結果ニ依ル現狀ノ維持デハナクシテ、戰爭前ニ英吉利ガ持ッテ居ツタ、ソレヲ保タウトスル現狀維持デアリマスカラ、其點ニ於テモ又不利デアリマス、且又伊太利トノ接近、獨逸トノ接近、是ハ決シテ英吉利ガ獨逸ヤ伊太利ノ政策ヲ是認シタノデハナイ、即チ此接近ノ動機ハ、英吉利ガ東京羅馬樞軸ヲ破壞シ、東京柏林樞軸ヲ破壞スルト云フ所ニアラウト思フノデアリマス、即チ英吉利トシテハ、印度ヘノ道、即チ地中海ノ航路ハ、極メテ緊要ナモノデアルカラ、伊太利ト提携スルコトニ依リ、此地中海ノ安全ヲ確保シテ、地中海ノ艦隊ヲ風雲急ナル東洋ヘ送ルト云フヤウナ動機ノ下ニ致サレテ居ルト思フノデアリマス、而シテ此殷鑑ハ遠カラズデアリマス、世界大戰前風雲急ナル際、即チ千九百一十二年七月二十二日ト記憶致シマスカ、時ノ海相「チャーチル」ハ議會ニ於キマシテ、佛蘭西ト協調シ、地中海ノ護リヲ佛蘭西ニ委セテ、地中海ノ艦隊ヲ北海ニ引揚

ゲ、或ハ東洋、印度、濠洲方面ノ護リハ日英同盟ニ依ツテ日本ニ委セテ、東洋艦隊ヲ北海ニ引揚ゲ、サウシテ獨逸ニ當ルト云フコトヲ申シテ居リマスガ、其故智ニ學ンダカドウカハ分リマセヌケレドモ、兎ニモ角ニモ日本ニ對シテハ餘リ芳シイ結果デハナイト思フノデアリマス、外務大臣ハ此事實ニ對シテ何ト御考ヘ遊バサレマスカ

○廣田國務大臣 日本ノ現在歐羅巴ニ對シテ執ッテ居リマス外交政策ノ骨子ハ、獨逸、伊太利ト提携シテ行クト云フコトデアリマス、此三國間ノ關係ハ、將來牢固タルモノガアルコトヲ私ハ確信致シテ居ルノデアリマス、英吉利ノ政策ガ假令只今御述ベニナリマシタ趣旨デ出テ來ルト致シマシテモ、此三國ノ關係ハ斷ジテ動カナイト信ジテ居ルノデアリマス、隨テ英吉利ノ方デモサウ云フ牢固タル關係ニ對シテ何等カ不利益ヲ及ボスガ如キ政策ニ出ルトハナイダラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○藤本委員 獨逸ニ對スル我國ノ關係ニ付キマシテ私ハ只今言ヲ控ヘマス、殊ニ伊太利ノ此間ノ「ブラッセル」會議ニ於ケル我國ニ對スル好意ハ、吾々國民トシテ感銘ニ堪ヘナイノデアリマス、隨テ獨逸ニ對スル言及ハ致シマセヌケレドモ、併シ英吉利ガ我

國ニ好感ヲ持ッテ居ルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、一言セザルヲ得ナイノデアリマス、先ヅ支那事變以來、或ハ戰地ニ於テ、殊ニ「レディーバード」號事件、或ハ「パネー」號事件、斯ウ云フコトハ申上ゲル迄モナク外務大臣ハ一番能ク御承知ノ方デアリマスカラ控ヘマスガ、唯茲ニ申サバル得ナイコトハ、昨年ノ十月二十三日デアツタカト記憶致シマスガ、英國ノ皇帝陛下マデガ議會ノ閉院式ニ臨マレマシテ、朕ハ日支戰爭ノ推移ニ深甚ノ注意ヲ拂ッテ居ル、不幸ニシテ非戰鬥員ガ陸ヨリ、或ハ海上ヨリ爆撃サレル、其慘苦ハ洵ニ惻怛スル所デア

ル、斯ウ云フヤウナコトヲ仰セラレテ居ルノデアリマス、我國ノ陸海軍ノ行動ヲ野蠻扱ヒラシテ居ルト云フコトハ申ス迄モアリマセヌガ、斯ウ言ツタヤウナコトハ一體英吉利ノ日本ニ對スル如何ナル輿論ノ反映デア

シテ居ナイト云フコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、其精神カラ申シマシテモ我軍ハ努メテ支那民衆ニ危害ヲ及ボサバラスコトヲ期シテ參ッテ居ルノデアリマス、所ガ一時支那方面ニ於テハ盛ニ非武装地域ノ支那民衆ニ對シテ我軍ノ攻撃ガアルト云フコトヲ吹聴致シマシテ、ソレガ爲ニ非常ナ誤解ヲ世界ニ與ヘタ事實モアルノデアリマス、當時英吉利ニ於キマシテハサウ云フ風ノ誤解ガ全國的ニ瀰漫致シテ居ッタ當時デモアリマス、皇帝ノ議會ニ對スル演説ノ中ニモ、其誤解ニ基キスル言葉ガ現レタモノデハナйкаト存ジテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ時日ノ經過ニ依ッテ、現ニ攻撃ヲ受ケタ地方ノ現實ノ狀態ガ、我軍ニ於テ一般市民ニ對シテ特ニ危害ヲ加ヘルガ如キ行動ニ出タモノデナイト云フコトハ事實明ニナリツ、アルト信ジテ居ルノデアリマス、サウ云フ事實カラシテ、英吉利官民ニ於テモ相當我軍ノ態度行動ヲ理解シ參リツ、アルト考ヘテ居ルノデアリマス

○藤本委員 伊太利ガ「エチオピア」トノ戰爭ニ於キマシテアレ程苦境ニ立チマシタガ、今ヤ赫々タル成功ヲ收メテ居リマス、又獨逸ハ戰後アレ程疲弊ノ極ニ達シテ居リマシタケレドモ、今ヤ立上リマシテ其年來

ノ希望デアル植民地ヲ返セト云フコトヲ絶叫致シ、將ニ其聲モ英吉利邊リカラ餘程慎重ナ態度ヲ以テ聽カレントシテ居リマス、併シ是等ハ伊太利ヤ獨逸ノ國力ガ英吉利ニ優ッタ結果デナイノデアリマスガ、唯伊太利ニ付テ先ツ申シマスルナラバ、國策ノ遂行ノ前ニハ聯盟カラ五十二對一デ「ボイコット」サレヨウト、或ハ經濟封鎖ニ遭ハウト、舉國一致、肉彈トナッテ國策ノ遂行ニ當ルト云フ其氣魄、及ビ其氣魄ニ依ル所ノ外交ノ成功ガ、斯クアラシメタノデアラウト信ズルノデアリマス、獨逸ニ於キマシテモ、世界大戰ヲ以テシテモ奪ヒ得ズ、「ベルサイユ」條約ヲ以テシテモ奪ヒ得ナカッタ所ノアノ氣魄、其氣魄ニ依ッテ外交ヲ進メタカラコソ、今日ノアノ外交的成功ヲ見タノデアラウト思ヒマスルガ、是ハ獨逸、伊太利ニ付テ學ベキモノデアリマセウ、併シ「フッショ」的政治形態、或ハ四年計畫デハナイイカモ知レマセウガ、唯此氣魄ニ依ル外交、國民ガ舉國一致、國策ノ遂行ノ前ニハ肉彈トナッテ邁進致スト云フ此氣魄、其氣魄ハ大イニ他山ノ石トスベキデアラウト思フ、又此氣魄ニ依ル外交ハ今日ノ我國ノ立場トシテ他山ノ石トスベキデアラウト思フノデアリマスガ、外務大

臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○廣田國務大臣 今日我國ノ執ルベキ態度トシマシテハ、舉國一致、牢固タル決心ヲ以テ此時局ニ當ッテ參ルト云フコトニアルト思フノデアリマス、其態勢ハ諸外國ニ於テモ既ニ十分ニ認識シテ參リツ、アルト考ヘルノデアリマス、隨テ我國ノ外交ト致シマシテモ、其背景ノ下ニ我方ノ態度ニ牢固タルモノガアリ、此大使命ヲ達スル迄ハ、斷ジテ日本ハ邁進ヲ續ケテ參ルト云フ意氣込ヲ示スコトガ必要デアルト考ヘルノデアリマス

○小川委員長 藤本君ニ申上ゲマスガ、成タケ本案ニ關係シテ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藤本委員 今ノ御決意ヲ承リタイノデアリマスガ、併シ今國內ニ於キマシテ對英外交ヲ稱シマシテ、日本魂ヲ忘レタ外交デアルトカ、或ハ無敵海軍ノ存在ヲ忘レタ外交デアルトカ、色々非難ガアリマシテ、或ハ又英吉利擊ツベシト云フ聲モアリマス、私モ此點ニ付キマシテハ、色々考ヘサセラレタモノデアリマスガ、併シソレハ既ニ時期ガ「ツレエト」ニナッテ居リマス、既ニ長蛇ヲ逸シタヤウニ思ヒマスノデ、私ハ只今斷腸ノ思ヒヲ致シマシテ、曾テ獨逸ノ「カイゼル」ニ對シマシテ「ハウス」大佐ガ忠告致シタ事ヲ想起致スノデアリマス、即チ帝政

臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

華ヤカデアリマシタ頃、獨逸ハ海軍ノ擴張ヲ以テ英吉利ニ挑戰致シテ居リマシタ際ニ、「ハウス」大佐ハ何ヲ以テ海軍擴張ヲ以テ英吉利ニ挑戰スルカ、英吉利ハ老衰ノ國デア、獨逸ハ青年國家デア、今ヨリ待テバ宜シイデハナйкаト言ヒマシタ際ニ、元帥ノ「チルビッツ」ハ色ヲナシ、聲ヲ勵マシマシテ、之ニ反對シ、敢テ海軍擴張ニ邁進致シタ、其結果ハアノ通りデアリマスガ、私ハ只今ノ對英關係ニ於キマシテモ之ヲ考ヘル、即チ英吉利ハ老國デア、我國ハ青年國デア、謂ハハ青年ハ午前五時カモ知ラヌ、我國ハ午前八時デア、故ニ「チャンス」ヲ待ツ、サウシテ危急存亡ヲ賭シテ迄ノ無理ヲシナイ方ガ宜イ、吾々ノ時代ニ制覇ガ出來ナケレバ、子孫ノ時代ニ於テ制覇ヲスル、其礎石ヲ作レバ宜シイト云フヤウナコトヲ又考ヘサセラレルノデアリマスガ、外務大臣ハ對英關係ニ於キマシテ色々御考慮ナサッテ居ラレルコトヲ私ハ裏面カラ存ジテ居リマスガ、斯様ナ御意見デゴザイマセウカ

○廣田國務大臣 御承知ノ通り英吉利ハ多年支那方面ニ於テ多大ノ利害關係ヲ持ッテ參ッタ國デアリマス、其國ガ今日東洋ニ於テ起リツ、アリマスル此事態ニ際會致シマシテ、ソレノ自己ノ立場ニ於テ考ヘナケ

臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ



レバナラスコトガアルト思フノデアリマス、此新事態カラ生ズル將來ノ東洋ノ狀態ニ對シテコソ、英吉利ハ最大ノ關心ヲ持ツベキデアッテ、自然現實主義ヲ主トスル英吉利ハ、其事態ヲ基礎トシテ東洋ニ對スル態度ヲ決定シテ參ルコトデアラウト、私ハ信ジテ居ルノデアリマス

○西岡委員 一寸議事進行ニ付テ——本會

ハ御承知ノ通りニ四十五名ノ委員デ、質問ノ通告者ハ四十名ニナルノデアリマスガ、今マデニ終リマシタノハ僅ニ五名デアリマス、本會議ガ開カレテ居ルニ拘ラズ、斯ウシテ委員會ヲ開イテ居リマスノモ、議事ヲ早ク進メタイト云フ趣旨デアリマス、只今藤本サンノ御質問ハ、吾々貴重ナル質問ダト思ッテ居リマス、吾々參考ニナル質問ト思ッテ居リマス、併ナガラ多ク外交問題ニ對スル御質問ノヤウデアリマシテ、豫算委員會ニ於キマシテ、私共ガ之ヲ繰返シタ所ノ質問デゴザイマス、ドウカーツ御尤デハゴザイマセウケレドモ、此委員會ノ性質ニ鑑ミラレマシテ、委員長ニ於テ適當ニ御整理ヲ願フト同時ニ、今後質問スル諸君モドウカ重複シナイヤウニ、重複ノ場合ニハ委員長カラ然レク所斷セラレルヤウニ、又政府當局ニ於カレマシテモ、ド

ウゾ是マデ度々御答辯遊バシタコトヲ、度々茲ニ繰返スコトハ御注意ナサッテ簡單明瞭ニ御答辯サナルヤウニ願ヒタイ、サウシマセヌト何時一體果テルカ、見當ガ付キマセヌ、一言議事進行ニ付テ御願申シテ置キマス

○小川委員長 藤本君ニ申上デマスガ、今

ノヤウナ議事進行ガ起ルノデスカラ、一ツ其御積リデ御質問アラシコトヲ望ミマス

○藤本委員 英吉利ニ對シマスル關係ニ付

キマシテ、結論ニ至ル「プロセス」トシマシテ、色々御尋ガアリマスガ、只今ノ御注意モアリマシタノデ之ヲ省キマス、唯私ノ憂慮致シマスノハ、英吉利ト日本ガ接近スル、或ハ日本ガ英吉利ト接近スル、此問題ニ付テデアリマスガ、サウナリマスルト英吉利ノ支那ニ於ケル現狀維持主義ヲ承認シナケレバナラス、英吉利ノ支那ニ於ケル現狀維持主義ヲ承認シマスルナラバ、吾々ハ上海、南京カラモ、杭州カラモ引揚ゲナケレバナラス、殊ニマダ惡イコトハ事變ニヨリテ生ジタル英國ノ損害賠償ヲシナケレバナラスト思フノデス、斯ウ云フコトヲシマスルナラバ、曾テ「エドワード・グレイ」カラ、歐洲大戰當時日本ノ立場ニ付テ非常ニ笑ハレタノデアリマスガ、又地下ヨリ笑ハレルノデ

ハナイカ、ソレバカリデハナイ、我國ノ内ガ持タヌト思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ、英吉利ト接近シ、或ハ英吉利ヲ支那カラ引放シ、或ハ露西亞カラ引放ス、洵ニ狙ヒ所ハ結構デアリマスガ、ソレニハ我國ハ相當以上ニ犠牲ヲ拂ハナケレバナリマセヌ、若シサウスルト内ガ持タヌト云フコトヲ憂慮致シマシテ、只今僭越ヲ願ミズ御尋ヲ致シタ次第デアリマス、此點ニ付キマシテ外務大臣ノ御善處ヲ願ヘレバ結構デアリマス

次ニ支那ノ問題ニ再ビ還ルノデアリマス

ガ、我國ガ來ラントスル戰爭ヲ避ケル、斯ウ云フ意味カラ致シマシテ、支那ニ於ケル我國ノ權益ハ固ヨリ擁護致スベキデアリマスガ、併シ列強ハ固ヨリ我國ノ再三ノ聲明ニ依リマシテ、領土的野心ハナイト云フコトハ知ッテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、事變後ニ於テ支那ノ資源ト云フモノヲ、我國ハ獨占スルカモ知レスト云フヤウナ風ノ非常ナル疑心暗鬼ガアルノデアリマス、茲ニ於キマシテ、此點ニ善處致シテ、我國ガ益、國際孤立化スルコトヲ避ケルト云フコトハ、洵ニ必要デアラウト思フノデアリマス、是ガ爲ニ支那ニ現存スル所ノ資源、其中デモ支那自身ノ爲ニ取ッテ置カナケレバナラス

モノガアリマスガ、ソレト外國ノ施設經營ニ委シテモ差支ナイモノト區別致シ、支那ノ「スタビリティ」ノ爲ニ必要ノ物ハ支那ニ、或ハ日本トノ合辦ニ保留シ、其他ハ門戸開放、又ハ國際正義ノ原則ニ依リマシテ、列強ニ開放致シ、サウ致シマシテ、日本ノ國際孤立化ヲ防グト云フコトハ洵ニ必要デアリマスガ、同時ニソレハ次ニ來ラントスル戰爭ヲ避ケル、或ハ來ラントスル戰爭ニ打勝ツ爲ノ重大ナル外交政策ダト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ外務大臣ニ承リタイト思フノデアリマス

○廣田國務大臣 日英ノ關係ヲ良ク致シテ

參リマスル唯一ノ方法ハ、今回ノ事變後ニ於ケル東洋ノ事態、日本ノ立場ヲ英吉利ガ正解スルコトニ依ッテ、初メテ出來得ルト思フノデアリマス、將來支那ニ於テ日本ガ各種ノ經濟上ノ經營ヲ致スコトニナルト思ヒマスガ、過日外交演說中ニ述ベマシタヤウニ、決シテ日本ハ有ユル經濟的權益ヲ獨占スル考ハナイノミナラズ、支那開發ノ爲ニモ、諸外國ヲシテ等シク之ニ活動セシムルコトガ、支那ノ爲ニモ、日本ノ爲ニモ宜イコトダト考ヘテ居ルノデアリマス

○藤本委員 能ク分リマシタガ、今度ハ亞米利加ノ關係ニ於キマシテ一言致シタイト

思ヒマス、亞米利加ガ世界大戰ニ於キマシテ、所謂「キヤスチング・ボート」ヲ持ッテ居ッタクコトハ言フマデモナイノデアリマス、又來ラントスル戰爭ニ於キマシテ非常ナル役割ヲ演ズルト云フコトハ、想像ニ難クナイノデアリマス、茲ニ於テ我國ハ來ラントスル戰爭ヲ未然ニ防止スルト云フ意味カラ致シマシテ、甚ダ是ハ困難ナ荊棘ニ滿チタ道デアリマスケレドモ、出來得ベクンバ外相ノ力ニ依リマシテ、日米ノ間ニ不可侵條約ヲ締結スルコトガ望マシイコトト思フノデアリマスガ、是サヘ出來マスレバ、謂フ所ノ「ピンソン」案ニ拍車ヲ掛ケタ

可侵條約ト云フモノガ若シ將來出來マスルナラバ、我國ノ國防目的ヲ達成致シ、即チ戰爭ニ勝ツ爲ニ、或ハ戰爭ノ勃發ヲ未然ニ防グ爲ニ、非常ニ有效ナモノダト思フノデアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ、外務大臣ノ御所信ヲ承リタイト思ヒマス

シマス、明日ハ午前十時ヨリ請願委員室ニ於テ開會致シマス  
午後七時一分散會

亞米利加ノ海軍擴張、或ハ亞米利加ガ大陸ト支那大陸ノ航空路、或ハ布哇ノ眞珠灣ノ強化、或ハ亞米利加ガ西海岸ニ於ケル空軍、或ハ海軍根據地ノ擴張強化、或ハ「ニカラガ」運河ノ開鑿、斯ウ云フコトハ必要デハナイカモ知レマセヌガ、併シ是ハ非常ナル困難ナ荊棘ニ滿チタ道デアリマス、併シ私ハ思ヒマスノニ、アノ北滿鐵道ヲ滿洲ニ委讓シタクコトハ荊棘ニ滿チタ道デハナカッタカ、或ハ日獨協定ニ致シマシテモ、日伊協定ニ致シマシテモ、相當ニ荊棘ニ滿チタ道デアッタノデアリマスガ、隨テ斯ノ如キ努力ヲシテ戴クナラバ、サウシテ日米不

○廣田國務大臣 日米ノ關係ニ付キマシテハ亞米利加ト致シマシテハ、南北亞米利加大陸ニ於ケル所謂善隣政策ヲ執ッテ參ッテ居ルノデアリマス、我國ノ東洋ニ於ケル立場ヲ善解シテ參リマスレバ、此間ニ於テ少シモ爭ノ原因ハナイト思フノデアリマス、隨テ兩國ノ間ニ、特ニ何等條約等ノ形式ニ於テ此關係ヲ律スルト云フコトノ必要ハ、私ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、既ニ其精神ニ於テ進ンデ居ルノデアリマスシ、又一方亞米利加ト致シマシテハ、何レノ國トモ斯卡ル條約ヲ結ブヤウナ氣持デハ居ナイノデアリマスノデ、兩方ノ精神ガ相通ズレバ、自然條約ヲ作ッタク同ジ結果ガ現ハレテ、ソレガ繼續シテ參ルモノト信ジテ居ルノデアリマス

○藤本委員 以上外務大臣ニ御質問申上ゲマシタガ、私ハ之ヲ以テ外務大臣ニ對スル質問ヲ打切りマス

○小川委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致